

Panasonic®

取扱説明書

デジタルカメラ/レンズキット

品番 DMC-GH1K

安全上
ご注意

はじめて

準備

基本

応用
撮影

応用
再生

他の機器
との接続

その他
Q&A

LUMIX



HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HD

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6~9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

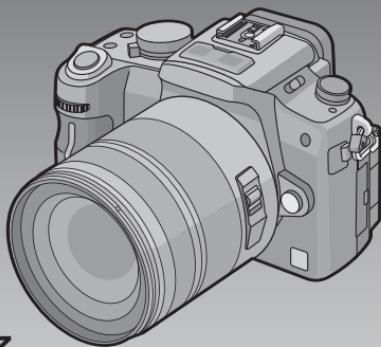
保証書別添付

VQT2A60-1

大切な瞬間を 楽しく カンタンに 撮る・

撮る

P42



おまかせで撮る

- カメラが自動でシーンを判別
「インテリジェントオートモード」(P44)
- 登録した顔に近い顔を見つけて、
優先的にピントや露出を合わせる
「個人認証」(P109)



マニュアル操作で撮る

(P77, 90)

- 手動で露出やピントを合わせる
「マニュアルフォーカス」、
「マニュアル露出」など



動画を撮る

(P47, 102, 107)

- ボタンひとつで動画撮影
- フルハイビジョン動画を長時間撮影
「AVCHD」[1920×1080/60i(センサー出力24p)]



各機器にSDカードスロットがある場合は、カードを直接スロットへ!

- SDHCカードは、SDHCカード対応機器でのみ使用できます。

見る・残す LUMIX



見る

P143

- テレビで見る

SDカード AVケーブル
HDMIミニケーブル(別売)



残す

P148

付属のソフトウェア

「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使って…

- 静止画・動画をパソコンに保存
- パソコンで静止画・動画をメール送信
- パソコンで画像を直接操作してプリント

SDカード USB接続ケーブル



- ハードディスク・BD/DVDレコーダーで静止画・動画を保存

SDカード AVケーブル



- ご家庭のプリンターで手軽にプリント

ピクトブリッジ
(PictBridge対応のプリンター)

- お店でカードを渡してプリント
- 画像に日付を入れてプリント(P155)

SDカード USB接続ケーブル

もくじ



はじめに

ご使用の前に	10
同梱品	11
各部の名前	13
前ダイヤルを操作する	15
液晶モニターを回転させる	16
本機に使用可能なレンズ	17

準備

レンズを付ける・取り外す	18
ショルダーストラップを付ける	20
レンズフードを付ける	21
バッテリーを充電する	22
バッテリーについて(充電・記録可能枚数)	23
バッテリーを入れる・取り出す	25
ACアダプターを使う	26
カード(別売)を入れる・取り出す	27
カードについて	28
時計を設定する	29
時計設定を変更する	29
メニューを使って設定する	30
メニュー項目の設定方法	31
クイックメニューを使って設定する	33
セットアップメニューを使う	34
構えかた・液晶モニター/	
ファインダーについて	39

基本

撮影モードを選び、静止画または動画を撮影する	42
静止画を撮影する/動画を撮影する	
撮影した静止画または動画を再生する	43
カメラにおまかせで撮る	
(A : インテリジェントオートモード)	44
自動シーン判別について/個人認証について	45
追尾AF機能/露出を補正する/フラッシュについて	46
カメラにおまかせで動画を撮る/インテリジェントオートモード時の設定内容	47
お好みの設定で撮る	
(P : プログラムAEモード)	49
シャッターボタン半押しでピントを固定する(AFS)/動きに合わせて連続的にピントを合わせる(AFC)/マニュアルフォーカスで撮る(MF)	50
ピントの合わせかた/ピントが合わないとき/手ブレを防ぐために	51
プログラムシフトについて	52

ズームを使って撮る	53
光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/デジタルズームで撮る	53
画像を見る	54
再生画面の表示情報を切り換える	54
複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)/画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)	55
再生画面を拡大する(再生ズーム)	56
画像を消去する	57
1枚消去/複数/全画像消去	57

応用・撮影

液晶モニター/ファインダーの表示を切り換える	58
表示情報を切り換える	58
内蔵フラッシュを使って撮る	61
フラッシュ設定を切り換える	61
フラッシュの発光量を調整する	66
後幕シンクロに設定する	67
露出を補正して撮る	68
連写する	69
露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)	71
セルフタイマーを使って撮る	73
ピントを合わせる方法を設定する(オートフォーカスモード)	74
[T]: (追尾AF)を設定する	75
AFエリアを設定する	76
手動でピントを合わせて撮る(MF: マニュアルフォーカス)	77
露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)	79
ホワイトバランスを調整する	81
手動でホワイトバランスを設定する/色温度設定について	82
ホワイトバランス微調整(WB)	83
ISO感度を設定する	84
撮影する画像の色調を変更する(フィルムモード)	86
各フィルムモードの設定をお好みに応じて調整する	87
マルチフィルムブラケット	88
絞り/シャッタースピードを決めて撮る	89
A : 絞り優先AE	89
S : シャッターバー優先AE	89
手動で露出を合わせて撮る	
(M : マニュアル露出)	90
絞り効果とシャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)	92
絞り効果を確認する/シャッタースピード効果を確認する	92

→ 「安全上のご注意」を必ずお読みください (6~9ページ)

人物や風景を表情豊かに撮る	
(アドバンスシーンモード).....	93
人物モード/風景モード.....	94
スポーツモード/	
クローズアップモード.....	95
夜景&人物モード.....	96

撮影シーンに合わせて撮る

(SCN: シーンモード).....	97
夕焼け/パーティー.....	97
赤ちゃん1/赤ちゃん2/ペット.....	98

色を調整しながら撮る

(: マイカラー モード).....	99
お好みのメニュー設定を登録する	
(カスタムセット登録).....	100
カスタムモードで撮る	
(CUST: カスタムモード).....	101

動画を撮る

撮影モードと画質設定を変更する	104
風音低減.....	106
マニュアル操作で動画を撮る	
(: クリエイティブ動画モード).....	107
個人認証機能を使って撮る	109
個人認証機能について/顔登録について	109
旅行先で便利な機能	112
旅行の経過日数を記録する	
(トラベル日付).....	112
海外旅行先の日時を記録する	
(ワールドタイム).....	114

撮影メニューを使う

<#>画像横縦比/記録画素数.....	115
<#>クリオリティ/個人認証.....	116
<#>測光モード/手ブレ補正.....	117
<#>フラッシュ/デジタル赤目補正/	
<#>フラッシュシンクロ/	
<#>フラッシュ光量調整/暗部補正/	
<#>EX光学ズーム.....	118
<#>デジタルズーム/連写速度/	
<#>オートブレacket/	
<#>セルフタイマー/色空間.....	119
<#>長秒ノイズ除去/ISO感度上限設定/	
<#>ISO感度ステップ/音声記録.....	120

動画撮影メニューを使う	121
カスタムメニューを使う	122

▶ 応用・再生

動画/音声付き静止画を見る	127
動画/音声付き静止画	127

再生メニューを使う	128
<#>スライドショー.....	128
<#>再生モード.....	129
★お気に入り.....	130
<#>タイトル編集.....	131
<#>文字書き込み.....	133
<#>リサイズ.....	
画像サイズ(画素数)を小さくする.....	135
<#>トリミング.....	136
<#>横縦比変換.....	137
<#>画像回転/回転表示.....	138
<#>プリント設定.....	139
<#>プロテクト.....	140
<#>アフレコ.....	141
<#>個人認証.....	142

◀ 他の機器との接続

テレビで見る	143
AVケーブル(付属)を使って見る/SDカードスロット付きテレビで見る.....	143
HDMI端子付きテレビで見る.....	144
記録した静止画や動画を残す	148
SDカードをレコーダーに入れてダビングする/AVケーブルを使って再生映像をダビングする/パソコンにコピーする.....	148
パソコンと接続する	149
プリントする	152
選択画像/プリントの各種設定.....	153
プリント設定(DPOF).....	154
画像に日付を入れるには.....	155

?

その他・Q & A

別売品のご紹介	156
外部フラッシュ(別売)を使う	158
フィルター(別売)を使う	160
シャッターリモコン(別売)を使う	161
外部マイク(別売)を使う	162
海外旅行先で使う	163
液晶モニター/ファインダーの表示	164
メッセージ表示	167
Q & A 故障かな?と思ったら	169
使用上のお願い	176
記録可能枚数/記録可能時間	184
仕様	188
修理を依頼されるときは	191
保証とアフターサービス	
(よくお読みください).....	193
さくいん.....	197

安全上
ご注意

はじめて

準備

基本

撮影

応用
再生

他の接続

Q & その他

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない
内容です。



実行しなければならない
内容です。

危険

チャージャー/ACアダプター（充電器）は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

・専用のチャージャー/ACアダプターで充電する



⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す



- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体やチャージャー/ACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・チャージャー/ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・電源を切り、販売店にご相談ください。

電源コードは、誤った使いかたをしない



火災・感電・ショートの原因になります。

- ・加工しない・傷つけない
- ・熱器具に近づけない
- ・無理に曲げない・ねじらない・引っ張らない
- ・束ねたりしない
- ・傷んだら使わない
- ・差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- ・たこ足配線や定格外(交流 100 V ~240 V以外)で使わない
- ・ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う



火災・感電・ショートの原因になります。

- ・定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- ・根元まで確実に差し込む
- ・接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- ・機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- ・特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

(つづき)

!**警告**

ショルダーストラップは肩に掛けて使う



けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない



誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

乗り物の運転中に使わない



事故の誘発につながります。
• 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない



事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない



本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない



火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない



感電の原因になります。

- 本体やチャージャー/ACアダプターには、金属部があります。

接触禁止

⚠ 注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離(数cm)で直接見ない誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。
 • 乳幼児を撮影するときは、1m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
 発光熱によって煙などが
 出る原因になることがあります。
 • 発光直後は、しばらく触
 らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、
 計器類に影響を及ぼすこ
 とがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

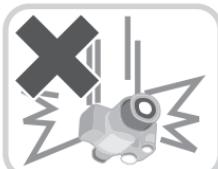
- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向かたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…



- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強い振動や衝撃を与えないでください。また、本機に強い圧力をかけないでください。誤動作や、画像が記録できなくなる、またはレンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
- 下記の場所では、故障などの原因になることがありますので、特に気をつけください。
 - ・ 砂やほこりの多いところ
 - ・ 雨の日や浜辺など水がかかるところ
- レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。また、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入らないようにお気をつけください。
- 本機は防水構造ではありません。万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

■ つゆつきについて(レンズやファインダーがくもるとき)…



- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源を[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

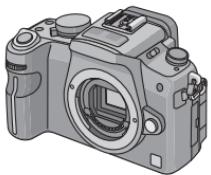
本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

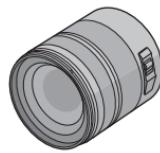
あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、あわせてお読みください(P176)

同梱品



デジタルカメラボディ
(本文中では**本体**と表記します)



交換レンズ(H-VS014140)
LUMIX G VARIO HD 14-140 mm/
F4.0-5.8 ASPH./MEGA O.I.S.
(本文中では**レンズ**と表記します)

付属品をご確認ください。



記載の品番は2009年4月現在のものです。



バッテリーパック

DMW-BLB13

(本文中では**バッテリー**
と表記します)

- 充電してからお使いください。



AVケーブル

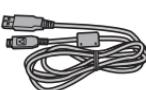
K1HA14CD0002



バッテリーチャージャー/

AC アダプター

(本文中では**チャージャー**
と表記します)



USB 接続ケーブル

K1HA14AD0002



電源コード

K2CA2CA00019



CD-ROM

- パソコンにソフトウェア
をインストールしてお使
いください。



DCケーブル

VEKON97



ショルダーストラップ

VFC4411

同梱品 (つづき)



ボディキャップ

VKF4385



(お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています)



レンズリアキャップ

VFC4315



(お買い上げ時は交換レンズに装着されています)



レンズフード

VYC0997



レンズ収納袋

VFC4430



レンズキャップ

VFY3250

(お買い上げ時は交換レンズに装着されています)

- カードは別売です。

- 別売品については156ページを参照してください。

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

- 本書ではDMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14-140 mm/F4.0-5.8を用いて説明をしています。

- 付属品をなくされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口(P194~196)にお問い合わせください。

CLUB Panasonic

Pana Sense

パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

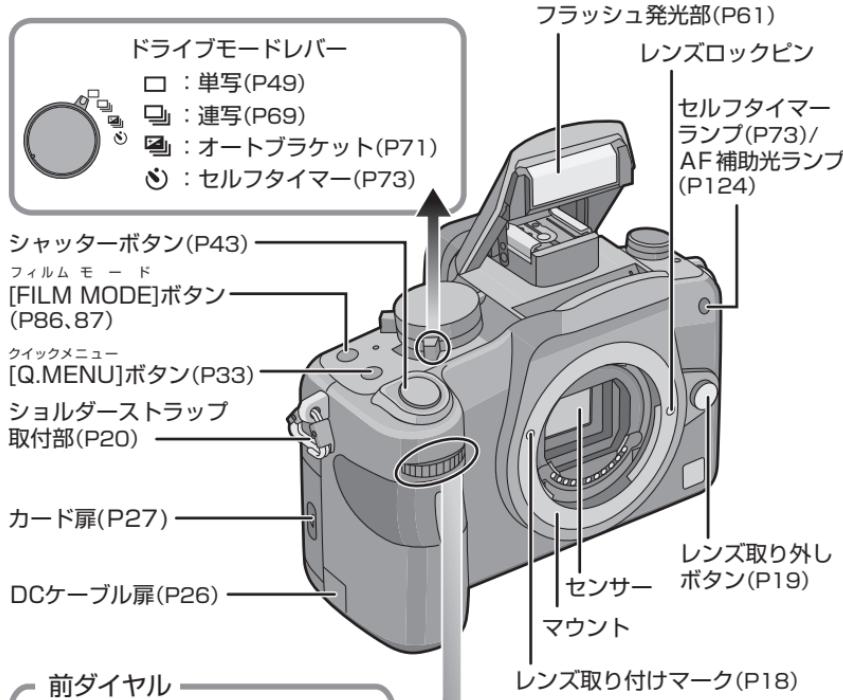
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

各部の名前



■ デジタルカメラボディ

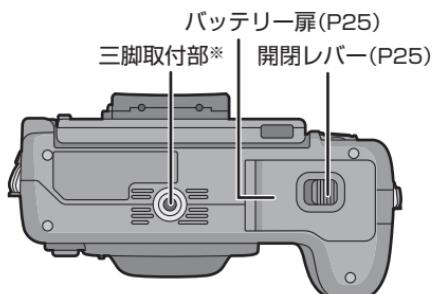


本書では、前ダイヤルを下図のよう
に説明しています。

例: 左右に回すとき 例: 前ダイヤルを押すとき

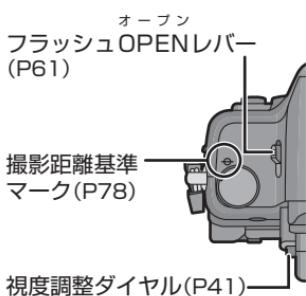
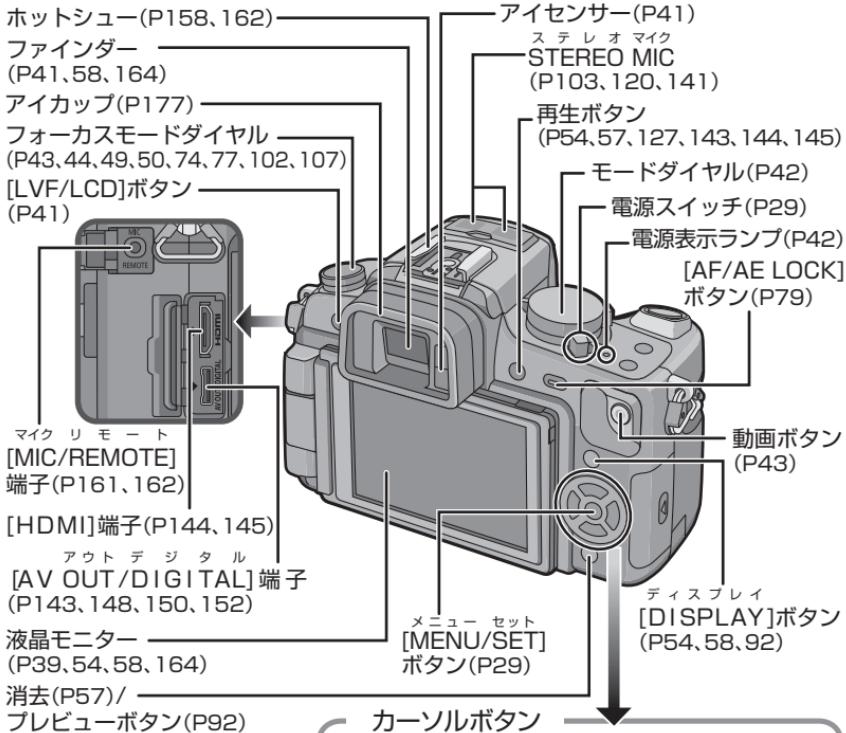


前ダイヤルの操作方法については、
15ページをお読みください。



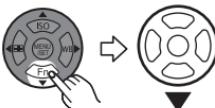
※三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

各部の名前 (つづき)



本書では、カーソルボタンを下図のように、または、
▲/▼/◀/▶で説明しています。

例: ▼(下)ボタンを押すとき



または ▼を押す

▲(上)/ISO (P84)

◀(左)/オートフォーカスマード (P74)

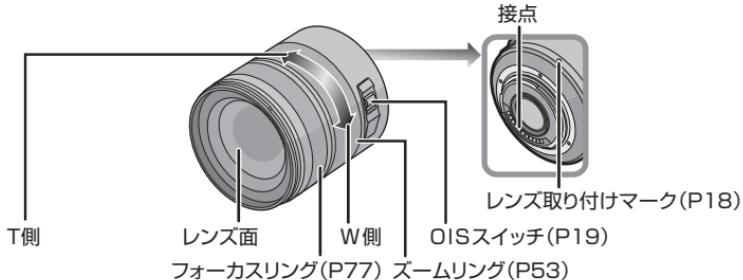
ファンクション ▶(右)/WB (P81)
▼(下)/Fn (P34) ホワイトバランス

以下のメニューを割り当てることができます。

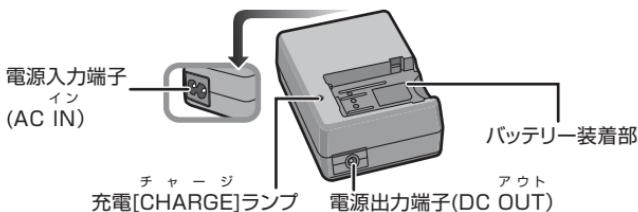
[画像横縦比]/[クオリティ]/[測光モード]/[暗部補正]/
[ガイドライン表示]/[記録枠表示]/[残枚数/残時間切替]

■ 同梱レンズ

H-VS014140(LUMIX G VARIO HD 14–140 mm/F4.0–5.8 ASPH./MEGA O.I.S.)

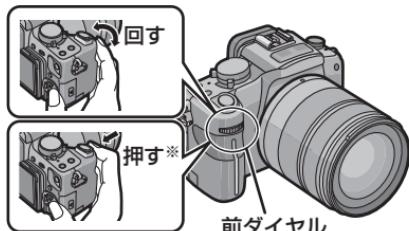


■ バッテリーチャージャー/ACアダプター(P22、26、163)



前ダイヤルを操作する

前ダイヤルは左右方向に回す操作と押して決定する操作との2通りあります。



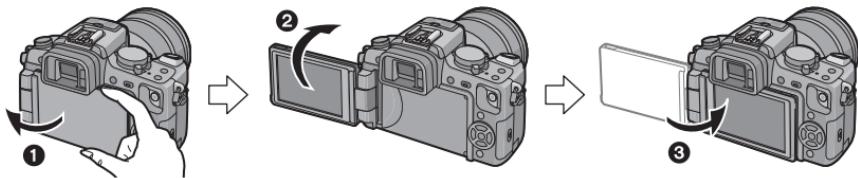
* 各種設定時には決定や終了などの[MENU/SET]ボタンと同じ働きをします。

操作の例

	回す	押す
撮影時	プログラムシフト(P52)、絞り(P89)、シャッタースピード(P89)の調整など	露出補正操作(P46、68)など
再生時	マルチ(カレンダー)再生(P55)、再生ズーム(P56)	1画面再生(マルチ再生中)、ズームしたまま画像送り(再生ズーム中)

液晶モニターを回転させる

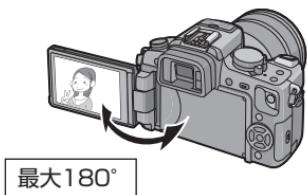
お買い上げ時、液晶モニターは収納状態になっています。
液晶モニターを下図のようにして液晶面を表にします。



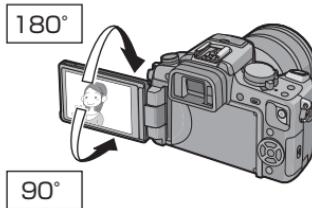
- ① 液晶モニターを開く
(最大 180° 開きます)
- ② レンズ方向に 180° 回転させる
- ③ 元の位置へ閉じる

液晶モニターの回転範囲

■ 左右開き方向



■ 前後回転方向



- レンズ方向に 180° まで回転します。
- 手前に 90° まで回転します。

お知らせ

- 液晶モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。
- 液晶モニターの周囲を持つと、液晶モニターにムラが発生しますが、故障ではありません。また、撮影画像や再生画像にも影響はありません。
- 液晶モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のため液晶モニターを内側に収納しておくことをおすすめします。



本機に使用可能なレンズ

本機は、DMC-GH1Kに同梱の交換レンズLUMIX G VARIO HD 14-140 mm/F4.0-5.8 ASPH./MEGA O.I.S.など、マイクロフォーサーズ™システムのレンズマウント規格に準拠した専用レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使うことができます。撮影シーン、目的に合わせてレンズを選択してください。専用レンズ以外では、オートフォーカスや正確な測光はできません。また、動かない機能があります。

■マイクロフォーサーズマウント

マイクロフォーサーズシステムのレンズマウント規格のことです。新たに開発されたデジタルカメラ専用の交換レンズです。



■ DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14-140 mm/F4.0-5.8以外を使用する場合

- レンズの種類によって縦位置換出機能(P40)、手ブレ補正(P117)、クイックAF(P123)、コンティニュアスAF(P123)などの使用できない機能があります。
- お使いのレンズの絞り値によって、フラッシュ撮影可能範囲などが異なります。
- 撮影の前にお使いのレンズでたまし撮りをして確認してください。
- マウントアダプター(別売: DMW-MA1)を使用することで、フォーサーズ™マウント規格のレンズを使用することもできます。なお、マイクロフォーサーズマウント規格レンズはフォーサーズマウント規格のカメラでは構造上ご使用になれません。マイクロフォーサーズマウント規格カメラ専用です。



本機で使用できる交換レンズと、機能の互換性(2009年4月現在)

(○: 使用可能、△:一部機能・性能に制限あり、×: 使用不可能)

レンズの種類	静止画撮影時		動画撮影時	
	オートフォーカス	自動絞り動作	オートフォーカス	自動絞り動作
動画対応 マイクロフォーサーズ マウント規格レンズ (LUMIX G VARIO HD)	○ ([AFS], [AFC])	○	○ ^{※2}	○
マイクロフォーサーズ マウント規格レンズ (LUMIX G VARIO)	○ ([AFS], [AFC])	○	△ ^{※2,3,4}	△ ^{※6}
コントラストAF対応 フォーサーズマウント 規格レンズ ^{※1}	△ ([AFS])	○	△ ^{※3,4,5}	△ ^{※6}
コントラストAF非対応 フォーサーズマウント 規格レンズ ^{※1}	×	○	×	△ ^{※6}

※1 本機で使用するにはマウントアダプター(別売: DMW-MA1)が必要です。

※2 動画撮影時は、[AFS]、[AFC](P50)のどちらに合わせても連続的にピントを合わせ続けます。

※3 動画対応マイクロフォーサーズマウント規格レンズに比べて、追従性能が劣ります。また、オートフォーカスの動作音が記録される場合があります。

※4 撮影モードを[AVCHD]、画質設定を[FHD]([])にして撮影中は、オートフォーカスが働かず、マニュアルフォーカス動作のみのご使用となります。

※5 動画撮影時は、コンティニュアスAF動作が働きません。

※6 絞りの動作音が記録される場合があります。

対応レンズの最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

レンズを付ける・取り外す

- 電源が[OFF]になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

本体にレンズを付ける場合

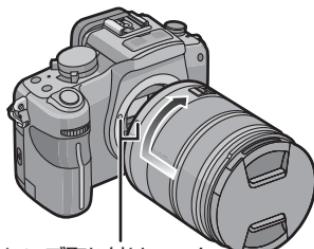
1 レンズリアキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外す



• マウント内に指を入れないでください。

2 本体とレンズのレンズ取り付けマーク(赤いマーク)を合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す

- レンズを付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。
- レンズを本体に対して傾いた状態で付けようすると、本体のレンズ取付部を傷つける恐れがありますのでお気をつけください。
- レンズが正しく付いていることを確認してください。



3 レンズキャップを外す

- レンズキャップを外して撮影してください。



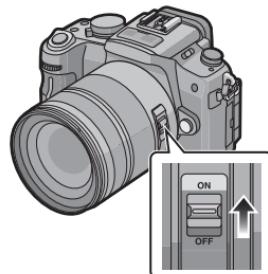
■手ブレを補正するために

DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14–140 mm/F4.0–5.8には、手ブレ補正機能があります。

本体にレンズを付けたときに、手ブレ補正機能が働くように設定します。

レンズのOISスイッチを[ON]にする

- 撮影メニューの[手ブレ補正](P117)で、手ブレ補正のモードを[MODE1]、[MODE2]または[MODE3]に切り換えることができます。お買い上げ時は、[MODE1]に設定されています。
- 三脚を使用するときは、OISスイッチを[OFF]に設定することをおすすめします。[OFF]に設定すると、液晶モニター／ファインダーに[OFF]が表示されます。



準備

本体からレンズを取り外す場合

1 レンズキャップを付ける

2 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す

- 本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、必ずボディキャップを付けてください。
- レンズの接点を傷つけないように、必ずレンズリアキャップを付けてください。



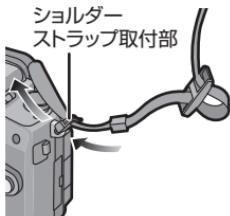
お知らせ

- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみなどが付着した場合は、177ページをお読みください。
- 電源を[OFF]にしているときや持ち運びするときは、レンズ面の保護のため、レンズキャップを付けてください。
- ボディキャップ、レンズキャップ、レンズリアキャップの紛失にお気をつけください。

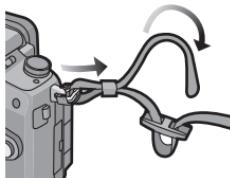
ショルダーストラップを付ける

•落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをおすすめします。

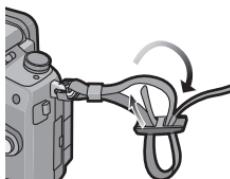
- 1** ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取付部にとおす



- 2** 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングにとおしたあと、留め具にとおす

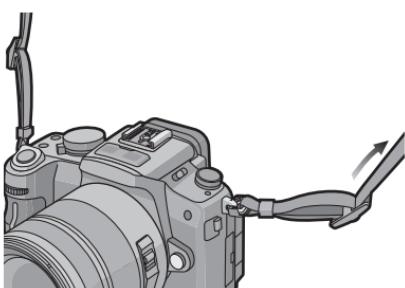


- 3** ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴にとおす



- 4** ショルダーストラップのもう一方を引いて、抜けないことを確認する

•手順1～4の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



お知らせ

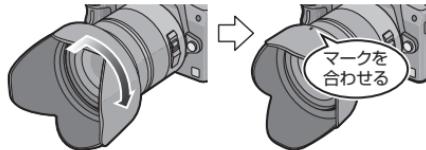
- ショルダーストラップは必ず手順に従って正しく取り付けてください。
- ショルダーストラップがしっかりと付けられていることを確認してください。
- LUMIX のロゴが外側になるように付けてください。

レンズフードを付ける

日差しの強い中、逆光時のゴーストやフレアを軽減します。余分な光をさえぎり、より美しく撮れます。

- 電源が[OFF]になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

レンズフードの短いほうを上下にしてレンズに挿入し、矢印の方向へ止まるまで回す



■一時的にレンズフードを外して運ぶ場合(仮収納)

1 レンズフードを矢印の方向に回して取り外す



2 レンズフードの向きを逆にし、上記と同じ操作でレンズフードを付ける

- レンズキャップを付けてください。
- 仮収納時は、確実にレンズフードが付いていることを確認して、画像にレンズフードが映っていないことを確認してください。



お知らせ

- レンズフードの付け外しは、レンズフードの短いほうを持って行ってください。
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードにさえぎられ、画面の下が暗く(ケラレ)なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをおすすめします。
- 暗いところでAF補助光を使用するときは、レンズフードを外してください。



準備

バッテリーを充電する

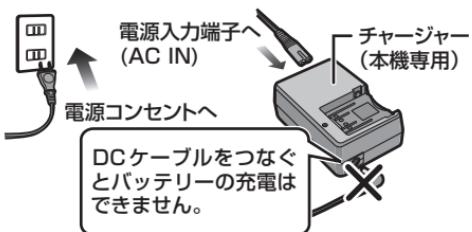
■ 本機で使えるバッテリー(2009年4月現在)

本機で使えるバッテリーはDMW-BLB13です。

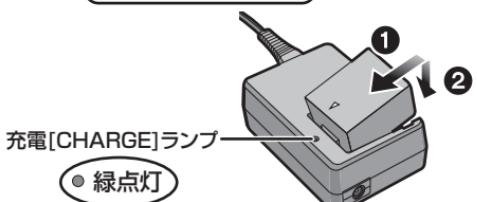
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。
- 本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー(DMW-BLB13)は、この機能に対応しています。(この機能に対応していない従来のバッテリーは使用できません)
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。
- 充電は周囲の温度が10°C~35°C(バッテリーの温度も同様)のところで行ってください。

1 電源コードをつなぐ

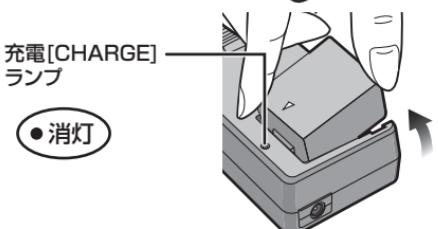


2 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む



3 充電が完了したらバッテリーを取り外す

- 充電が完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。





準備

■充電ランプが点滅するときは

- ・バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。充電時間が通常よりも長くなります。または充電が完了しない場合があります。
- ・チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

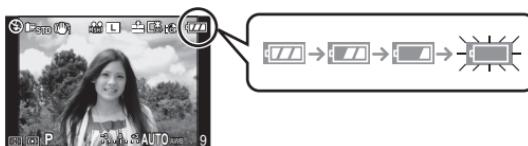
- ・充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから外してください。
- ・使用後や充電中、充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中は本機も温かくなります
が、異常ではありません。
- ・充電完了後にバッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。
- ・バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお
すすめできません。(使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります)
- ・正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられま
す。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ・チャージャーは海外でも使うことができます。(P163)
- ・電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱に
による火災や感電の原因になります。

バッテリーについて(充電・記録可能枚数)

■バッテリー残量表示について

残量表示が液晶モニター/ファインダーに表示されます。

[ACアダプター(P26)について使用するときは表示されません]



- ・バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(電源表示ランプも点滅します)
バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

バッテリーを充電する (つづき)

■ 電池寿命について

記録可能枚数	約300枚	条件はCIPA規格でプログラムAEモード時
撮影使用時間	約150分	

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- 温度23°C/湿度50%、液晶モニターを点灯※
- 当社製のSDメモリーカード(512 MB)使用
- 付属バッテリー使用
- DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ 14–140 mm/F4.0–5.8 使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始(手ブレ補正[MODE1]使用)
- 30秒間隔で1回撮影、フラッシュを2回に1回フル発光
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

※[オートパワーLCD]または[パワーLCD](P36)時は記録可能枚数が減少します。

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば2分に1回撮影した場合は、上記(30秒に1回撮影)の枚数の約1/4(約75枚)になります]

ファインダー使用時の記録可能枚数(条件は上記CIPA 規格と同じ)

記録可能枚数	約320枚
撮影使用時間	約160分

液晶モニター使用時の再生時間

再生時間	約260分
------	-------

記録可能枚数 / 再生時間は、バッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

液晶モニター使用時の連続記録可能時間(動画撮影時)

連続記録可能時間 (動画)	約120分
------------------	-------

- 撮影モードを[AVCHD]、画質設定を[SH]([])に設定して連続撮影

記録可能時間は、撮影間隔や使用条件によって変わります。*

* 電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返した場合は、記録可能時間が短くなります。

■ 充電について

充電時間	約155分
------	-------

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。充電が正しく完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。別売のバッテリーパック(DMW-BLB13)の充電時間と記録可能枚数は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。

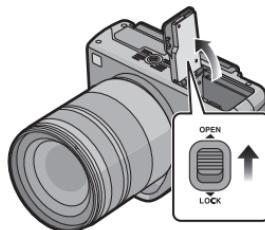
お知らせ

- バッテリーは、充電回数が増えると、使用時間が短くなり、膨らむ特性を持っています。長く使用するためには、頻繁な継ぎ足し充電を避けてお使いいただくことをおすすめします。
- スキー場などの低温下では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなる場合があります。

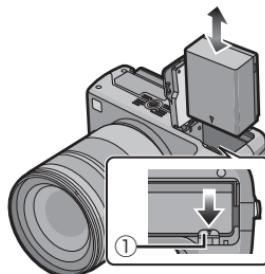
バッテリーを入れる・取り出す

- 電源が[OFF]になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

1 開閉レバーを矢印の方向(OPEN側)にスライドさせて、バッテリー扉を開く

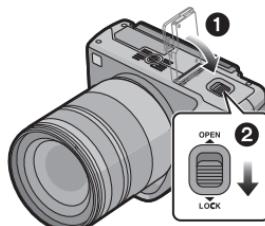


2 向きに気をつけて、①のレバーでロックされるまで入れる 取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す



3 ① バッテリー扉を閉じる

② 開閉レバーを矢印の方向(LOCK側)にスライドさせて確実に閉じる



お知らせ

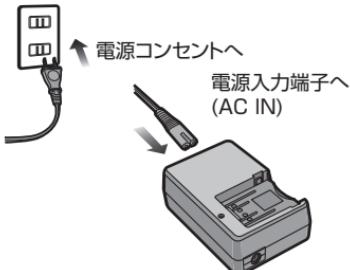
- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。
- 電源を[ON]にしたまま、バッテリーを取り出さないでください。カメラの設定が正しく保存されない可能性があります。
- 付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。
- バッテリーは当社製のものをお使いください。
- バッテリーの取り出しは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

ACアダプターを使う

DCケーブルを使ってバッテリーチャージャー/ACアダプターに接続し電源コンセントにつなぐと、本機をパソコンやプリンターに接続するときに、バッテリーの消耗を気にせず使うことができます。

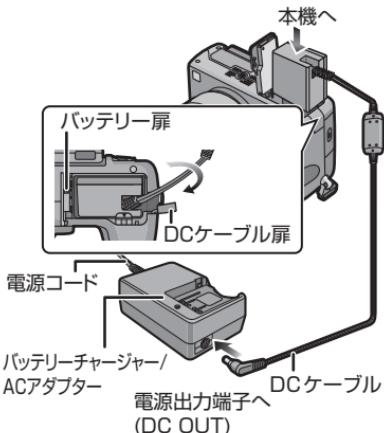
- 電源が[OFF]になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

1 電源コードをつなぐ



2 DCケーブルをつなぐ

- DCケーブル扉を引っ張り出してからDCケーブルをバッテリーと同じ手順で本体へ入れ(P25)、右図のようにケーブルを外に出し、バッテリー扉を閉じてください。
- バッテリー扉を閉じるときに、ケーブルを挟まないようにお気をつけください。
- DCケーブルをつなぐとバッテリーの充電はできなくなります。



お知らせ

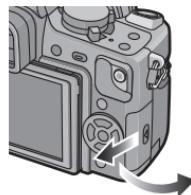
- 付属のDCケーブルを使用してください。それ以外のDCケーブルを使用すると、故障の原因になります。
- 使用中は本機が温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーチャージャー/ACアダプターは海外でも使うことができます。(P163)
- 必要がない場合はバッテリーチャージャー/ACアダプターとDCケーブルを抜いておいてください。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプターの使用をおすすめします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとどえると、撮影中の動画は記録されません。

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

カード（別売）を入れる・取り出す

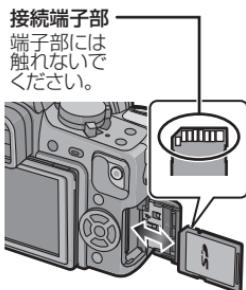
- 電源が[OFF]になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

1 カード扉をスライドさせて開く



2 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる 取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

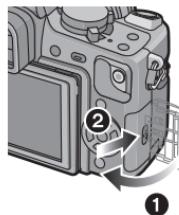
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。



3 ①カード扉を閉じる

②最後までスライドさせて確実に閉じる

- カード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出し、カードの向きを確認してからもう一度入れ直してください。



お知らせ

- 必ず電源を[OFF]にしてから、カード扉を開けてください。
- カードの取り出しあは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)



準備

カードについて

カードアクセス中は…

カードに画像を記録しているときは、
アクセス表示が点灯します。



（アクセス表示）

アクセス表示は赤く点灯します。

カード

本機では、以下のカードが使用できます。(本書では、これらをカードと記載しています)

カードの種類	特長
SDメモリーカード(8 MB～2 GB) (SD規格に準拠したFAT12、FAT16形式で フォーマット済み)	●記録/読み出し速度が速い。 ●書き込み禁止スイッチが付いて います。(スイッチを「LOCK」側 にすると、データの書き込みや消 去、フォーマットはできなくなり ます。戻すと可能になります。)
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)※ (SD規格に準拠したFAT32形式で フォーマット済み)	書き込み禁止 スイッチ 
miniSDカード	●本機で使用する場合は、専用のアダプターを必 ず装着してお使いください。(アダプターのみを 本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、 カードを入れてお使いください。)
microSDカード/microSDHCカード	

※2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。

※SDHCメモリーカード対応の機器で使用できますが、SDメモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。(必ずお使いの機器の説明書をお読みください)

- 4 GB以上のカードはSDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。
- 動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。
※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。
- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

お知らせ

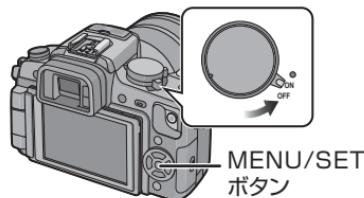
- アクセス表示点灯中、画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット(P38)中などは、電源を切ったり、バッテリーやカード、DCケーブル(ACアダプター使用時)を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。
カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P38)

時計を設定する

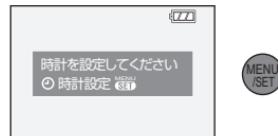
- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源を[ON]にする

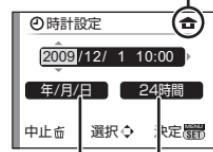
- 「時計を設定してください」が表示されます。



2 [MENU/SET]を押す



⌂:ホームの時間
↗:旅行先の時間(P114)



3 ◀/▶で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼で設定する

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
(例:2009年12月1日10時00分)
 - [年/月/日]:2009/12/1 10:00
 - [日/月/年]:10:00 1/DEC/2009
 - [月/日/年]:10:00 DEC/ 1/2009
- 時刻表示形式は[24時間]または[AM/PM]から選択します。
- [AM/PM]表示に切り換えた場合は、AM/PMが表示されます。
- 時刻表示形式を[AM/PM]に設定すると、午前0:00はAM12:00、午後0:00はPM12:00で表示されます。この表示は、アメリカなどで一般的に使用されている表示方法です。
- [中止]を押すと、時計を設定せずに中止します。

4 [MENU/SET]を押して決定する

- 時計設定終了後、一度電源を[OFF]にしてからもう一度[ON]にして、設定どおり表示されているか確認してください。

時計設定を変更する

セットアップメニューの[時計設定]を選び、▶を押してください。(P31)

- 上記の手順3、4の操作で変更できます。
- バッテリーなしでも約3ヶ月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れてください)

お知らせ

- 撮影時に[DISPLAY]を数回押すと、時計が表示されます。
- 年は2000年から2099年まで設定できます。
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込み(P133)を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。

特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

[](撮影メニュー)(P115~120)	[](セットアップメニュー)(P34~38)
<ul style="list-style-type: none">横縦比、画素数などをお好みで設定できます。	<ul style="list-style-type: none">時計の設定や電子音の切り替えなど、使いやすさの設定ができます。
[](動画撮影メニュー)(P121)	[](マイメニュー)
<ul style="list-style-type: none">撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。	<ul style="list-style-type: none">最近使用したメニュー項目を最大5つまで記憶します。よく使うメニュー項目を簡単に呼び出すことができます。
[](カスタムメニュー)(P122~126)	[](再生メニュー)(P128~142)
<ul style="list-style-type: none">画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。	<ul style="list-style-type: none">画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定(DPOF)など、撮影した画像に対して設定ができます。

お知らせ

- 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、動かなくなる機能があります。

メニュー項目の設定方法

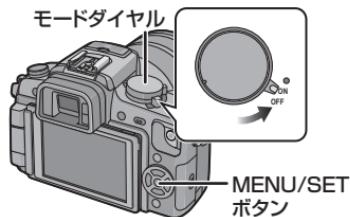
ここでは、撮影メニューの設定方法を説明していますが、動画撮影メニュー やカスタムメニュー、セットアップメニュー、マイメニュー、再生メニューも同じ方法で設定できます。

- カスタムメニューの[メニュー位置メモリー](P126)を[ON]に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択状態の画面になります。

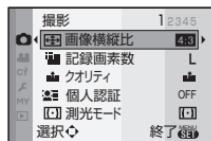
例) プログラムAEモードで、[暗部補正]を[OFF]から[強]に設定する

1 電源を[ON]にする

2 モードダイヤルを[P]に合わせる



3 [MENU/SET]を押してメニューを表示させる

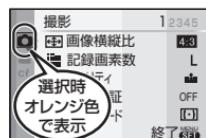


準備

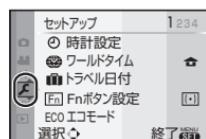
他のメニューとの切り換え

例) セットアップメニューとの切り換え

1 ◀を押す

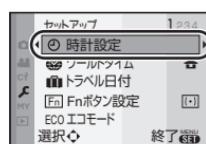


2 ▼または前ダイヤルを回してセットアップメニューアイコン[⌚]を選ぶ



3 ►を押す

- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

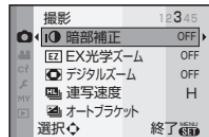


メニューを使って設定する (つづき)

4

▲/▼または前ダイヤルを回して [暗部補正] を選ぶ

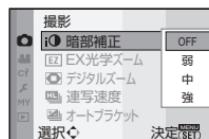
- 一番下の項目を選んで、さらに▼を押す、または前ダイヤルを右に回すと、次の画面に移ります。



5

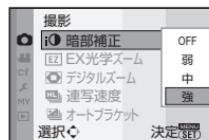
▶または前ダイヤルを押す

- 項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされたかたが異なるものがあります。



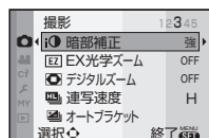
6

▲/▼または前ダイヤルを回して [強] を選ぶ



7

[MENU/SET] または前ダイヤルを押して決定する



8

[MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

クイックメニューを使って設定する

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

1 撮影状態で、[Q.MENU]を押してクイックメニューを表示する

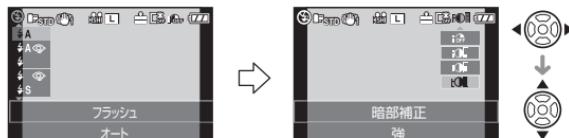


2 ▲/▼/◀/▶または前ダイヤルで項目と設定内容を選ぶ

- 設定可能なメニュー項目が、選択時にオレンジ色で表示されます。
- 撮影時の表示画面によって設定方法は以下のように異なります。
表示画面については、58ページをお読みください。

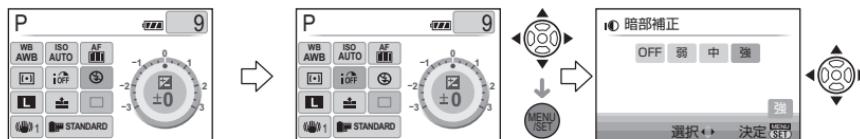
[LCD] (液晶モニタースタイル)

- 項目と設定内容を選んだあと、下記手順4へ進んでください。



[LCD] (液晶モニタースタイル)のLCD撮影情報画面

- 項目を選び、[MENU/SET]を押したあと、設定内容を選びます。



[Finder] (ファインダースタイル)

- 項目を選び、前ダイヤルを押したあと、設定内容を選びます。



3 [MENU/SET] または前ダイヤルを押して決定する



4 [Q.MENU]を押して、クイックメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

●インテリジェントオートモード時は、[時計設定]、[ワールドタイム]、[電子音]のみ設定できます。

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
①時計設定 日付や時刻を変更するときに設定します。	●詳しくは、29ページをお読みください。
⌚ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。	[✈ 旅行先]: 旅行先の地域 ▶ [🏡 ホーム]: お住まいの地域 ●詳しくは、114ページをお読みください。
📅トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定します。	[トラベル日付設定]: [旅行先]: ▶ [OFF] [設定] [OFF] [設定] ●詳しくは、112ページをお読みください。
[Fn]ファンクション Fn ボタン設定 ▼ボタンに撮影メニューまたはカスタムメニューを割り当てます。よく使う機能を登録しておくと、便利にお使いいただけます。	[📷 画像横縦比] [📸 クオリティ] ▶ [⌚] 測光モード [⌚] 暗部補正 [↔] ガイドライン表示 [📹] 記録枠表示 [%] 残枚数/残時間切替 ●撮影メニューの詳細については、115ページをお読みください。 ●カスタムメニューの詳細については、122ページをお読みください。
ECO エコモード 設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切れます。また、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。	[⚡パワーセーブ]: 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切れます。 [OFF] [1分] [2分] ▶ [5分] [10分] [⌚] 自動液晶OFF]: 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に液晶モニターを消灯します。 ▶ [OFF] [15秒] [30秒] ●[パワーセーブ]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源を[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。

セットアップメニューの設定方法はP31へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ								
ECO エコモード (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> インテリジェントオートモード時は、[パワーセーブ]は[5分]に固定されます。 [自動液晶OFF]を[15秒]または[30秒]に設定すると、[パワーセーブ]は[2分]に固定されます。 液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。 カスタムメニューの[LVF/LCD自動切替](P122)を[OFF]にして使用することをおすすめします。 以下の場合、[エコモード]は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> ・AC アダプター使用時 ・パソコンまたはプリンター接続時 ・動画撮影/再生時 ・スライドショー時 								
■オートレビュー	<p>[レビュー]: [ズーム]: 4倍拡大で表示</p> <table> <tr> <td>[OFF]</td> <td>▶ [OFF]</td> </tr> <tr> <td>[1秒]</td> <td>[1秒]</td> </tr> <tr> <td>▶ [3秒]</td> <td>[3秒]</td> </tr> <tr> <td>[5秒]</td> <td>[5秒]</td> </tr> </table> <p>[ホールド]: シャッターボタン半押しまで表示</p> <ul style="list-style-type: none"> [ホールド]に設定した場合、単写(P49)、セルフタイマー撮影(P73)時は、オートレビュー中に再生画面の表示切り換え(P54)などができます。 [ホールド]に設定した場合、ズーム時間の設定は無効になります。 連写(P69)、オートブラケット撮影(P71)、音声付き静止画(P120)時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。(拡大/ホールドはされません)オートレビューの設定はできません。 [ハイライト表示](P35)を[ON]に設定していると、オートレビュー時に白とびの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。 動画撮影では働きません。 [個人認証](P109)の[自動登録]を[ON]に設定時は、[レビュー]の[5秒]または[3秒]のみ設定できます。(ズームは[OFF]になります) 	[OFF]	▶ [OFF]	[1秒]	[1秒]	▶ [3秒]	[3秒]	[5秒]	[5秒]
[OFF]	▶ [OFF]								
[1秒]	[1秒]								
▶ [3秒]	[3秒]								
[5秒]	[5秒]								
■ハイライト表示	<p>▶ [OFF] [ON]</p> <ul style="list-style-type: none"> 白とびが起こっている場合は、ヒストグラム(P60)を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P68)再度撮影することをおすすめします。 フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白とびが起きる場合があります。このとき、ハイライト表示を[ON]に設定していると、フラッシュ光が当たったところが白とびとなって、黒と白の点滅で表示されます。 マルチ再生(P55)、カレンダー再生(P55)、再生ズーム(P56)時は働きません。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  <p>ハイライト表示[ON]</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ハイライト表示[OFF]</p> </div> </div>								



準備

セットアップメニューを使う (つづき)

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
※液晶調整 / LVF調整 液晶モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	<ul style="list-style-type: none"> ▲/▼で画面の明るさを、◀/▶または前ダイヤルでコントラストと彩度を調整します。 右図の画面で[DISPLAY]を押すと、カラー調整画面に切り換わります。 ▲/▼で赤系～緑系に、◀/▶または前ダイヤルでオレンジ系～青系にそれぞれ調整します。 液晶モニター表示時は液晶モニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。 
LCD LCDモード 屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいたときに見やすくなります。	<p>▶ [OFF] [A](オートパワーLCD): 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [P](パワーLCD): 液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 [パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。 [オートパワーLCD]または[パワーLCD]時は記録可能枚数が減少します。 再生時は、[オートパワーLCD]は選択できません。 動画撮影中は、[オートパワーLCD]は働きません。
[SCN]シーンメニュー モードダイヤルを \square / \blacksquare / $\blacksquare\blacksquare$ / $\blacksquare\blacksquare\blacksquare$ / $\blacksquare\blacksquare\blacksquare\blacksquare$ /[SCN]に切り換えたときに表示される画面を設定します。	<p>[OFF]: 現在選択されているアドバンスシーンモード(P93)や、シーンモード(P97)の撮影画面を表示 ▶ [AUTO]: アドバンスシーンモードや、シーンモードの選択画面を表示</p>
電子音 フォーカス音、セルフタイマー作動音、警告音を設定します。	<p>[なし]: なし ▶ [小]: 小 [大]: 大</p>
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	<p>▶ [LEVEL3] <ul style="list-style-type: none"> テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。 </p>

セットアップメニューの設定方法はP31へ



準備

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	<ul style="list-style-type: none">• フォルダーファイル番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。(P151)• フォルダーファイル番号は100~999まで作成されます。フォルダーファイル番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P38)することをおすすめします。• フォルダーファイル番号を100にリセットするには、まずカードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。その後、フォルダーファイル番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	<p>撮影設定 セットアップ/カスタム設定</p> <ul style="list-style-type: none">• 撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録したデータもリセットされます。• セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの[お気に入り](P130)は[OFF]、[回転表示](P138)は[ON]になります。<ul style="list-style-type: none">・ フィルムモード(P86)・ シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2](P98)、[ペット](P98)の誕生日設定、名前設定・ [トラベル日付](P112)の設定内容(出発日、帰着日、旅行先)・ [ワールドタイム](P114)の設定内容• フォルダーファイル番号、時計の設定は変わりません。
USB USBモード USB接続ケーブル(付属)を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	<p>▶ [接続時に選択]: パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。</p> <p>[PC]: パソコンに接続する場合に設定します。</p> <p>[PictBridge(PTP)]: PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。</p> <p>● [PC]に設定すると、USBのMass Storage通信方式で接続されます。</p> <p>● [PictBridge(PTP)]に設定すると、USBのPTP(Picture Transfer Protocol)通信方式で接続されます。</p>
TV画面タイプ テレビの種類に合わせて設定します。	<p>▶ [16:9]: 画面が16:9のテレビと接続時</p> <p>[4:3]: 画面が4:3のテレビと接続時</p> <p>● AVケーブル接続時に働きます。</p>

セットアップメニューを使う (つづき)

セットアップメニューの設定方法はP31へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
HDMI HDMI出力解像度	<p>▶ [AUTO]: 接続したテレビからの情報を元に、自動的に出力解像度を決定します。</p> <p>[1080i]: 有効走査線数1080本のインターレース方式で出力します。</p> <p>[720p]: 有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。</p> <p>[480p]: 有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。</p> <p>インターレース方式/プログレッシブ方式について 1/60秒ごとに有効走査線を半分に分けて交互に流すi=インターレース(飛び越し走査)に対し、1/60秒ごとに有効走査線を同時に流す高密度な映像信号をp=プログレッシブ(順次走査)といいます。本機の[HDMI]端子はハイビジョン映像出力[1080i]に対応しています。プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむにはそれぞれ対応テレビが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none">• [AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[1080i]、[720p]または[480p]に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください)• HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。• 詳しくは、144ページをお読みください。
ビエラリンク	<p>▶ [OFF]: 本機のボタンでの操作になります。</p> <p>▶ [ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません) 本機のボタンでの操作は制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。• 詳しくは、145ページをお読みください。
バージョン表示	<ul style="list-style-type: none">• レンズを取り付けていないときは、レンズファームウェアは [-.-]と表示されます。
フォーマット	<ul style="list-style-type: none">• フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(P26)を使用し、フォーマット中は電源を[OFF]にしないでください。• 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。• フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

構えかた、液晶モニター/ファインダーについて

- お買い上げ時は[LVF/LCD自動切替](P122)が[ON]に設定されています。アイセンサーの近くに手や物があるとファインダー表示に切り換わり、液晶モニターは消灯します。

本機の構えかたについて

- 両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけてください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプを指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。(P178)
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突する恐れがある場所では周囲に十分お気をつけください。

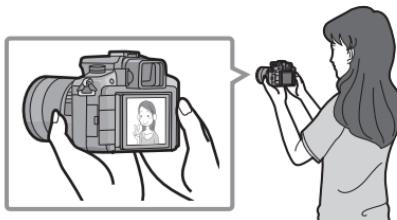


準備

液晶モニターについて

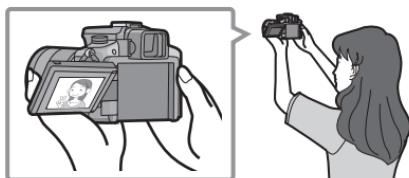
液晶モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。(P16)

■ 通常撮影時



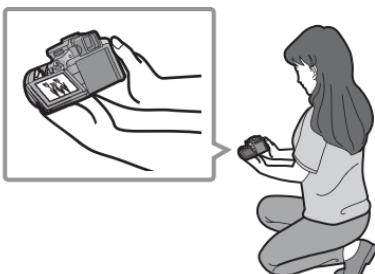
■ ハイアングル撮影時

液晶モニターを手前に180°開き、角度を調節する。



■ ローランジル撮影時

液晶モニターを手前に180°開き、角度を調節する。



- 前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。

- 低い位置にある花などを撮影するときなどに便利です。

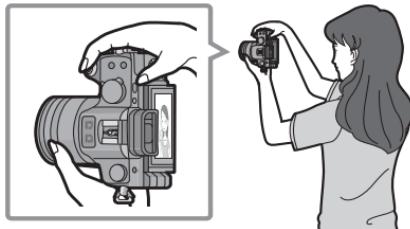
構えかた、液晶モニター/ファインダーについて(つづき)

■ 縦撮影時

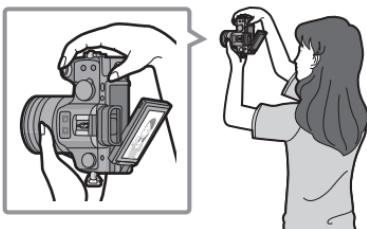
液晶モニターを開き、見やすい角度に回転させる。

- AF補助光ランプ(P13)を指などでふさがないでください。

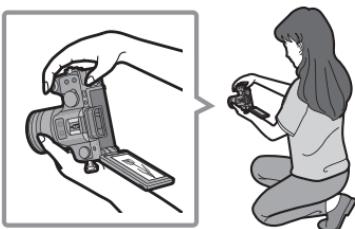
通常撮影時



ハイアングル撮影時



ローランダル撮影時



縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P138)を[ON]に設定している場合のみ)

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。
- 縦位置検出機能は、対応したレンズ(P17)を使用しているときのみ使えます。
(対応レンズについては、カタログ/ホームページなどをご覧ください)

液晶モニターとファインダーを切り換える

■アイセンサー自動切り換えについて

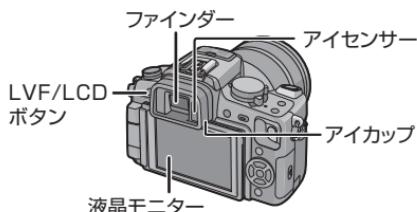
カスタムメニューの「[LVF/LCD自動切替]」(P122)を[ON]に設定しているときにはアイセンサーが働き、ファインダーに目や物を近づけるとファインダー表示に、離すと液晶モニター表示に自動的に切り替えます。

- 液晶モニターが点灯しているときは、ファインダーは消灯し、ファインダーが点灯しているときは、液晶モニターは消灯します。
- お使いの眼鏡の形状やカメラの構えかた、または接眼部付近に強い光が当たることなどにより、アイセンサーが正しく働かない場合があります。その場合は手動で切り換えてください。
- アイセンサー自動切り換えはアイセンサーに近く物を認識すると働きますので、「エコモード」(P34)を使用する場合は「[LVF/LCD自動切替]」を[OFF]に設定することをおすすめします。
- 動画再生中、スライドショー中、テレビへ出力中は、アイセンサーは無効になります。



[LVF/LCD]を押して切り換える

- LCD(液晶モニター)表示と、LVF(ファインダー)表示を手動で切り換えることができます。LVFとは「Live View Finder」の略で、ファインダー表示を表します。



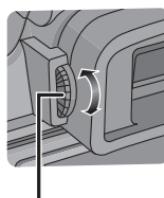
■ 視度調整について

使う前に、視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるようにします。

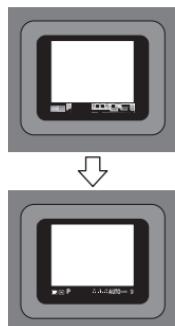
ファインダー内の表示を見て、はっきり合うところまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。

お知らせ

- アイカップは取り外しきれません。汚れた場合などお手入れの際は、177ページをお読みください。



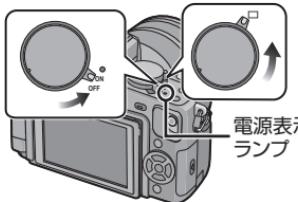
視度調整ダイヤル



撮影モードを選び、静止画または動画を撮影する

1 電源を[ON]にする

- 電源を[ON]にすると電源表示ランプが点灯します。
- ドライブモードレバーを[]に合わせているか確認してください。



2 モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。(モードダイヤルは360°回転します)

基本

iA インテリジェントオートモード P44

カメラにおまかせで撮影します。

P プログラムAEモード P49

お好みの設定で撮影します。



□ の部分に
使用したい
モードを合わせる

応用

A 紋り優先AEモード P89

絞り値を決めて撮影します。

CUST カスタムモード P101

あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

S シャッター優先AEモード P89

シャッタースピードを決めて撮影します。

SCN シーンモード P97

撮影シーンに合わせて撮影します。

M マニュアル露出モード P90

絞り値とシャッタースピードを
決めて撮影します。

♪ マイカラーモード P99

光の色、明るさ、色の鮮やかさを手軽に
確認しながら撮影します。

■Mクリエイティブ動画モード P107

マニュアル操作で動画を撮影します。

アドバンスシーンモード

人物モード P94

人物を撮影します。

クローズアップモード P95

近くにある被写体を撮影します。

風景モード P94

風景を撮影します。

★夜景&人物モード P96

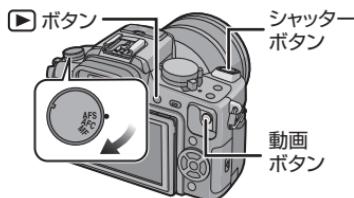
夜景や夜景を背景にした人物を撮影します。

スポーツモード P95

スポーツシーンを撮影します。

③ フォーカスモードダイヤルを [AFS] または [AFC] に合わせる

- [AFS] および [AFC] については、50ページをお読みください。



静止画を撮影する

1 シャッター ボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

2 シャッター ボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する



詳しくは、各撮影モードの説明をお読みください。

動画を撮影する

1 動画ボタンを押して撮影を開始する



2 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

各撮影モードに適した動画が撮影できます。
詳しくは、47ページ「カメラにおまかせで動画を撮る」、
102ページ「動画を撮る」をお読みください。

撮影した静止画または動画を再生する

1 [▶] を押す

2 ◀/▶ で画像を送る

詳しくは、54ページ「画像を見る」、
127ページ「動画/音声付き静止画を見る」をお読みください。

カメラにおまかせで撮る (iA: インテリジェントオートモード)

撮影モード: iA

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラおまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

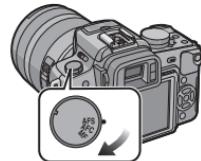
- 以下の機能が自動的に働きます。

- 自動シーン判別/デジタル赤目補正/顔認識/インテリジェントISO/暗部補正/長秒ノイズ除去/クリックAF/フォーカス優先/逆光補正

1 モードダイヤルを [iA] に合わせる

2 フォーカスマードダイヤルを [AFS] または [AFC] に合わせる

- [AFS] および [AFC] については、50ページをお読みください。



3 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示(緑)が点灯します。
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。
- ピントが合っていないときは、フォーカス表示が点滅します。この場合は撮影されませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。
・ DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ 14-140 mm/F4.0-5.8 装着時: 0.5 m ~ ∞



4 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

- ピントが合うまで、撮影できません。
- カードに画像を記録しているときは、アクセス表示(P28)が赤く点灯します。



■ フラッシュを使って撮影するときは(P61)

■ ズームを使って撮影するときは(P53)

■ マニュアルフォーカスを使って撮影するときは(P77)

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

	→	i 人物		i 風景		i クローズアップ
	· [A]選択時のみ			i 夜景		i 赤ちゃん*

- どのシーンにもあてはまらない場合は[IA]になり、標準的な設定を行います。
- [IA]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 追尾AF時(P46)は、指定した被写体に最適なシーンを判別します。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[IA]、[IP]、[IR]の右上に[R]が表示されます。

* [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

■ 顔認識について

[IP]、[IR]、[IA]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。(P75)



お知らせ

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
 - ・ 被写体条件
顔の明暗/被写体の大きさ/被写体までの距離/被写体の濃淡/被写体が動いている場合
 - ・ 撮影条件
夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生した場合/ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。

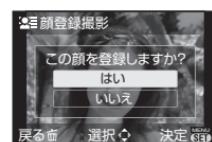
■ 逆光補正について

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。インテリジェントオートモードでは自動で逆光補正が働きます。

個人認証について

よく撮る人の顔を名前や誕生日などの情報とともに登録することができます。

[個人認証]を[ON]に設定して撮影すると、登録した顔に近い顔を見つけて優先的にピントや露出を合わせます。また、顔認識時にカメラに人の顔を記憶させ、撮影回数の多い顔を自動的に検出して顔登録画面を表示させることもできます。(P109)



お知らせ

- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 顔の特徴が似ている親子・兄弟姉妹などは正しく認証されない場合があります。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。

カメラにおまかせで撮る (iA: インテリジェントオートモード) (つづき)

撮影モード: iA

追尾AF機能

指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても、自動でピントと露出を合わせ続けます。

1 ◀を押す

- 画面左下に[◀]が表示されます。
- 画面中央に追尾AF枠が表示されます。
- もう一度◀を押すと、追尾AFは解除されます。



2 被写体を追尾AF枠に合わせ、シャッター ボタンを半押しして被写体にロックする

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッター ボタンを離すと追尾AF枠が黄色に変わり、ロックした被写体に最適なシーンを判別します。
- ◀を押すと、ロックは解除されます。



お知らせ

- 追尾AF時[個人認証]は働きません。
- 75ページの追尾AFのお知らせをお読みください。

露出を補正する

露出を補正して撮影することができます。詳しくは、68ページをお読みください。

1 前ダイヤルを押して露出補正操作に切り換える

2 前ダイヤルを回す

- 露出補正值は、画面下部に表示されます。
- 露出を補正しない場合は、“0”を選んでください。



フラッシュについて

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P61)
- 被写体の種類や明るさに応じて、[iA]、[iS]、[iS]になります。
- フラッシュは2回発光します。特に[iS]または[iS]の場合は、デジタル赤目補正(P62)が働き、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。
- インテリジェントオートモードでは、メニューを使ってフラッシュのモードを切り換えることはできません。

カメラにおまかせで動画を撮る

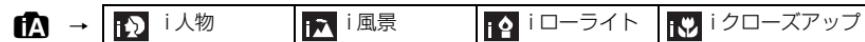
インテリジェントオートモードでは、被写体や撮影状況に合わせた動画撮影を行うことができます。

- 1 44ページの手順 1.2 を行う
 - 2 動画ボタンを押して撮影を開始する
 - 3 再度動画ボタンを押して撮影を終了する
- ・動画撮影について詳しくは、102ページをお読みください。



■自動シーン判別について

動画撮影中にカメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。



- ・どのシーンにもあてはまらない場合は [iA] になり、標準的な設定を行います。

■顔認識について

[iF] のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。(P75)

■逆光補正について

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。[iF] で顔を認識したときは、自動で逆光補正が働きます。

お知らせ

- ・条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
詳しくは、45ページの自動シーン判別の「お知らせ」をお読みください。
- ・動画撮影時に働く機能は、静止画撮影時と異なります。



基本

インテリジェントオートモード時の設定内容

- 以下の機能のみ設定できます。

静止画撮影メニュー

- ・[画像横縦比](P115)/[記録画素数](P115)/[クオリティ](P116)/[個人認証](P116)/
[手ブレ補正]^{※1}(P117)

^{※1} [MODE1]または[MODE2]のみ設定できます。

動画撮影メニュー

- ・[撮影モード](P104)/[画質設定]^{※2}(P104)/[風音低減](P106)

^{※2} [MOTION JPEG]の[REC]は設定できません。

カスタムメニュー

- ・[カスタムセット登録](P100)/[LCD撮影情報画面](P122)/[ガイドライン表示](P122)/
[残枚数/残時間切替](P125)

セットアップメニュー

- ・[時計設定]/[ワールドタイム]/[電子音]

- フィルムモード(P86)は[スタンダード]、[スタンダード B&W](白黒)のみ設定できます。

カメラにおまかせで撮る (iA: インテリジェントオートモード) (つづき)

撮影モード: iA

- 静止画撮影時は以下の設定項目は固定されます。

項目	設定内容
エコモード(パワーセーブ)(P34)	5分
フラッシュ(P61)	閃/④
フラッシュシンクロ(P67)	先幕
連写速度(P69)	H (高速)
オートブラケット(P71)	補正幅:3・1/3 ブラケット順序:0/-/+
セルフタイマー(P73)	⌚ ₁₀
オートフォーカスマード(P74)	⌚ (顔が認識されないときは[■])
ホワイトバランス(P81)	AWB
ISO感度(P84)	ISO (インテリジェントISO) (最高ISO感度は[ISO800])
測光モード(P117)	[・]
デジタル赤目補正(P118)	ON
暗部補正(P118)	中
色空間(P119)	sRGB
長秒ノイズ除去(P120)	ON
プリAF(P123)	Q_AF
フォーカス優先(P124)	ON
AF補助光(P124)	ON

- 動画撮影時は以下の設定項目は固定されます。

項目	設定内容
オートフォーカスマード(P74)	⌚ (顔が認識されないときは、動画用マルチオートフォーカスマードになります)
ホワイトバランス(P81)	AWB
ISO感度(P84)	AUTO (最高ISO感度は[ISO1600])
測光モード(P117)	[・]
手ブレ補正(P117)	MODE1
暗部補正(P118)	中

- 以下の機能は使えません。

- [エコモード]の[自動液晶OFF]/[ハイライト表示]/AF/AEロック/ホワイトバランス微調整/ホワイトバランスブラケット/マルチフィルムブラケット/[フラッシュ光量調整]/[EX光学ズーム]/[デジタルズーム]/[ISO感度上限設定]/[音声記録]/[AF/AEロック切替]/[AF/AEロック維持]/[ダイレクト1点AF移動]/[レンズ無しリリーズ]

- 動画撮影時に働かない機能は、他の撮影モードと共にあります。詳しくは、各項目の説明をお読みください。

- セットアップメニュー、カスタムメニューのその他の項目は、プログラムAEモードなどで設定することができます。設定した内容はインテリジェントオートモードに反映されます。

お好みの設定で撮る (P: プログラムAEモード)

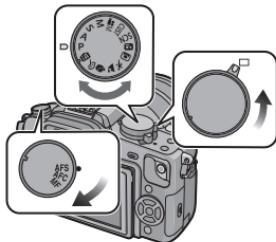
撮影モード: P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

- ドライブモードレバーを[□]に合わせる。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

- 撮影時の設定を変更したいときは、115ページの「撮影メニューを使う」、または122ページの「カスタムメニューを使う」をお読みください。



2 フォーカスマードダイヤルを [AFS] または [AFC] に合わせる

- [AFS] および [AFC] については、50ページをお読みください。

3 シャッター ボタンを半押ししてピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示(緑)が点灯します。
- ピントが合っていないときは、フォーカス表示が点滅します。この場合は撮影されませんので、再度シャッター ボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。
・ DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14-140 mm/F4.0-5.8装着時: 0.5 m~∞
- シャッタースピードは、[ISO 100]、開放絞り値F4.0(DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14-140 mm/F4.0-5.8装着時)の場合、約30秒~1/4000秒の間で自動的に設定されます。



基本

4 半押しのまさらにはシャッター ボタンを全押しして撮影する



- ピントが合うまで、撮影できません。
- ピントが合っていない場合でもシャッター ボタンの全押しで撮影されるようにしたいときは、カスタムメニューの[フォーカス優先]を[OFF]に設定してください。(P124)
- カードに画像を記録しているときは、アクセス表示(P28)が赤く点灯します。

■ 画像が暗く写るときなどに、露出を補正して撮影するには(P68)

■ 画像が赤っぽく写るときなどに、色を調整して撮影するには(P81)

■ 動画を撮影するときは(P102)

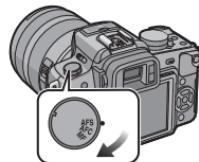
お好みの設定で撮る (P: プログラムAEモード) (つづき)

撮影モード: P

シャッターボタン半押しでピントを固定する(AFS)

フォーカスマードダイヤルを[AFS]に合わせる

- AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、ピントが固定される機能です。
- 通常は[AFS]をお使いください。
- 連写時のピントは1枚目に固定されます。
詳しくは、70ページをお読みください。
- 動画撮影時は、[AFS]、[AFC]のどちらに合わせても連続的にピントを合わせ続けます。

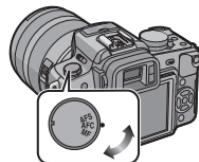


動きに合わせて連続的にピントを合わせる(AFC)

シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行うので、構図が決めやすくなります。

動いている被写体を撮影する場合は、予測してピント合わせを行います。(動体予測)

フォーカスマードダイヤルを[AFC]に合わせる

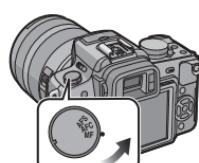


- AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体に合わせて常にピント合わせを行う機能です。
- ズームリングをW端からT端に回したり、急に被写体を遠くから近くに変えたあとは、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 連写時はシャッターボタンを押したあともピントを合わせ続けます。詳しくは、70ページをお読みください。
- シャッターボタン半押し前に自動でピントを合わせたいときは、カスタムメニューの[プリAF](P123)を設定してください。
- [AFC]ではピントが合ってもフォーカス音は鳴りません。またオートフォーカスマードを[■]に設定している場合は、AFエリアは表示されません。
- 明るさが足りないときは[AFS]になり、その際は被写体にピントが合うとAFエリアが表示され、フォーカス音が鳴ります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。

マニュアルフォーカスで撮る(MF)

フォーカスマードダイヤルを[MF]に合わせる

- 詳しくは、77ページをお読みください。





基本

ピントの合わせかた

被写体を画面に合わせて、シャッター ボタンを半押しする

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	—
音	ピピッ	—

※ 適正露出にならないときは、赤くなり点滅します。
(ただし、フラッシュ発光時は除く)

- オートフォーカスマードを[■]に設定していて、AFエリアが複数(最大23個)点灯した場合は、点灯したすべてのAFエリアにピントが合っています。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、オートフォーカスマードを[□]に切り換えてください。(P74)
- フォーカスマードが[AFC]の場合はフォーカス音は鳴りません。またオートフォーカスマードを[■]に設定している場合は、AFエリアは表示されません。

ピントが合わないとき

オートフォーカスマードが[□]設定時に被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、AFエリアを移動することができます。(P76)

■ 被写体によってオートフォーカスマードを変えて撮影する(P74)

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの/

ガラス越しや光るもの近くにある被写体を撮影するとき/暗いときや手ブレしているとき/
被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[!!]が表示されたときは、手ブレ補正(P117)、三脚、セルフタイマー(P73)、シャッターリモコン(別売: DMW-RSL1)(P161)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。

- ・スローシンクロ
- ・赤目軽減スローシンクロ
- ・アドバンスシーンモード(P93)の[夜景&人物]/[夜景]
- ・シーンモード(P97)の[パーティー]
- ・シャッタースピードを遅くしたとき

お好みの設定で撮る (P: プログラムAEモード) (つづき)

撮影モード: P

プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。

プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

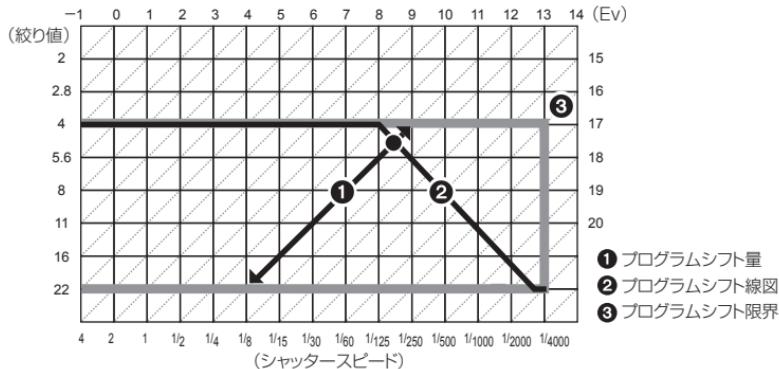
- 1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる
- 2 数値が表示されている間に(約10秒間)、前ダイヤルを回してプログラムシフトする

- 数値の表示中は、前ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作(P68)が切り換わります。
- プログラムシフトされている場合は、画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源を[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、前ダイヤルを回してください。



<プログラムシフトの例>

DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14–140 mm/F4.0–5.8装着時



お知らせ

- カスタムメニューの[露出設定切替](P125)で、露出補正の切り換えかたを変更できます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。
- プログラムシフトが有効になってから、10秒以上経過すると、プログラムシフト設定可能な状態は解除され通常のプログラムAEに戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。
- 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。
- ISO感度を[ISO]に設定すると、プログラムシフトできません。

ズームを使って撮る

撮影モード: **IA P A S M M CUST SCN**

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。

大きく撮るには(望遠)

広く撮るには(広角)

ズームリングをT側へ回す(P115) ズームリングをW側へ回す(P115)

さらに大きく撮るには撮影メニューで[EX光学ズーム]を[ON]に、また、[デジタルズーム]を[2×]または[4×]に設定すると、より拡大が可能になります。

EX光学ズーム(最大2倍)使用時は、各画像横縦比(**4:3** / **3:2** / **16:9** / **1:1**)で[L]以外の記録画素数に設定してください。

■ズームの種類

(DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ 14-140 mm/F4.0-5.8装着時)

種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)	デジタルズーム
焦点距離/ 最大倍率	14 mm~140 mm (28 mm~280 mm) ^{※1}	2倍 ^{※2} (54 mm~546 mm) ^{※1}	40倍(光学ズーム10倍含む) 80倍(EX光学ズーム2倍含む)
画質	劣化しない	劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	なし	撮影メニューの[EX光学ズーム](P118)を[ON]に設定し、EZ付きの記録画素数(P115)を選ぶ	撮影メニューの[デジタルズーム](P119)を[2×]または[4×]に設定する

※1 35 mmフィルムカメラ換算値です。

※2 記録画素数や画像横縦比により変わります。

■EX光学ズームの仕組み

例えば[SEZ](310万画素相当)に設定すると、撮像素子の持つ1200万画素相当の領域のうち、310万画素相当分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

お知らせ

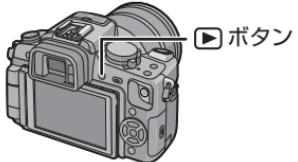
- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- デジタルズーム使用時は、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P73)を使って撮影することをおすすめします。
- デジタルズーム使用時は、オートフォーカスマードが[■]に固定されます。
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
 - ・ インテリジェントオートモード/クリエイティブ動画モード
 - ・ 動画撮影時
 - ・ [クオリティ]の[RAW⁺]、[RAW₋]、[RAW]設定時
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
 - ・ インテリジェントオートモード/アドバンスシーンモード/シーンモード
 - ・ [ISO]設定時
 - ・ [クオリティ]の[RAW⁺]、[RAW₋]、[RAW]設定時



基本

画像を見る

1 [▶]を押す



2 ◀/▶で画像を送る

◀:前の画像へ ▶:次の画像へ

- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
- ◀/▶を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。



■ 再生を終了するには

再度 [▶] を押すか、動画ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

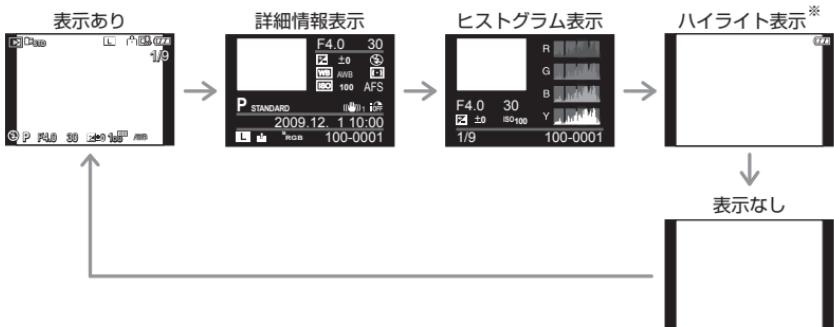
お知らせ

- 本機は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

再生画面の表示情報を切り換える

[DISPLAY]を押して切り換える

- メニュー画面表示時は[DISPLAY]は働きません。再生ズーム時(P56)、動画再生中(P127)、スライドショー中(P128)は、表示ありと表示なしの切り換えになります。
- ヒストグラムについては、60ページをお読みください。



*セットアップメニューの[ハイライト表示](P35)を[ON]にしているときのみ表示されます。

複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

前ダイヤルを左側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨

カレンダー画面表示

•前ダイヤルを右側に回すと、1つ前に戻ります。

•回転表示はされません。

選択画像番号/
トータル枚数



■ 1画面表示に戻すには

1 ▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ

•撮影画像や設定によって、アイコンが表示されます。

2 [MENU/SET]または前ダイヤルを押す

•選択されていた画像が表示されます。

画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 前ダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする

2 ▲/▼/◀/▶で再生する日付を選ぶ

▲/▼:月を選択

◀/▶:日を選択

•撮影した画像が1枚もない月は表示されません。



3 [MENU/SET]または前ダイヤルを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

•カレンダー画面表示に戻すには、前ダイヤルを左側に回してください。



または



4 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]または前ダイヤルを押す

•選択されていた画像が表示されます。

お知らせ

•はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。

•同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。

•カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。

•[時計設定]を行わずに撮影した場合、2009年1月1日に表示されます。

•[ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。



基本

画像を見る (つづき)

再生画面を拡大する(再生ズーム)

前ダイヤルを右側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- 拡大したあと、前ダイヤルを左側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置表示が表示され、▲/▼/◀/▶で拡大部分の位置を移動させることができます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 表示する位置を移動させると、約1秒間ズーム位置が表示されます。



■再生ズームのまま表示画像を切り換えるには

再生ズームのズーム倍率、ズーム位置を保持したまま表示画像を切り換えることができます。

再生ズーム中に前ダイヤルを押して画像送り操作に切り換え、◀/▶で画像を送る

- 再生ズーム中は、前ダイヤルを押すごとに、画像送り操作とズーム位置移動操作が切りわります。



お知らせ

- 再生ズーム中も、[DISPLAY] を押して、液晶モニター/ファインダーに表示する情報の表示ありと表示なしを切り換えることができます。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミングを行ってください。(P136)
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。
- ズーム倍率とズーム位置は、電源が切れると(パワーセーブを含む)解除されます。
- 以下の画像は、ズーム位置が中央に戻ります。
 - ・ [画像横縦比]が異なる画像
 - ・ [記録画素数]が異なる画像
 - ・ 回転方向が異なる画像([回転表示]を[ON]にしている場合)
- 動画再生時または音声付き静止画再生時は再生ズームは使えません。

画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

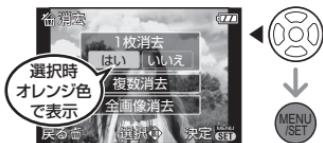
[]を押す

1枚消去

1 消去する画像を選び、[]を押す



2 ◀で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す



複数(50枚まで) / 全画像消去

1 []を押す

2 ▲/▼で[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]を押す
・[全画像消去]→手順5へ

3 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、
[DISPLAY]で設定する(繰り返す)
・設定した画像に[]が表示されます。もう一度
[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。



4 [MENU/SET]を押す

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

■[お気に入り](P130)設定時に[全画像消去]を選んだときは

再度、選択画面が表示されます。[全画像消去]または[★以外全消去]を選び、▲で[はい]を選んで画像を消去してください。([お気に入り]設定した画像がない場合は、[★以外全消去]を選択できません)

お知らせ

- ・消去中([]表示中)は電源を[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(P26)を使用してください。
- ・[複数消去]、[全画像消去]または[★以外全消去]中に[MENU/SET]を押すと、途中で消去が中止されます。
- ・消去枚数により、時間がかかることがあります。
- ・DCF規格外または[プロジェクト]設定(P140)された画像の場合は、[全画像消去]または[★以外全消去]をしても消去されません。

基本

液晶モニター/ファインダーの表示を切り換える

表示情報を切り換える

[DISPLAY]を押して切り換える

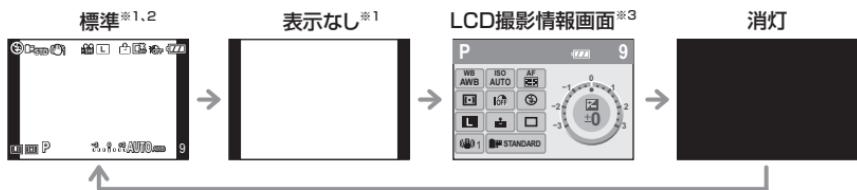
- メニュー画面表示時は[DISPLAY]は働きません。



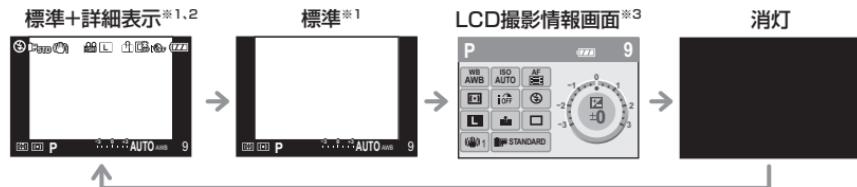
液晶モニター表示

カスタムメニューの[LCD表示スタイル](P122)で、液晶モニターの表示画面を[](液晶モニタースタイル)または[](ファインダースタイル)から選ぶことができます。

[]設定時



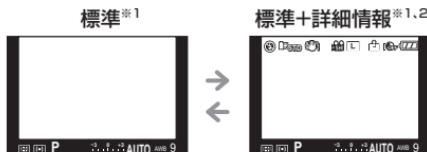
[]設定時



ファインダー表示

カスタムメニューの[LVF表示スタイル](P122)で、ファインダーの表示画面を[](ファインダースタイル)または[](液晶モニタースタイル)から選ぶことができます。

[]設定時



▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

[□]設定時



*1 カスタムメニューの[ガイドライン表示]を[OFF]以外に設定すると、ガイドラインが表示されます。[□]に設定している場合は、クリックメニューを使ってガイドラインの位置を移動することができます。(下記)

*2 カスタムメニューの[ヒストグラム]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。クリックメニューを使ってヒストグラムの位置を移動することができます。(P60)

*3 カスタムメニューの[LCD撮影情報画面]を[OFF]以外に設定すると表示されます。画面の色を茶系色、赤系色、黒系色の3種類から選ぶことができます。(P122)

お知らせ

- 夜景&人物モード(P96)では、ガイドラインはグレーで表示されます。

■ ガイドライン表示について

被写体を交差点やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

■：画面全体を3等分にして、バランスのよい構図の撮影を行いたい場合に使います。

×：画面の中心に被写体を配置したい場合に使います。

□：ガイドラインの位置を設定できます。画面の中心から外れた被写体をバランスよく撮影したい場合に使います。



■ [□]でガイドラインの位置を設定する

- カスタムメニューの[ガイドライン表示]を[□]に設定してください。(P122)

1 [Q.MENU]を押して、クリックメニューを表示する(P33)

2 ◀/▶でガイドラインを選び、[MENU/SET]を押す

- 前ダイヤルでも設定できます。
- クリックメニュー画面では選択された項目がオレンジ色で表示され、ガイドラインが選ばれたときはガイドラインそのものがオレンジ色で表示されます。

3 ▲/▼/◀/▶で位置を設定する

- [▲]を押すとガイドラインは中央に戻ります。

4 [MENU/SET]を押して終了する

5 [Q.MENU]を押して、クリックメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- カスタムメニューからも、ガイドラインの位置を設定できます。



液晶モニター/ファインダーの表示を切り換える(つづき)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

ヒストグラムの表示例

①適正な明るさの画像



ヒストグラム

②暗い画像



③明るい画像



■ヒストグラムの位置を設定する

•カスタムメニューの[ヒストグラム]を[ON]に設定してください。(P122)

1 [Q.MENU]を押して、クイックメニューを表示する(P33)

2 ◀/▶でヒストグラムを選び、[MENU/SET]を押す

•前ダイヤルでも設定できます。

•クイックメニュー画面では選択された項目がオレンジ色で表示され、ヒストグラムが選ばれたときはヒストグラムの枠がオレンジ色で表示されます。

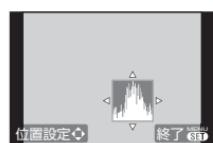
3 ▲/▼/◀/▶で位置を設定する

4 [MENU/SET]を押して終了する

5 [Q.MENU]を押して、クイックメニューを終了する

•シャッターボタン半押しでも終了できます。

•カスタムメニューからも、ヒストグラムの位置を設定できます。



お知らせ

•撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。

•露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが0 EV以外のとき

•フラッシュが発光するとき

•フラッシュを閉じているときに、適正露出にならないときや、暗いところで液晶モニター/ファインダーの明るさが正確に表示できないとき

•撮影時のヒストグラムは目安です。

•パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

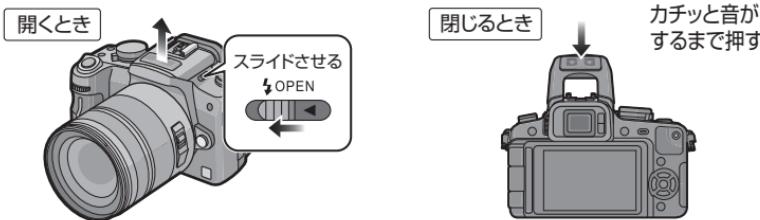
•再生時はヒストグラムをR(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)、Y(輝度)に分けて表示します。

内蔵フラッシュを使って撮る

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ フラッシュを開く/閉じる



- 使わないときは、フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、[]に固定されます。

フラッシュ設定を切り換える

使えるモード: **P A S M CUST SCN**

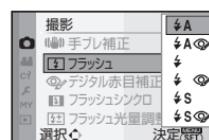
撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

- フラッシュを開く。

1 撮影メニューから[フラッシュ]を選ぶ(P31)

2 ▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す

- 選択できるフラッシュ設定については、63ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をお読みください。



3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。



応用
撮影

内蔵フラッシュを使って撮る(つづき)

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**      

項目	設定内容
AA: オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
AA(赤目): 赤目軽減オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、その後撮影のために再び発光します。 ●暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。
强制発光	フラッシュを強制的に発光させます。 ●逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
赤目(赤): 赤目軽減強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。同時に赤目現象をおさえます。 ●逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
SS: スローシンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 ●夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。
SS(赤目): 赤目軽減スローシンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ●夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。
④: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ●フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。

* フラッシュは2回発光します。特に[AA(赤目)][赤目][SS(赤目)]に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また、発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。

■デジタル赤目補正について

赤目軽減([AA(赤目)][赤目][SS(赤目)])選択時にフラッシュが発光すると、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。また、目以外の物が補正される場合があります。
- 撮影メニューの[デジタル赤目補正](P118)で[OFF]([AA(赤目)][赤目][SS(赤目)])にも設定できます。
- インテリジェントオートモードでは、[ON]に固定されます。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(○: 設定可、×: 設定不可、◎: アドバンスシーンモード、シーンモード初期設定)

	Ⓐ	ⒷⒷ	Ⓛ	ⓂⓂ	Ⓢ	ⓉⓉ	⓫
Ⓐ	○*	x	x	x	x	x	○
Ⓑ	○	○	○	○	○	○	○
Ⓛ	○	○	○	○	○	○	○
ⓂⓂ	○	○	○	○	x	x	○
Ⓢ	○	x	○	○	x	x	○
ⓉⓉ	x	x	○	○	x	x	○
⓫	x	x	x	x	x	x	○
Ⓐ	x	x	x	x	x	x	○
Ⓑ	x	x	x	x	x	x	○
Ⓛ	○	○	○	x	x	x	○
ⓂⓂ	○	○	○	x	x	x	○
Ⓢ	○	○	○	x	x	x	○
ⓉⓉ	○	○	○	x	x	x	○
⓫	○	○	○	x	x	x	○
Ⓐ	○	○	○	x	x	○	○
Ⓑ	○	○	○	x	x	○	○
Ⓛ	○	○	○	x	x	○	○
ⓂⓂ	○	○	○	x	x	○	○
Ⓢ	○	○	○	x	x	○	○
ⓉⓉ	○	○	○	x	x	○	○
⓫	○	○	○	x	x	○	○

*[A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[A]、[A①]、[A②]になります。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
 - 設定したフラッシュ設定は電源を[OFF]にしても記憶していますが、アドバンスシーンモードまたはシーンモードを変更して使用すると、アドバンスシーンモードまたはシーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
 - 設定できるフラッシュ設定は、静止画撮影時のものです。
 - 動画撮影時はフラッシュは発光しません。



内蔵フラッシュを使って撮る(つづき)

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**     

■ ISO感度別フラッシュ撮影可能範囲

(DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ 14-140 mm/F4.0-5.8装着時)

画像横縦比: [4:3]、[1:1]のとき

ISO感度	レンズの焦点距離別フラッシュ撮影可能範囲		
	W端~21 mm	22 mm	T端時
AUTO	フラッシュ光による ケラレが発生します	約1.0 m~約4.8 m*	約50 cm~約3.7 m*
ISO100		約1.0 m~約2.4 m	約50 cm~約1.8 m
ISO200		約1.0 m~約3.4 m	約50 cm~約2.6 m
ISO400		約1.0 m~約4.8 m	約50 cm~約3.7 m
ISO800		約1.0 m~約6.9 m	約50 cm~約5.3 m
ISO1600		約1.0 m~約9.7 m	約50 cm~約7.5 m
ISO3200		約1.0 m~約13.8 m	約60 cm~約10.7 m

画像横縦比: [3:2]のとき

ISO感度	レンズの焦点距離別フラッシュ撮影可能範囲		
	W端~17 mm	18 mm	T端時
AUTO	フラッシュ光による ケラレが発生します	約1.0 m~約5.1 m*	約50 cm~約3.7 m*
ISO100		約1.0 m~約2.5 m	約50 cm~約1.8 m
ISO200		約1.0 m~約3.6 m	約50 cm~約2.6 m
ISO400		約1.0 m~約5.1 m	約50 cm~約3.7 m
ISO800		約1.0 m~約7.2 m	約50 cm~約5.3 m
ISO1600		約1.0 m~約10.2 m	約50 cm~約7.5 m
ISO3200		約1.0 m~約14.4 m	約60 cm~約10.7 m

画像横縦比: [16:9]のとき

ISO感度	レンズの焦点距離別フラッシュ撮影可能範囲		
	W端時	15 mm	T端時
AUTO	約2.5 m~約5.5 m*	約1.0 m~約5.3 m*	約50 cm~約3.7 m*
ISO100	約2.5 m~約2.7 m	約1.0 m~約2.6 m	約50 cm~約1.8 m
ISO200	約2.5 m~約3.8 m	約1.0 m~約3.7 m	約50 cm~約2.6 m
ISO400	約2.5 m~約5.5 m	約1.0 m~約5.3 m	約50 cm~約3.7 m
ISO800	約2.5 m~約7.7 m	約1.0 m~約7.5 m	約50 cm~約5.3 m
ISO1600	約2.5 m~約11.0 m	約1.0 m~約10.7 m	約50 cm~約7.5 m
ISO3200	約2.5 m~約15.5 m	約1.0 m~約15.1 m	約60 cm~約10.7 m

*[ISO感度上限設定](P120)を[OFF]に設定時

- フラッシュ撮影時に被写体との距離が近い場合、レンズでフラッシュ光がさえぎられ、撮影画像の一部が暗くなります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。フラッシュ光がさえぎられる被写体との距離は、使用するレンズによって異なります。

・ DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14-140 mm/F4.0-5.8装着時：

画像横縦比：[4:3]、[1:1]のとき

W端～21 mm：フラッシュ光によるケラレが発生します／

22 mm：1.0 m以内/T端時：50 cm以内

画像横縦比：[3:2]のとき

W端～17 mm：フラッシュ光によるケラレが発生します／

18 mm：1.0 m以内/T端時：50 cm以内

画像横縦比：[16:9]のとき

W端時：2.5 m以内/15 mm：1.0 m以内/T端時：50 cm以内

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
Ⓐ	1/30 ^{※1} ～1/4000秒
Ⓐ◎	
⌚	1/30 ^{※2} ～1/160秒
⌚◎	

※1 シャッター優先AEモード時は60秒となります。

※2 シャッター優先AEモード時は60秒、マニュアル露出モード時はB(バルブ)となります。

※3 マニュアル露出モード時はB(バルブ)となります。

- フラッシュ発光時は、シャッタースピードが1/160秒より速い設定はできません。
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

お知らせ

- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 赤目軽減オートなどの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- レンズフードが付いた状態でフラッシュ撮影すると、フラッシュの光がフードにさえぎられることがあります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。

外部フラッシュについては、158ページをお読みください。



内蔵フラッシュを使って撮る(つづき)

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

フラッシュの発光量を調整する

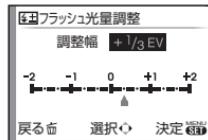
使えるモード: **P A S M CUST SCN**

被写体が小さい、反射率が極端に高い、または低いときは、フラッシュの発光量を調整してください。

1 撮影メニューから[フラッシュ光量調整]を選ぶ(P31)

2 ◀/▶でフラッシュの発光量を設定し、 [MENU/SET]を押す

- -2 EV から +2 EV の範囲で、1/3 EV ごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“0 EV”を選んでください。
- 前ダイヤルでも設定できます。



3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- フラッシュ発光量が調整されているときは、液晶モニター/ファインダーのフラッシュアイコンに[+]または[-]が表示されます。
- 設定したフラッシュ発光量は、電源を[OFF]にしても記憶しています。

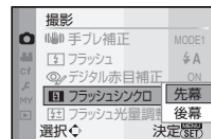
後幕シンクロに設定する

使えるモード: **P A S M CUST**

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

1 撮影メニューから【フラッシュシンクロ】を選ぶ(P31)

2 ▼で【後幕】を選び、[MENU/SET]を押す



3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

項目	効果
さきまく 先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。
あとまく 後幕	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。



お知らせ

- 通常は【先幕】に設定してください。
- 【後幕】に設定すると、液晶モニター/ファインダーのフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- フラッシュシンクロの設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P158)
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- 【後幕】設定時は、[A], [S], [M]に設定できません。

露出を補正して撮る

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出オーバー



適正露出



露出アンダー



露出をマイナス
方向に補正して
ください。

露出をプラス
方向に補正して
ください。

- 1 前ダイヤルを押して露出補正操作に切り換える



- 2 前ダイヤルを回して、露出を補正する
• 露出を補正しない場合は、“0”を選んでください。

- 3 撮影する

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 設定した露出補正量は、電源を[OFF]にしても記憶しています。ただし、インテリジェントオートモード時は露出補正量は記憶されません。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- ダイヤルの誤操作にお気をつけください。
- プログラムAEモードでは、絞り値とシャッタースピードの数値が画面に表示中は前ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作が切り換わります。
- 絞り優先AEモードでは前ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作(P89)と露出補正操作が切り換わります。
- シャッター優先AEモードでは前ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作(P89)と露出補正操作が切り換わります。
- カスタムメニューの[露出設定切替](P125)で操作方法を変更できます。
- [LCDモニタースタイル]時のクイックメニュー(P33)では、◀/▶または前ダイヤルで露出補正表示を選んだあと、▲/▼で露出補正ができます。
- [ファインダースタイル]時のクイックメニューでは、前ダイヤルまたは[MENU/SET]を押すと、前ダイヤルまたは◀/▶で露出補正表示を選んでから、前ダイヤルまたは[MENU/SET]を押すと、前ダイヤルまたは◀/▶で露出補正ができます。

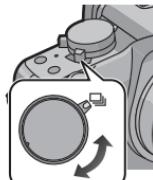
連写する

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**       

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。撮影後、お気に入りの画像を選んでください。

1 ドライブモードレバーを[連写]に合わせる



2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

連写[H(高速)設定時]



■ 連写速度を変更する場合

- 撮影メニューから[連写速度]を選ぶ(P31)
- ▲/▼で連写速度を選び、[MENU/SET]を押す
- [MENU/SET]を押してメニューを終了する
 - シャッターボタン半押しでも終了できます。



		[H](高速)	[L](低速)
連写速度		3コマ/秒	2コマ/秒
連写枚数	RAWファイルあり	4~7コマ*	
	RAWファイルなし	カードの空き容量による*	

* カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

- 最初の連写速度はカードの転送速度に関係ありません。
- 上記の連写速度は、シャッタースピードが1/60より速く、フラッシュを発光させないときの値です。
- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
 - ISO感度(P84)/[記録画素数](P115)/[クオリティ](P116)/[フォーカス優先](P124)/
フォーカスモード
 - RAWファイルについては、116ページをお読みください。

撮影

連写する(つづき)

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**

■連写とピントについて

ピント合わせは、フォーカスモードとカスタムメニューの[フォーカス優先](P124)の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス優先	ピント合わせ
AFS	ON	1枚目
	OFF	
AFC ^{*1}	ON	常時ピント ^{*2}
	OFF	予測ピント ^{*3}
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス

※1 被写体が暗い場合、ピントは1枚目に固定されます。

※2 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。



お知らせ

- シャッターボタンを押したまま連続撮影するときは、シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)の使用をおすすめします。シャッターリモコンについては、161ページをお読みください。
- [H]設定時、1枚目の露出、ホワイトバランスに固定されます。
[L]設定時、1枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 屋内外など明暗差の大きい場所(風景)で動きのある被写体を追いながら撮影した場合、露出が安定するまでに時間がかかる場合があります。このときに連写を行うと、最適な露出にならないことがあります。
- 暗いところでは、シャッタースピードが遅くなるため、連写速度(コマ/秒)が遅くなることがあります。
- [オートレビュー]の設定にかかわらずオートレビューされます。(拡大/ホールドはされません)
セットアップメニューで[オートレビュー]の設定はできません。
- フラッシュが発光するときは、1枚しか撮影できません。
- ホワイトバランスプラケット撮影時(P83)は、1回の撮影で3枚の画像を記録しますので、次の撮影までに時間がかかります。
- マルチフィルムプラケット撮影時(P88)は、マルチフィルムプラケット設定に従って、最大3枚のフィルムが撮影されます。
- 動画撮影では連写は無効になります。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。露出が異なる画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

補正幅:[3・1/3]、ブラケット順序:[0/-/+] 設定時の例

1枚目



±0 EV

2枚目



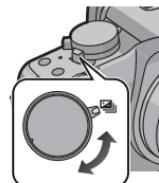
-1/3 EV

3枚目



+1/3 EV

1 ドライブモードレバーを[]に合わせる



2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケットの設定やドライブモードを変更したり、電源を[OFF]にした場合は、1枚目からの撮影になります。

オートブラケット表示



露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）(つづき)

撮影モード：**IA P A S M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ オートブラケットの補正幅、撮影順序を変更する場合

- 撮影メニューから【オートブラケット】を選ぶ(P31)
- ▲/▼で【補正幅】または【ブラケット順序】を選び、▶を押す



- ▲/▼で設定内容を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
補正幅	3・1/3 (3枚撮影)
	3・2/3 (3枚撮影)
	5・1/3 (5枚撮影)
	5・2/3 (5枚撮影)
	7・1/3 (7枚撮影)
	7・2/3 (7枚撮影)

項目	設定内容
ブラケット順序	0/-/+
	-/0/+

- [MENU/SET]を2回押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

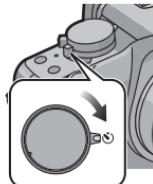
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- 【オートレビュー】の設定にかかわらずオートレビューされます。(拡大/ホールドはされません) セットアップメニューで【オートレビュー】の設定はできません。
- フラッシュが発光するときは、1枚しか撮影できません。
- 記録可能枚数が設定枚数より少ないとときは、設定枚数分撮影できません。
- マルチフィルムブラケット撮影時(P88)は、マルチフィルムブラケットの設定が優先されます。
- 動画撮影ではオートブラケットは無効になります。

セルフタイマーを使って撮る

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

1 ドライブモードレバーを[⌚]に合わせる



2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- ピントが合うまで、撮影されません。
- ピントが合っていない場合でもシャッターボタンの全押しで撮影されるようにしたいときは、カスタムメニューの[フォーカス優先]を[OFF]に設定してください。(P124)
- セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー動作中に[MENU/SET]を押すと、セルフタイマーが中断されます。
- [⌚]選択時は、1枚目および2枚目撮影後にセルフタイマーランプが再度点滅し、2秒後に撮影動作を開始します。



■ セルフタイマーの時間を変更する場合

1 撮影メニューから[セルフタイマー]を選ぶ(P31)

2 ▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
⌚ ₁₀	10秒
⌚ ₃	10秒/3枚
⌚ ₂	2秒

撮影	選択
⌚ セルフタイマー	⌚ ₀
色空間	⌚ ₁
長秒ノイズ除去	⌚ ₂
X ISO ISO感度上限設定	⌚ ₃
ISO ISO感度ステップ	⌚ ₄
選択	決定

• [⌚₃]に設定すると、10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

• シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- セルフタイマーを2秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- [⌚₁₀]設定時、撮影状況によっては撮影間隔が2秒以上になることがあります。
- [⌚₁₀]設定時、フラッシュ発光量は一定にならないことがあります。
- マルチフィルムブラケット撮影時(P88)は、[⌚₃]に設定しても、[⌚₁₀]と同じ動作になります。
- インテリジェントオートモード時は、[⌚₂]または[⌚₃]に設定できません。
- 動画撮影ではセルフタイマーは無効になります。

応用
撮影

ピントを合わせる方法を設定する(オートフォーカスモード)

撮影モード: **P A S M M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。

撮影状況や撮りたい構図に合わせて使い分けてください。

1 フォーカスモードダイヤルを[AFS]または[AFC]に合わせる

2 ◀(田)を押し、◀/▶でオートフォーカスモードを選ぶ

- 前ダイヤルでも設定できます。



終了

項目	効果
[] (顔認識)	人の顔を自動的に検知します。(最大15個)認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
[] (追尾AF)	指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。(動体追尾)
[] (23点)	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。被写体が中央以外の場合に有効です。 (AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります)
[] (1点)	AFエリア内にピントを合わせます。 AFエリアの位置と大きさを変えることができます。

3 [MENU/SET] を押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- []で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。(フォーカスマードダイヤルを[AFS]に合わせたときのみ)
- []でAFエリアが複数(最大23個)点灯した場合は、点灯したすべてのAFエリアにピントが合っています。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を[]に切り換えてください。
- []または[]に設定している場合は、ピントが合うまでAFエリアは表示されません。また、[]でフォーカスマードを[AFC]に設定している場合には、ピントが合っていてもAFエリアは表示されません。
- 動画撮影中、[]または[]に設定している場合は、動画用マルチオートフォーカスマードに切り換わります。このとき、AFエリアは表示されません。
- 人物以外の被写体をカメラが誤って顔と認識する場合は、[]以外に設定してください。
- [個人認証]は、[]に設定されているときのみ有効になります。
- 以下の場合、[]に設定できません。
 - クローズアップモードの[料理]
 - 夜景&人物モードの[夜景]、[イルミネーション]
- デジタルズーム使用時は、[]に固定されます。

■ について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。

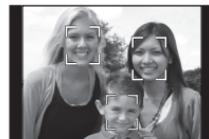
黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

- [] 選択時、[測光モード]を [] に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働きず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスマードは [] に切り換わります。

- ・顔が正面に向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている
- ・顔の陰影が少ない
- ・動きが速い
- ・被写体が人物以外である
- ・手ブレしている



『 (追尾AF) を設定する』

1 被写体を追尾AF枠に合わせ、シャッターボタンを半押しして被写体にロックする

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になり被写体がロックされます。シャッターボタンを離すと被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントと露出を合わせます。(動体追尾)このときAFエリアは黄色で表示されます。
- [MENU/SET] または  を押すと、追尾AFが解除されます。



2 撮影する

お知らせ

- ロックに失敗したときは、追尾AF枠が赤く点滅したあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- 追尾AFに失敗したときは、追尾AFは働きません。その際、オートフォーカスマードは [] に切り換わります。
- 追尾AF動作時は [個人認証] が働きません。
- フィルムモードの [スタンダード B&W (白黒)]、[ダイナミック B&W (白黒)]、[スムーズ B&W (白黒)] では、[] は [] の動作になります。
- 以下の場合は、動体追尾機能が働かないことがあります。
 - ・被写体が小さすぎる
 - ・被写体の動きが速い
 - ・手ブレしている
 - ・撮影場所が明るすぎる、暗すぎる
 - ・被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
 - ・ズーム操作時



ピントを合わせる方法を設定する (オートフォーカスマード) (つづき)

撮影モード: **P A S M M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

AFエリアを設定する

[□]選択時にAFエリアを移動することができます。また、AFエリア枠の大きさを変更することもできます。

- クイックメニュー(P33)からも、設定することができます。

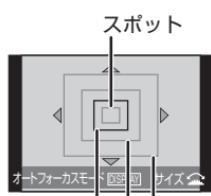
1 [□] を選び、▼を押す

- AFエリア設定画面が表示されます。[DISPLAY]を押すと元の画面に戻ります。



2 ▲/▼/◀/▶でAFエリアを移動する

- 画面内の自由な位置に設定できます。
(画面の端には設定できません)
- [▲]を押すとAFエリアは中央に戻ります。



3 前ダイヤルを回してAFエリア枠の大きさを変更する

前ダイヤル右回し:拡大

前ダイヤル左回し:縮小

- 「スポット」、「通常」、「大」、「特大」の4種類の大きさに変更できます。

スポット

通常 大 特大

4 [MENU/SET] を押して設定する

■ 撮影時にAFエリアを簡単に移動する

[□]選択時にカスタムメニューの[ダイレクト1点AF移動](P124)を[ON]に設定すると、▲/▼/◀/▶で直接AFエリアを移動することができます。また、位置を設定する画面で前ダイヤルを回すと、AFエリア枠の大きさの変更もできます。

- ISO感度設定(P84)、Fnボタン設定(P34)、オートフォーカスマード設定(P74)、ホワイトバランス設定(P81)は▲/▼/◀/▶では操作できなくなります。クイックメニュー(P33)を使って設定してください。

お知らせ

- [測光モード]が[□]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。(P117)
- 「スポット」でピントが合いにくいときは、AFエリア枠の大きさを「通常」、「大」、「特大」のいずれかに変更してください。
- アドバンスシーンモード、シーンモード、またはマイカラーモード時は、[ダイレクト1点AF移動]は[OFF]に固定されます。
- 動画撮影中は、[ダイレクト1点AF移動]は働きません。

手動でピントを合わせて撮る (MF: マニュアルフォーカス)

撮影モード: **IA P A S M M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 フォーカスマードダイヤルを [MF] に合わせる

- 画面に [MF] が約5秒間表示されます。

2 フォーカスリングを回してピントを合わせる

- MFアシストとして画面が約5倍に拡大表示されます。
- ▲/▼/◀/▶で拡大位置を移動させることができます。
- フォーカスリング、▲/▼/◀/▶の操作をやめると、約10秒後にMFアシストは消えます。
- 前ダイヤルを右側に回すとMFアシストが5倍から10倍に拡大されます。左側に回すと5倍に戻ります。



3 撮影する

■ MFアシストについて

カスタムメニューの[MFアシスト](P125)を[OFF]に設定すると、フォーカスリングを回してもMFアシストとして画面は拡大表示されません。MFアシストを表示したいときは、◀を押したあと、[MENU/SET]を押すことで、拡大表示ができます。

1 ◀でMFアシスト画面を表示する

2 ▲/▼/◀/▶で位置を移動する

- 以下の操作を行うと、中央のMFアシスト位置に戻ります。
 - フォーカスマードダイヤルを[AFS]または[AFC]に切り換えたとき
 - [画像横縦比]、[記録画素数]を変更したとき
 - 電源を[OFF]にしたとき



3 [MENU/SET]を押して、MFアシスト画面を拡大する

- フォーカスリングを回してピントを合わせてください。
- ▲/▼/◀/▶で拡大位置を移動させることができます。
- 前ダイヤルを右側に回すとMFアシストが5倍から10倍に拡大されます。左側に回すと5倍に戻ります。



4 [MENU/SET]を押して、MFアシストを終了する

- 元の画面に戻ります。



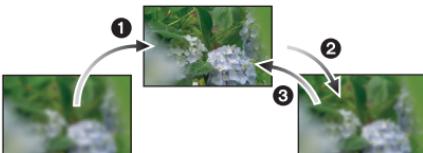
手動でピントを合わせて撮る (MF: マニュアルフォーカス) (つづき)

撮影モード: **IA P A S M M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ マニュアルフォーカスのテクニック

- ① フォーカスリングを回して、ピントを合わせる
- ② さらに同じ方向に少し回す
- ③ ゆっくり戻しながら微調整する

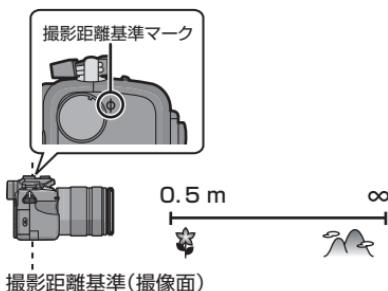


■ 撮影距離基準について

(DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ 14–140 mm/F4.0–5.8装着の場合)

撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。

マニュアルフォーカスや接写の目安にしてください。



● 近距離を撮影する場合は…

- ・三脚を使用し、セルフタイマー(P73)を使って撮影することをおすすめします。
- ・ピントの合っている範囲(被写界深度)が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- ・画像の周辺部の解像度が少し低下することがありますが、故障ではありません。

お知らせ

- ・◀を使ってMFアシストを開始した場合、フォーカスリング、▲/▼/◀/▶の操作をしない状態で約10秒経過してもMFアシストは継続して表示されます。
- ・ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ・デジタルズーム使用時、または動画撮影中はMFアシストは表示されません。
- ・マイカラーモード時は、◀を押してもMFアシスト画面は表示されません。
- ・パワーセーブ解除後は、必ずピントを合わせ直してください。

露出やピントを固定して撮る (AF/AEロック)

撮影モード: P A S M M CUST SCN

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

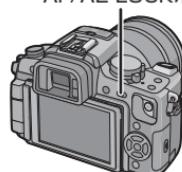
■ 露出のみを固定する

1 露出を合わせたい被写体に画面を合わせる

2 [AF/AE LOCK] を押したままにし、露出を固定する

- 絞り値とシャッタースピードの表示が点灯します。
- [AF/AE LOCK] を離すと、ロックは解除されます。

AF/AE LOCKボタン



3 [AF/AE LOCK] を押したまま、撮りたい構図に本機を動かす



AEロック表示

4 シャッター ボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しする



露出やピントを固定して撮る (AF/AEロック) (つづき)

撮影モード: **P A S M M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ ピントまたはピント・露出を固定する

- 1 カスタムメニューから [AF/AEロック切替] を選ぶ(P31)
- 2 ▲/▼で [AF] または [AF/AE] を選び、[MENU/SET] を押す
- 3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する
 - シャッターボタン半押しでも終了できます。

カスタムメニュー	
□	ヒストグラム
■	ガイドライン表示
CY	AF/AEロック切替
AF	AF/AEロック維持
MY	プレビュー維持
選択	決定
	SEED

[AF] または [AF/AE] 設定時の撮影方法

- ① 被写体に画面を合わせる
- ② [AF/AE LOCK] を押したままにし、ピントや露出を固定する
 - [AF] 設定時は、ピントが合うと、[AFL] およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
 - [AF/AE] 設定時は、ピントと露出が合うと、[AFL] と [AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
 - [AF/AE LOCK] を離すと、ロックは解除されます。
- ③ [AF/AE LOCK] を押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

お知らせ

- カスタムメニューの [AF/AEロック維持] を [ON] に設定すると、[AF/AE LOCK] を押したあと、離してもピントや露出を固定することができます。(P123)
- AEロックを行うと、液晶モニター／ファインダーに映る画面(ライブビュー)の明るさも固定されます。
- マニュアル露出モード時は、AFロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時またはプレビューモード時は、AEロックのみ有効です。
- AEロック、AFロックは動画撮影でも有効ですが、動画撮影中に新たにAEロック、AFロックを行なうことはできません。動画撮影中はロックの解除操作のみ可能です。
- 被写体の明るさが変わっても、露出は固定されます。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

ホワイトバランスを調整する

撮影モード: P A S M M CUST SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ▶(WB)を押す



2 ◀/▶でホワイトバランスを選び、[MENU/SET]を押して決定する

- ・前ダイヤルでも設定できます。
- ・シャッターボタン半押しでも決定できます。

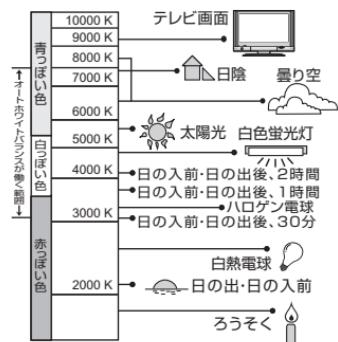


項目	撮影状況
[AWB]	自動調整
[日]	晴天の屋外での撮影時
[雲]	曇りの屋外での撮影時
[合]	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[点]	白熱灯下での撮影時
[絞]	フラッシュ光のみでの撮影時
[■], [■]	あらかじめセットしている設定を使用
[図]	あらかじめセットしている色温度設定を使用

※ 動画撮影中は[AWB]の動作になります。

■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。



ホワイトバランスを調整する (つづき)

撮影モード: **P A S M M C U S T S C N**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

お知らせ

- 蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[■■], [■■]をご使用ください。
- フラッシュ撮影時、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- 設定したホワイトバランスは電源を[OFF]にしても記憶していますが、アドバンスシーンモードまたはシーンモードを変更して使用すると、アドバンスシーンモードまたはシーンモードのホワイトバランスは[AWB]に戻ります。
- 以下の場合は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。

・インテリジェントオートモード	・人物モードの[屋外人物]、[屋内人物]
・風景モード	・スポーツモードの[屋外スポーツ]、[屋内スポーツ]
・クローズアップモードの[料理]	・夜景&人物モード
・シーンモードの[夕焼け]/[パーティー]	・マイカラーモード

手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

- クイックメニュー(P33)からも、設定することができます。

1 [■■]または[■■]を選び、▲を押す



2 白い紙など白いものだけを枠内に写し、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- 被写体が明るすぎたり、暗すぎる場合は、正しくホワイトバランスを設定できないことがあります。そのときは、適切な明るさに調整して、再度設定し直してください。

色温度設定について

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

- クイックメニュー(P33)からも、設定することができます。

1 [■■]を選び、▲を押す



2 ▲/▼で色温度を選び、[MENU/SET]を押す

- [2500K]～[10000K]まで設定できます。
- 前ダイヤルでも設定できます。

ホワイトバランス微調整(WB)

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- クイックメニュー(P33)からも、設定することができます。

1 ホワイトバランスを選び、▼を押す

2 ▲/▼/◀/▶でホワイトバランスを微調整し、[MENU/SET]を押す

◀: A(アンバー:オレンジ系) ▲: G+(グリーン:緑系)
►: B(ブルー:青系) ▼: M-(マゼンタ:赤系)



お知らせ

- ホワイトバランスをA(アンバー)またはB(ブルー)方向に微調整すると、液晶モニター/ファインダーに表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG+(グリーン)またはM-(マゼンタ)方向に微調整すると、液晶モニター/ファインダーに表示されるホワイトバランスアイコンに[+](グリーン)または[-](マゼンタ)が表示されます。
- [▲]を押すと中心点に戻ります。
- ホワイトバランスを微調整しない場合は、中心点を選んでください。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- 電源を[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- [■], [■]で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または[■]で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準(中心点)に戻ります。



ホワイトバランスブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なる色合いの画像を自動的に3枚撮影します。

1 上記手順2でホワイトバランスを微調整し、前ダイヤルを回してブラケット設定を行う

前ダイヤル右回し: 横方向(A～B)

前ダイヤル左回し: 縦方向(G+～M-)



2 [MENU/SET]を押す

- 前ダイヤルでも設定できます。

お知らせ

- ホワイトバランスブラケットを設定すると、液晶モニター/ファインダーに表示されるホワイトバランスアイコンに[BKT]が表示されます。
- 電源を[OFF](パワーセーブモードを含む)にすると、ホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
- ドライブモードの設定に関係なく、ホワイトバランスブラケット撮影できます。
- シャッター音は1回しか鳴りません。
- クオリティを[RAW], [RAW], [RAW]または[RAW]に設定すると、ホワイトバランスブラケットは設定できません。
- 動画記録時は、ホワイトバランスブラケットは働きません。

ISO感度を設定する

撮影モード: P A S M M CUST

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 ▲(ISO)を押す



2 ▲/▼/◀/▶でISO感度を選び、[MENU/SET]を押して決定する

- 前ダイヤルでも設定できます。
- シャッターボタン半押しでも決定できます。



ISO感度	100	3200
撮影場所(おすすめ)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

ISO感度	設定内容
AUTO*	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。
[ISO]* (インテリジェント)	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。
100/200/400/ 800/1600/3200	それぞれのISO感度に固定します。 (撮影メニューの[ISO感度ステップ](P120)を[1/3 EV]に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します)

* 撮影メニューの[ISO感度上限設定](P120)を[OFF]以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定]の設定値までの範囲で自動的に設定します。

[ISO感度上限設定]を[OFF]に設定したときは以下の設定になります。

- ・[AUTO]を選ぶと、明るさに応じて最大[ISO400]までの範囲で自動設定します。
- ・[ISO]を選ぶと、明るさに応じて最大[ISO800](フラッシュ使用時は[ISO400])までの範囲で自動設定します。
- ・動画撮影時の最大ISO感度は[ISO1600]となります。

•動画撮影中は、[ISO]は[AUTO]の動作になります。また、[ISO感度上限設定]は[OFF]に固定されます。

■ (インテリジェントISO感度コントロール)について

被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。

- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。実際のシャッタースピードは再生画像の情報表示でご確認ください。

お知らせ

- ISO感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレをおさえる効果が得られますが、ノイズは増加します。
- フラッシュで撮影できる範囲については、64ページをお読みください。
- []を選んでも、明るさや被写体の動きの速さによっては、被写体ブレをおさえられない場合があります。
- 動いている被写体が小さいときや動いている被写体が画面の端にあるとき、シャッターを全押しした瞬間に被写体が動き出したときは、動きを検出できないことがあります。
- シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、または[ペット]、アドバンスシーンモードの[屋内人物]、[スポーツ(標準)]、[屋外スポーツ]または[屋内スポーツ]では[]に固定されます。
- []選択時は、プログラムシフトは使えません。
- シャッター優先AEまたはマニュアル露出モード時は、[]の選択はできません。また、マニュアル露出モード時は[AUTO]の選択もできません。
- ノイズが気になるときは、ISO感度を低くするか、フィルムモードの[ノイズリダクション]をプラス方向にする、または[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整して撮影することをおすすめします。(P87)
- ISO感度を設定して動画を撮影したい場合は、クリエイティブ動画モードをお使いください。
(P107)



撮影する画像の色調を変更する (フィルムモード)

撮影モード: **IA P A S M M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

[**IA**, **SCN**, , , ,] モード時は[スタンダード], [スタンダード **B&W** (白黒)]のみ

フィルムカメラで使用するフィルムの種類には、発色やコントラストなどの画質に個性があります。フィルムモードでは、フィルムを使い分けるように画像の色調を9種類から選択できます。

撮影状況、撮影イメージに合わせてフィルムモードを使い分けてください。

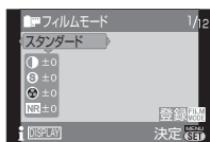
1 [FILM MODE] を押す



FILM MODEボタン

2 ◀/▶で項目を選ぶ

- 前ダイヤルでも設定できます。
- 右図の画面で[DISPLAY]を押すと、各フィルムモードの説明が表示されます。(もう一度押すと元の画面に戻ります)



3 [MENU/SET] を押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

項目	効果	項目	効果
スタンダード (カラー)	標準的な設定です。	スタンダード B&W (白黒)	標準的な設定です。
ダイナミック (カラー)	彩度高め、コントラスト高め、記憶色よりの設定です。	ダイナミック B&W (白黒)	コントラスト高めの設定です。
ネイチャー (カラー)	青、緑、赤などを明るく、自然をより美しく撮る設定です。	スムーズ B&W (白黒)	階調重視で、肌の質感を残す設定です。
スムーズ (カラー)	コントラスト低め、穏やかですっきりとした設定です。	マイ フィルム MY FILM 1	登録したフィルムを呼び出します。
ノスタルジック (カラー)	彩度低め、コントラスト低め、年月の経過をイメージした設定です。	マイ フィルム MY FILM 2	
バイブルント (カラー)	[ダイナミック]よりさらに彩度高め、コントラスト高め、より鮮烈な色設定です。	マルチフィルム	シャッターボタンを押すごとに、設定に従ってフィルムの種類を変えながら撮影します。(最大3枚)

お知らせ

- フィルムモードでは、特有の画質を生成するため、カメラ内部で減感または増感に相当する処理を行うことがあります。その際は、シャッタースピードが通常と異なることがあります。

各フィルムモードの設定をお好みに応じて調整する

- ・クリックメニュー(P33)からも、設定することができます。

1 ◀/▶でフィルムを選ぶ

2 ▲/▼で項目を選び、◀/▶で調整する

- ・前ダイヤルでも調整できます。
- ・登録した内容は電源を[OFF]にしても記憶しています。

3 [FILM MODE]を押して▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

- ・設定を2種類 ([MY FILM 1], [MY FILM 2]) 登録できます。
(登録後は、前回登録したフィルムモード名が表示されます)
- ・お買い上げ時は、[MY FILM 1], [MY FILM 2]に[スタンダード]が登録されています。



項目	効果	
コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。 解像感がわずかに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

お知らせ

- ・暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整して撮影することをおすすめします。
- ・フィルムモードを調整すると、液晶モニター/ファインダーに表示されるフィルムモードアイコンに[+]が表示されます。
- ・白黒のフィルムモードは、[彩度]を調整できません。
- ・インテリジェントオートモード、アドバンスシーンモード、シーンモード時はフィルムモードを調整することはできません。



撮影する画像の色調を変更する（フィルムモード）（つづき）

撮影モード：**IA P A S M M CUST SCN**      

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

マルチフィルムブラケット

シャッターボタンを押すごとに、設定に従ってフィルムの種類を変えながら撮影します。（最大3枚）

- クイックメニュー（P33）からも、設定することができます。

1 ◀/▶で[マルチフィルム]を選ぶ

2 ▲/▼で[マルチフィルム1]、[マルチフィルム2]、[マルチフィルム3]を選び、それぞれに設定するフィルムを◀/▶で選ぶ

- 前ダイヤルでも設定できます。
- [マルチフィルム3]のみ[OFF]が選択できます。



3 [MENU/SET]を押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

4 ピントを合わせて撮影する

- 連写時は、シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。（最大3枚）
- セルフタイマー撮影時は、1回シャッターボタンを押すと設定したフィルムが自動的に最大3枚撮影されます。（[⌚]に設定しても、[⌚₁₀]と同じ動作になります）
- 設定枚数分がすべて撮影されるまで液晶モニター/ファインダーに表示されるマルチフィルム表示（[▣]）が点滅します。

お知らせ

- お買い上げ時は、[マルチフィルム1]、[マルチフィルム2]に[スタンダード]、[マルチフィルム3]に[OFF]が設定されています。
- マルチフィルムブラケットを設定すると、ホワイトバランスブラケットは解除されます。
- 動画記録時は、マルチフィルムブラケットは働きません。

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード: **A**S

A:絞り優先AE

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 モードダイヤルを [**A**] に合わせる

2 前ダイヤルを回して絞り値を設定する

- 前ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。

3 撮影する



S:シャッタースピード優先AE

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを [**S**] に合わせる

2 前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 前ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。

3 撮影する



お知らせ

- 動画撮影時は、通常の動画撮影になります。絞り、シャッタースピードを設定して撮影したい場合は、クリエイティブ動画モードをお使いください。(P107)
- カスタムメニューの[露出設定切替](P125)で、露出補正の切り換えかたを変更できます。
- 液晶モニター/ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞り優先 AE のとき、明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- 絞り優先 AE のときに絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの位置を[A]にする前ダイヤルの設定が有効になり、[A]以外では絞りリングの設定が優先されます。
- 明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。
- シャッターリードAEのフラッシュ発光時は、シャッタースピードが1/160秒より速い設定はできません。(P65)
- シャッターリードAEのとき、シャッタースピードが遅いときは、シャッターボタンを全押しすると、シャッタースピードの表示がカウントダウンします。
- シャッターリードAEのとき、[**ISO**]および[**ISO**]は設定できません。
- ISO感度が[**ISO**]のとき、撮影モードをシャッターリードAEに切り換えると、ISO感度は[AUTO]になります。

手動で露出を合わせて撮る (M:マニュアル露出)

撮影モード: M

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 前ダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

- 前ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。
- フォーカスマードダイヤルを [MF] に合わせると、マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます。(P77)



3 シャッターボタンを半押しする

- 露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。
- 適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードを設定し直してください。



4 撮影する

■ マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

•マニュアル露出アシストは目安です。再生画面で確認しながら撮影することをおすすめします。

■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッター ボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約4分間)

シャッター ボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、画面に[B]が表示されます。
- バルブ撮影時は、十分に充電されたバッテリー(P22)を使用してください。
- バルブ撮影時は、三脚やシャッターリモコン(別売: DMW-RSL1)の使用をおすすめします。シャッターリモコンについては、161ページをお読みください。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをおすすめします。(P120)
- マニュアル露出アシストは表示されません。



お知らせ

- 動画撮影時は、通常の動画撮影になります。絞り、シャッタースピードを設定して撮影したい場合は、クリエイティブ動画モードをお使いください。(P107)
- カスタムメニューの[露出設定切替](P125)で、絞り設定とシャッタースピード設定の切り換えかたを変更できます。
- 液晶モニター/ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- シャッター ボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- フラッシュの[], [], [], []は設定できません。
- ISO感度が[AUTO]または[]のときに、撮影モードをマニュアル露出に切り換えると、ISO感度は[ISO 100]になります。
- シャッタースピードが遅いときは、シャッター ボタンを全押しすると、シャッタースピードの表示がカウントダウンします。
- 絞りリングのあるレンズを使用するときは、絞りリングの設定が優先されます。



絞り効果とシャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**      

絞り効果を確認する

実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度(ピントの合っている範囲)を確認することができます。

[](プレビュー)を押す

- プレビュー画面が表示されます。
もう一度 [] を押すと元の画面に戻ります。



■ 被写界深度の性質

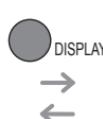
撮影条件	絞り値	小さい	大きい
レンズの焦点距離		望遠	広角
被写体までの距離		近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいときなど	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいときなど

シャッタースピード効果を確認する

実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、シャッタースピードプレビュー画面での画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。

プレビューモード中に [DISPLAY] を押す

- シャッタースピードプレビューモードが表示されます。もう一度 [DISPLAY] を押すと元の画面に戻ります。



お知らせ

- カスタムメニューの[プレビューホルダ] (P123)で [] の操作方法を変更できます。
- プレビュー画面中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果確認の範囲は、8秒～1/1000秒です。

人物や風景を表情豊かに撮る（アドバンスシーンモード）

撮影モード：

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

人物、風景、スポーツ、花、夜景＆人物などの被写体では、撮影状況に合わせてより効果的な撮影ができます。

1 モードダイヤルを合わせる

2 ◀/▶でアドバンスシーンモードを選ぶ

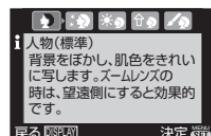
- 前ダイヤルでも設定できます。

(例)  選択時



3 [MENU/SET]を押して決定する

- 選択したアドバンスシーンモードの撮影画面になります。



■ インフォメーションについて

- 手順2でアドバンスシーンモードを選んだときに[DISPLAY]を押すと、選択されているアドバンスシーンモードの説明が表示されます。
(もう一度押すと手順2の画面に戻ります)

お知らせ

- アドバンスシーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET]を押し▲/▼/◀/▶でアドバンスシーンモードメニュー[]を選んだ状態で▶を押して上記手順2に戻ります。
- アドバンスシーンモードを変更して使用すると、アドバンスシーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
- アドバンスシーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わることがあります。
- アドバンスシーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、以下の設定はできません。
 - ISO感度/フィルムモードの[スタンダード]/[スタンダード  (白黒)]以外の項目/[測光モード]/[フラッシュシンクロ]/[暗部補正]/[デジタルズーム]/[ISO感度上限設定]

■ クリエイティブ設定時の絞り・シャッタースピードについて

- アドバンスシーンモードのクリエイティブを選択すると、絞り値・シャッタースピードを変更できます。前ダイヤルを回して適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値および選択カーソルが赤くなります。
- ◀/▶でも設定できます。
- 前ダイヤルを押すと、絞り設定操作またはシャッタースピード設定操作と、露出補正操作が切り換わります。



人物や風景を表情豊かに撮る (アドバンスシーンモード) (つづき)

撮影モード:     

人物モード

人物を引き立て、肌色を健康的に出します。

	人物(標準)	背景をぼかし、肌色を健康的に撮影できます。
	美肌	肌の表面を特になめらかに表現します。 ●背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。 ●明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
	屋外人物	明るい屋外で顔が暗くなるのを防ぎます。
	屋内人物	屋内での被写体ブレを防ぐため、最適なISO感度設定を行います。
	クリエイティブ人物	絞り値(P89)を変更することで、背景のぼけ具合を変えることができます。

撮影のテクニック

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
-  **お知らせ**
 - 動画撮影時は、[人物(標準)]、[美肌]、[屋外人物]、[屋内人物]は各モードの設定が反映された動画に、[クリエイティブ人物]は人物撮影に適した動画になります。
 - [屋内人物]ではインテリジェントISOが働き、最高ISO感度が[ISO400]になります。
 - オートフォーカスマードの初期設定は[]になります。

風景モード

広がりのある風景を撮影できます。

	風景(標準)	遠くにある被写体に優先的にピントを合わせます。
	自然	自然の風景を撮るのに適しています。
	建物	建物がシャープに写る設定です。ガイドラインを表示します。(P59)
	クリエイティブ風景	[風景(標準)]の設定で、シャッタースピード(P89)の変更ができます。

お知らせ

- 動画撮影時は、[風景(標準)]、[自然]、[建物]は各モードの設定が反映された動画に、[クリエイティブ風景]は風景撮影に適した動画になります。
- フラッシュは[]になります。

■スポーツモード

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときなどに合わせてください。

	スポーツ(標準)	速めのシャッタースピードで動きを止めながら、ISO感度もコントロールします。
	屋外スポーツ	天気の良い屋外撮影で動きを止めるために、速いシャッタースピードになります。
	屋内スポーツ	屋内撮影でのブレを防ぐため、ISO感度を高くしてシャッタースピードを速くします。
	クリエイティブ スポーツ	[スポーツ(標準)]の設定で、シャッタースピード(P89)の変更ができます。

お知らせ

- 動画撮影時は、[スポーツ(標準)]、[屋外スポーツ]、[屋内スポーツ]は各モードの設定が反映された動画に、[クリエイティブスポーツ]はスポーツ撮影に適した動画になります。

■クローズアップモード

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。

(近接して撮影できる距離は、使用するレンズにより異なります)

	花	マクロの設定で屋外の花を自然な色で撮影できます。ガイドラインを表示します。(P59)
	料理	レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。
	コレクション	アクセサリーやコレクションなどの小物を、くっきり明るく、色鮮やかに撮影できます。
	クリエイティブ クローズアップ	マクロの設定で、絞り値(P89)を変更することで、背景のぼけ具合を変えることができます。

お知らせ

- 動画撮影時は、[花]、[料理]、[コレクション]は各モードの設定が反映された動画に、[クリエイティブクローズアップ]は近接撮影に適した動画になります。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[④]にすることをおすすめします。
- ピントが合う範囲については、78ページの「撮影距離基準について」をお読みください。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- クローズアップモード撮影時は近距離側を優先するため、遠くの被写体を撮影する場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合がありますのでお気をつけください。



人物や風景を表情豊かに撮る (アドバンスシーンモード) (つづき)

撮影モード:

夜景&人物モード

人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。

	夜景 & 人物	夜景を背景に人物を撮る際に使います。 ●フラッシュを開いてください。([]に設定できます) ●オートフォーカスマードの初期設定は[]になります。
	夜景	スローシャッターにより、夜景が鮮やかに写ります。 ●フラッシュは[]になります。
	イルミネーション	イルミネーションをきれいに写します。 ●フラッシュは[]になります。
	クリエイティブ夜景	[夜景]の設定で、絞り値(P89)を変更することができます。 ●フラッシュは[]になります。

撮影のテクニック

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- [夜景&人物]選択時は、被写体の人に撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。

お知らせ

- 動画撮影時は、薄暗い室内や夕暮れ時でもきれいに撮影できるローライト設定の動画になります。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります、信号処理のために、異常ではありません。

撮影シーンに合わせて撮る (SCN: シーンモード)

撮影モード: SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

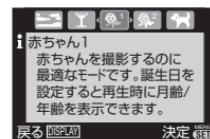
1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

2 ◀/▶でシーンモードを選ぶ

- 前ダイヤルでも設定できます。

3 [MENU/SET] を押して決定する

- 選択したシーンモードの撮影画面になります。



■ インフォメーションについて

- 手順2でシーンモードを選んだときに[DISPLAY]を押すと、選択されているシーンモードの説明が表示されます。(もう一度押すとシーンモードのメニュー画面に戻ります)

お知らせ

- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET]を押し▲/▼/◀/▶でシーンモードメニュー[SCN]を選んだ状態で▶を押して、上記手順2に戻ります。
- シーンモードを変更して使用すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わることがあります。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
 - ISO感度/フィルムモードの[スタンダード]/[スタンダード B&W(白黒)]以外の項目/[測光モード]/[フラッシュシンクロ]/[暗部補正]/[デジタルズーム]/[ISO感度上限設定]

応用
撮影・

項目	設定・お知らせ
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	<ul style="list-style-type: none">動画撮影時は、[夕焼け]の設定が反映された動画になります。フラッシュは[④]になります。
パーティ 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	<p>撮影のテクニック</p> <ul style="list-style-type: none">フラッシュを開いてください。([闪光]または[闪光]に設定できます)三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。動画撮影時は、[パーティ]の設定が反映された動画になります。オートフォーカスマードの初期設定は[人]になります。

撮影シーンに合わせて撮る (SCN: シーンモード) (つづき)

撮影モード: SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定・お知らせ
<p> 赤ちゃん1/ 赤ちゃん2</p> <p>赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。 [赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P133)で撮影画像に焼き込むことができます。</p>	<p>誕生日/名前を設定する</p> <p>1 ▲/▼で[月齢/年齢]または [名前]を選び、▶を押す</p> <p>2 ▲/▼で[設定]を選び、 [MENU/SET]を押す</p> <p>3 誕生日/名前を入力する</p> <p>誕生日: ◀/▶:項目(年・月・日)選択、 ▲/▼:設定、 [MENU/SET]:終了</p> <p>名前: 文字入力の方法については131ページの[タイトル編集]をお読みください。</p> <ul style="list-style-type: none">誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。 <p>4 [MENU/SET]を押して終了する</p> <ul style="list-style-type: none">前ダイヤルでも設定できます。 <p>月齢/年齢や名前の表示を解除するには</p> <p>「誕生日/名前を設定する」の手順2で[OFF]に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none">動画撮影時は、[人物]の設定が反映された動画になります。CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。 <p>撮影前に[月齢/年齢]または[名前]を[ON]にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">インテリジェントISOが働き、最高ISO感度は[ISO400]になります。起動した場合に約5秒間、月齢/年齢と名前が現在日時とともに画面の左下に表示されます。月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。[設定リセット]で誕生日設定と名前設定のリセットができます。オートフォーカスモードの初期設定は[オート]になります。
<p> ペット</p> <p>犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P133)で撮影画像に焼き込むことができます。</p>	<p>[月齢/年齢]、[名前]については、上記の[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。</p> <ul style="list-style-type: none">動画撮影時は、通常の動画撮影になります。[AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。インテリジェントISOが働き、最高ISO感度は[ISO800]になります。オートフォーカスモードの初期設定は[オート]になります。その他のお知らせについては、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。

色を調整しながら撮る (⌚: マイカラーモード)

撮影モード: ⌚

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体を液晶モニターまたはファインダーに映して(ライブビュー)手軽に確認しながら、光の色、明るさ、色の鮮やかさを調整して撮影することができます。

1 モードダイヤルを[⌚]に合わせる

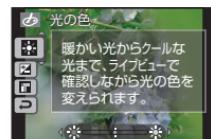
2 ▲/▼で項目を選び、◀/▶で調整する

- 前ダイヤルでも設定できます。

項目	調整内容
⌚ 光の色	画像の色合いを赤っぽい光から青っぽい光まで調整します。(±5の11段階)
▣ 明るさ	画像の明るさを調整します。(±5の11段階)
▢ 鮮やかさ	色の濃さを白黒から鮮やかな画像まで調整します。(±5の11段階)
▷ リセット	すべての設定を標準に戻します。



- [DISPLAY]を押すと、調整項目の説明が表示されます。
(もう一度押すと選択画面に戻ります)



3 [MENU/SET]を押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。
- 撮影画面が表示されます。



■マイカラー設定を標準に戻す

- 上記手順2で[リセット]を選ぶ
- ◀で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
各項目の調整値が標準(中心点)に戻ります。

■マイカラー設定を調整し直す

前ダイヤルまたは▲/▼/◀/▶のいずれかを押し、上記手順2に戻る

- ISO感度設定(P84)、Fnボタン設定(P34)、オートフォーカスモード設定(P74)は▲/▼/◀で操作できなくなります。クイックメニュー(P33)を使って設定してください。

お知らせ

- 動画撮影時は、マイカラーモードの設定が反映された動画になります。
- マイカラーモードで行った調整は、他の撮影モードには反映されません。
- 設定したマイカラー設定は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- マイカラー設定を調整すると、液晶モニター/ファインダーに調整した項目のアイコンが表示されます。表示されるアイコンは、調整した方向のものが表示されます。
- マイカラーモード時は、オートブラケット撮影はできません。
- [鮮やかさ]で色を薄くなるように調整した場合は、追尾AFが働かないことがあります。

お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録）

撮影モード：**IA P A S M M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして3つまで登録しておくことができます。

- あらかじめ、保存したい状態のモードダイヤルに合わせ、本機でメニュー設定をしておいてください。

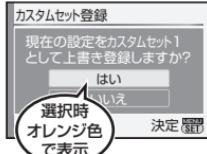
1 カスタムメニューから[カスタムセット登録]を選ぶ(P31)

2 ▲/▼で登録したいカスタムセットを選び、
[MENU/SET]を押す



3 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- [はい]を選びと、前に保存していた設定が上書きされます。
- 以下のメニュー項目は他の撮影モードに反映されるため、保存されません。
 - ・ [時計設定]
 - ・ [トラベル日付]
 - ・ [番号リセット]
 - ・ [設定リセット]
 - ・ [シーンメニュー]
 - ・ シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日および名前設定
 - ・ [個人認証]で登録されたデータ



4 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

カスタムモードで撮る (CUST: カスタムモード)

撮影モード: CUST

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影状況などに合わせて、「カスタムセット登録」で保存した登録パターン(カスタムセット)を選択することができます。

お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

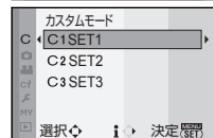
1 モードダイヤルを [CUST] に合わせる

2 [MENU/SET] を押して、メニューを表示する

3 ▲/▼で使いたいカスタムセットを選ぶ

- または前ダイヤルを押すと、メニューの設定内容が表示されます。(◀を押すと選択画面に戻ります)
- 一部のメニュー項目のみ表示されます。(表示されるメニュー項目については下記を参照してください)

AFL AEL	AF/AEロック切替	P- AF	プリ AF
AE HOLD	AF/AEロック維持	Fn	Fnボタン設定
AF MF	AF+MF	■	オートレビュー・オートズーム
FOCUS	フォーカス優先	NR	長秒ノイズ除去
AF*	AF補助光	□	レンズ無しレリーズ



4 [MENU/SET] を押して決定する

- 選択されているカスタムセット表示が画面に表示されます。



■ メニュー設定を変更する場合は

カスタムセットのいずれかを選択した状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。

登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録](P100)で登録内容を上書きしてください。

お知らせ

- 以下のメニュー項目を変更した場合、他の撮影モードにも反映されます。

- [時計設定]
- [トラベル日付]
- [番号リセット]
- [設定リセット]
- [シーンメニュー]
- シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日および名前設定
- [個人認証]で登録されたデータ

動画を撮る

撮影モード: **IA P A S M M CUST SCN**

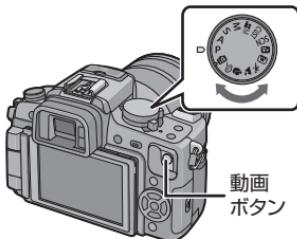
AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、Motion JPEGで記録される動画を撮影できます。音声はドルビーデジタルステレオクリエーターに対応し、ステレオで記録されます。

DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14-140 mm/F4.0-5.8装着時は、動画撮影中でもオートフォーカスや絞りが自動で働きます。

その他のレンズについては、17ページをお読みください。

- フラッシュを閉じる。

1 モードを選ぶ



■ 動画撮影できるモードについて

項目	設定・お知らせ
IA インテリジェント オートモード	被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、 カメラまかせで気軽に動画を撮影できます。(P47)
P、A、S、M モード	絞りやシャッタースピードを自動で設定して動画を撮影できます。
M クリエイティブ 動画モード	絞りやシャッタースピードを手動で設定して動画を撮影できます。
CUST カスタムモード	選択したカスタムモードの設定で動画を撮影できます。
SCN シーンモード	それぞれのシーンに合った動画を撮影できます。(P97~98)
人物 モード	人物撮影に適した動画を撮影できます。
風景 モード	風景撮影に適した動画を撮影できます。
スポーツ モード	スポーツ撮影に適した動画を撮影できます。
クローズアップ モード	近接撮影に適した動画を撮影できます。
夜景&人物 モード	薄暗い室内や夕暮れ時でもきれいに撮影できるローライト設定の動画を撮影できます。
マイカラー モード	マイカラーモードの設定で動画を撮影できます。

2

フォーカスマードダイヤルを [AFS] または [AFC] に合わせる

- 動画撮影時は、[AFS]、[AFC]のどちらに合わせても連続的にピントを合わせ続けます。

③ 動画ボタンを押して撮影を開始する

- ・動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。押し続けると、記録開始時の数秒間、音声が録音されません。
- ・本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。(音声なしで動画を記録することはできません)
- ・動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- ・撮影中、ピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- ・フォーカスモードダイヤルを[MF]に合わせると、マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます。(P77)
- ・ステレオマイクロホン(別売:DMW-MS1)装着時は、電池の状態および電源が入っていることをご確認ください。(P162)

記録経過時間 記録動作表示



記録可能時間

④ 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

- ・記録途中でカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

お知らせ

- ・フラッシュは[④]になります。
- ・フラッシュを開いた状態でも記録される音質に大きな違いはありませんが、フラッシュを閉じて動画撮影することをおすすめします。
- ・記録可能時間は、カスタムメニューの[残枚数/残時間切替](P125)を[残時間]に設定すると表示されます。
- ・記録可能時間については187ページをお読みください。
- ・液晶モニター／ファインダーに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- ・カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- ・動画撮影中にズームやボタン操作などを行うと、その動作音が記録される場合があります。
- ・動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- ・動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- ・動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、ピントが合う範囲が大きく変わります。
- ・画像横縦比の設定が静止画と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。[記録枠表示](P125)を[②]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- ・動画撮影中は、[Iso]は[AUTO]の動作になり、最高ISO感度は[ISO1600]になります。
- ・動画撮影時は、[手ブレ補正]は[MODE1]に固定されます。
- ・動画撮影時は、以下の機能は使えません。
 - ・オートフォーカスマードの[⑤], [⑥]
 - ・縦位置検出機能
 - ・[個人認証]
 - ・[EX光学ズーム]
 - ・[ISO感度上限設定]
 - ・[ダイレクト1点AF移動]



動画を撮る (つづき)

撮影モード: **IA P A S M** **M CUST SCN** **◀ ▶ □ △ ▲ ▼**

- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプターの使用をおすすめします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。
- [動画]設定時は、動きの速い被写体を撮影すると、再生時に特に残像や歪みが目立つ場合があります。
- ステレオマイクロфон(別売:DMW-MS1)装着時は、ステレオマイクロфонが優先されます。ステレオマイクロфонについては、162ページをお読みください。

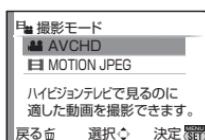
▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影モードと画質設定を変更する

- 1** 動画撮影メニューから[撮影モード]を選び、
▶を押す(P31)



- 2** ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す



記録形式	効果
[AVCHD]	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。高精細な動画を長時間記録できます。
[MOTION JPEG]	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。小さな画像サイズでも記録できるので、メモリーカードの容量が残り少ないときや、あとでパソコンからメールに添付するときなどに便利です。

- 3** ▲/▼で[画質設定]を選び、▶を押す



4 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す 手順2で[AVCHD]を選んだ場合

	項目	画質(ビットレート) ^{*1}		コマ数	画像横縦比	
高画質 	([FHD])	1920×1080画素 17 Mbps ^{*2}	フルハイビジョン	60i (センサー出力 24コマ/秒)	16:9	
	([SH])	1280×720画素 17 Mbps ^{*2}	ハイビジョン	60p (センサー出力 60コマ/秒)		
	([H])	1280×720画素 13 Mbps ^{*2}				
	([L])	1280×720画素 9 Mbps ^{*2}				

※1 「ビットレート」とは

一定時間あたりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間あたりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

※2 「Mbps」とは

「Megabit Per Second」の略で、転送される速度を表します。

手順2で[MOTION JPEG]を選んだ場合

	項目	記録画素数	コマ数	画像横縦比
高画質 	([HD])	1280×720画素	30コマ/秒	16:9
	([VGA])	848×480画素		
	([VGA])	640×480画素		
	([QVGA])	320×240画素		4:3

※インテリジェントオートモード設定時、[MOTION JPEG]の[]は設定できません。

●[AVCHD]または[MOTION JPEG]の[]では、HDMIミニケーブル(別売)を使用すると高画質な動画をテレビでお楽しみいただけます。詳しくは144ページの「HDMI端子付きテレビで見る」をお読みください。

5 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。



動画を撮る (つづき)

撮影モード: **IA P A S M M CUST SCN**

お知らせ

- 動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。
※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。
- [画質設定]を[][]または[]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。
- [MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。[AVCHD]はカードの容量いっぱいまで記録できます。
※ 電池寿命によって、カードの容量が残っていても撮影が終了する場合があります。(P24)
- 記録・消去を何度も繰り返していると、カードの記録可能時間が短くなる場合があります。そのときは、本機でカードをフォーマット(P38)してください。フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンなどに保存しておいてください。
- [AVCHD]および[MOTION JPEG]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は、本機で再生してください。AVCHD対応機器について、詳しくは下記サポートサイトをご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- [AVCHD]で撮影された動画はAVCHDに対応していない機器(従来のDVDレコーダーなど)では再生できませんので、お使いの機器の説明書で対応を確認してください。
- [AVCHD]で撮影された動画はDCF/Exifに準拠していないため、再生時に一部の情報が表示されません。
- 本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため[MOTION JPEG]で撮影した動画を、当社製デジタルカメラ(LUMIX)※で再生することができない場合があります。(当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した動画を、本機で再生することは可能です)
※ 2008年12月以前発売分、および2009年発売分の一部(FS, LSシリーズ)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

風音低減

風雑音を効果的に低減することができます。風雑音が気になるときにお使いください。

1 動画撮影メニューから [風音低減] を選び、▶を押す(P31)

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET] を押す

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する
●シャッターボタン半押しでも終了できます。



お知らせ

- 風音低減を設定しているときは、通常と音質が異なります。
- 音声付き静止画やアフレコ時は、風音低減は働きません。

マニュアル操作で動画を撮る (■M:クリエイティブ動画モード)

撮影モード: ■M

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影することができます。

[動画露出設定]を切り換えることで、撮影時に前ダイヤルで設定できる項目を変更するなど、モードダイヤルを[P]、[A]、[S]、[M]に切り換えたときのような設定を使用することができます。

1 モードダイヤルを[■M]に合わせる

2 フォーカスマードダイヤルを[AFS]または[AFC]に合わせる

3 動画撮影メニューから[動画露出設定]を
選び、▶を押す(P31)



4 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定可能項目	
P(プログラムAEモード)	—	露出補正
A(絞り優先AEモード)	絞り値	露出補正
S(シャッター優先AEモード)	シャッタースピード	露出補正
M(マニュアル露出モード)	シャッタースピード	絞り値

5 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

6 前ダイヤルを回して、設定を変更する

- 前ダイヤルを押すごとに、設定可能項目が切り換わります。



7 動画ボタンを押して撮影を開始する

8 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 記録途中でカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。
- シャッターボタンを押して、動画撮影を開始、終了することもできます。

マニュアル操作で動画を撮る (■:クリエイティブ動画モード) (つづき)

撮影モード: ■M

■動画露出設定別の絞り値・シャッタースピード設定 (DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ 14-140 mm/F4.0-5.8装着時)

動画露出設定	絞り値	シャッタースピード
P	—	—
A	F4.0(W端)/F5.8(T端)~F22	—
S	—	1/30~1/4000秒
M	F4.0(W端)/F5.8(T端)~F22	—

お知らせ

•絞り値について

- 背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

•シャッタースピードについて

- 動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。
- 手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影したり、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、他の撮影モードで撮影するか、手動でシャッタースピードを1/60または1/100に調整してください。

- オートフォーカスモードが[■]のときに、撮影モードをクリエイティブ動画モードに切り換えると、オートフォーカスモードは[■]になります。

- [記録枠表示](P125)は[■]に固定されます。

- [残枚数/残時間切替](P125)は[残時間]に固定されます。

- 動画撮影中でも、設定の変更や設定可能項目の切り換えをすることができます。この場合、動作音が記録されることがあるのでお気をつけください。

- その他の動画撮影時の設定や操作方法については、102ページの「動画を撮る」をお読みください。

- 本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため[MOTION JPEG]で撮影した動画を、当社製デジタルカメラ(LUMIX)[※]で再生することができない場合があります。(当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した動画を、本機で再生することは可能です)

※ 2008年12月以前発売分、および2009年発売分の一部(FS, LSシリーズ)

個人認証機能を使って撮る

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

個人認証機能について

オートフォーカスモードを[]に設定しているときに、撮影メニューの[個人認証]を[ON]にして撮影すると、以下の個人認証機能が働きます。

- 登録した顔に近い顔を見つけて、優先的にピントや露出を合わせます。
- 顔登録で名前を設定すると、カメラが登録した顔を認識したときに、名前を表示します。
- [自動登録]を[ON]に設定すると、顔認識時にカメラが人の顔を記憶し、撮影回数の多い顔を自動的に検出して、顔登録画面を表示します。
- 再生時に名前を表示することができます。



顔登録について

最大6枚まで、顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。同じ人物の複数の顔画像を登録すると認証しやすくなります。

■ 撮影メニューから登録する

1 ◀(田)を押し、◀/▶でオートフォーカスモードを[]に設定する

応用
撮影

2 撮影メニューから[個人認証]を選び、▶を押す(P31)



3 ▲/▼で[登録]を選び、[MENU/SET]を押す

- すでに6人登録しているときは、登録した人物の一覧が表示されます。入れ換える人物を選択してください。入れ換えた人物の情報は消去されます。

4 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- 正面を向いた顔を撮影してください。



個人認証機能を使って撮る (つづき)

撮影モード: **IA P A S M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

- 5** ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 6** ▲/▼で項目を選び、▶を押す

[名前]: 名前を登録できます。
文字入力の方法については131ページの
[タイトル編集]をお読みください。

[登録順]: 登録順にピントや露出を合わせます。
登録順は以下の手順で変更することができます。

▲/▼/◀/▶で登録順を選び[MENU/SET]を押す

[月齢/年齢]: ◀/▶で項目を選び、▲/▼で設定し、[MENU/SET]を押す

・編集画面で◀を押してⒶを選び、[MENU/SET]を押すと顔画像を撮り直すことができます。▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押して、手順**4**に戻ってください。

編集画面



Ⓐ

- 7** [MENU/SET]を押してメニューを終了する

■ 登録した人物の情報を変更する

- 1** 「撮影メニューから登録する」の手順**3**で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

- 2** ▲/▼で[編集]を選び、[MENU/SET]を押す

- 3** ▲/▼/◀/▶で編集したい人物を選んで[MENU/SET]を押し、「撮影メニューから登録する」の手順**6**以降の操作を行なう



■ 自動登録画面から登録する

「登録した人物の情報を変更する」の手順**2**で[自動登録]を[ON]に設定すると、撮影回数の多い顔に対して、撮影後に自動的に登録画面が表示されます。

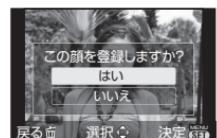
(登録画面が表示される目安は5回です。連写、オートブラケット、ホワイトバランスブラケット、マルチフィルムブラケット、[音声記録]設定時は撮影回数に含まれません。)

- 1** ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

・[いいえ]を選ぶと再度選択画面が表示され、▲で[はい]を選ぶと[自動登録]が[OFF]に設定されます。

- 2** 「撮影メニューから登録する」の手順**6**以降の操作を行なう

・すでに6人登録しているときは、自動登録画面は表示されません。



■顔登録の情報を解除する

- 1 「登録した人物の情報を変更する」の手順②で[解除]を選び、[MENU/SET]を押す
- 2 ▲/▼/◀/▶で解除したい人物の画像を選び、[MENU/SET]を押す
- 3 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す



お知らせ

- [個人認証]は、オートフォーカスモードを[]に設定しているときのみ有効です。
- 以下の場合など、登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
 - ・顔が正面に向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラス、光で反射しているメガネ、髪、帽子などで隠れている/小さく写っている
 - ・顔全体が画面に収まっていない
 - ・年齢と共に顔の特徴が変化したとき
 - ・表情が大きく違っている
 - ・手ブレしている
 - ・動きが速い
 - ・デジタルズーム使用時
- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- シャッターを半押ししたあとで、違う被写体にカメラを向けて撮影をした場合、異なる人物の撮影情報が付加される場合があります。
- 登録している人を認証しなくなった場合は、再度登録し直してください。
- クローズアップモードの[料理]、夜景&人物モードの[夜景]、[イルミネーション]および動画撮影では、[個人認証]は使用できません。
- フォーカスモードを[MF]に設定している場合は、自動登録は働きません。
- [設定リセット]で撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録されたデータはリセットされます。
- シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定や[トラベル日付]の旅行先設定、[タイトル編集]で文字が登録された画像には[個人認証]で登録した名前は表示されません。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使うと1枚の画像に登録された最大3人までの情報が確認できます。



旅行先で便利な機能 (トラベル日付/ワールドタイム)

撮影モード: **IA P A S M M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

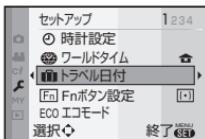
旅行の経過日数を記録する(トラベル日付)

旅行の出発日や旅行先を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数(何日目か)などが記録されます。記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P133)で撮影画像に焼き込むことができます。

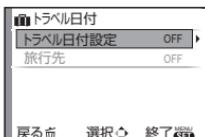
• CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。

• あらかじめ[時計設定](P29)で、現在の時刻を合わせておいてください。

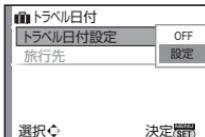
- 1** セットアップメニューから[トラベル日付]を選び、▶を押す(P31)



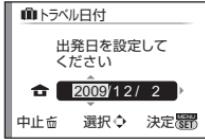
- 2** ▲で[トラベル日付設定]を選び、▶を押す



- 3** ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

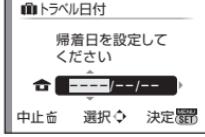


- 4** ▲/▼/◀/▶で出発日(年・月・日)を設定し、[MENU/SET]を押す



- 5** ▲/▼/◀/▶で帰着日(年・月・日)を設定し、[MENU/SET]を押す

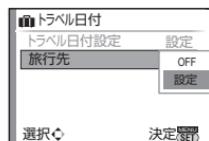
• 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で[MENU/SET]を押してください。



- 6** ▼で[旅行先]を選び、▶を押す



7 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す



8 旅行先を入力する

- 文字入力の方法については、131ページの[タイトル編集]をお読みください。

9 [MENU/SET]を2回押して終了する

10 撮影する

- 経過日数は、トラベル日付の設定後や設定した状態で本機の電源を入れたときなどに、約5秒間表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に[■]が表示されます。

■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順3、7の画面で[OFF]を選び、[MENU/SET]を2回押してください。また、手順3で[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。



お知らせ

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイム(P114)を旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- トラベル日付を[OFF]に設定すると、出発日、帰着日を設定していても、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を[設定]にしても表示されません。
- 出発日より前は、オレンジ色で-(マイナス)付きで表示され、日付情報は記録されません。
- トラベル日付が白色で-(マイナス)付きで表示される場合は、[ホーム]と[旅行先]との間に日付をまたぐ時差があります。
- [旅行先]で設定したテキストは、撮影後でも[タイトル編集]で変更できます。
- [旅行先]設定時は、シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]/[ペット]の名前は記録されません。
- 動画撮影の際、[トラベル日付]は記録できません。
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

旅行先で便利な機能 (トラベル日付/ワールドタイム) (つづき)

撮影モード: **IA P A S M M CUST SCN**

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

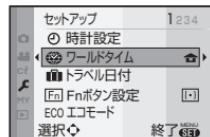
海外旅行先の日時を記録する(ワールドタイム)

旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

- あらかじめ [時計設定](P29)で、現在の時刻を合わせておいてください。

1 セットアップメニューから[ワールドタイム]を選び、▶を押す(P31)

- お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。[MENU/SET]を押し、手順3の画面から設定してください。



2 ▼で[ホーム](お住まいの地域)を選び、[MENU/SET]を押す



3 ◀/▶でお住まいの地域を選んで、[MENU/SET]を押す

- ホームがサマータイム[] (夏時間)を採用している場合は、▲を押してください。もう一度押すと元に戻ります。
- ホームでサマータイムを設定しても、現在の日時は進みません。時計設定を1時間進めてください。

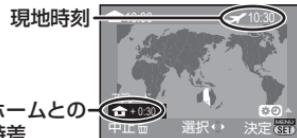


4 ▲で[旅行先]を選び、[MENU/SET]で決定する



5 ◀/▶で旅行先のあるエリアを選び、[MENU/SET]で決定する

- 旅行先がサマータイム[] (夏時間)を採用している場合は、▲を押してください。(時計が1時間進みます)もう一度▲を押すと元に戻ります。



6 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

お知らせ

- 旅行から戻ったら、手順1.2.3の操作を行って、設定をホームに戻してください。
- すでにホームを設定している場合は、旅行先のみ変更してお使いください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
- [AVCHD]で撮影された動画を除き、旅行で撮影された画像には、再生時、画面に[]が表示されます。

撮影メニューを使う

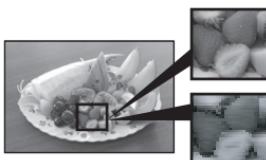
- ・[測光モード]、[暗部補正]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

撮影メニューの設定方法はP31へ

項目	設定・お知らせ																																
 画像横縦比 プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。	使えるモード:  [4:3]: 4:3テレビの横縦比 [13:2]: 一般的なフィルムカメラの横縦比 [16:9]: ハイビジョンテレビなどの横縦比 [1:1]: 正方形横縦比 [4:3] 設定時 [13:2] 設定時 [16:9] 設定時 [1:1] 設定時     ● プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P175)																																
 記録画素数 記録画素数を設定します。画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。	使えるモード:  画像横縦比: [4:3]のとき <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr></thead><tbody><tr><td>[L]</td><td>4000×3000画素(1200万画素相当)</td></tr><tr><td>[M]</td><td>2816×2112画素(590万画素相当)</td></tr><tr><td>[S]</td><td>2048×1536画素(310万画素相当)</td></tr></tbody></table> 画像横縦比: [13:2]のとき <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr></thead><tbody><tr><td>[L]</td><td>4128×2752画素(1140万画素相当)</td></tr><tr><td>[M]</td><td>2928×1952画素(570万画素相当)</td></tr><tr><td>[S]</td><td>2064×1376画素(280万画素相当)</td></tr></tbody></table> 画像横縦比: [16:9]のとき <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr></thead><tbody><tr><td>[L]</td><td>4352×2448画素(1070万画素相当)</td></tr><tr><td>[M]</td><td>3072×1728画素(530万画素相当)</td></tr><tr><td>[S]</td><td>1920×1080画素(210万画素相当)</td></tr></tbody></table> 画像横縦比: [1:1]のとき <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr></thead><tbody><tr><td>[L]</td><td>2992×2992画素(900万画素相当)</td></tr><tr><td>[M]</td><td>2112×2112画素(450万画素相当)</td></tr><tr><td>[S]</td><td>1504×1504画素(230万画素相当)</td></tr></tbody></table> ● [EX光学ズーム](P118)を[ON]に設定している場合は、各画像横縦比の[L]以外の記録画素数に[EZ]が表示されます。 EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。	項目	記録画素数	[L]	4000×3000画素(1200万画素相当)	[M]	2816×2112画素(590万画素相当)	[S]	2048×1536画素(310万画素相当)	項目	記録画素数	[L]	4128×2752画素(1140万画素相当)	[M]	2928×1952画素(570万画素相当)	[S]	2064×1376画素(280万画素相当)	項目	記録画素数	[L]	4352×2448画素(1070万画素相当)	[M]	3072×1728画素(530万画素相当)	[S]	1920×1080画素(210万画素相当)	項目	記録画素数	[L]	2992×2992画素(900万画素相当)	[M]	2112×2112画素(450万画素相当)	[S]	1504×1504画素(230万画素相当)
項目	記録画素数																																
[L]	4000×3000画素(1200万画素相当)																																
[M]	2816×2112画素(590万画素相当)																																
[S]	2048×1536画素(310万画素相当)																																
項目	記録画素数																																
[L]	4128×2752画素(1140万画素相当)																																
[M]	2928×1952画素(570万画素相当)																																
[S]	2064×1376画素(280万画素相当)																																
項目	記録画素数																																
[L]	4352×2448画素(1070万画素相当)																																
[M]	3072×1728画素(530万画素相当)																																
[S]	1920×1080画素(210万画素相当)																																
項目	記録画素数																																
[L]	2992×2992画素(900万画素相当)																																
[M]	2112×2112画素(450万画素相当)																																
[S]	1504×1504画素(230万画素相当)																																



撮影メニューを使う (つづき)

項目	設定・お知らせ
■記録画素数 (つづき)	<ul style="list-style-type: none">デジタル画像は画素という点が集まって作られています。画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。  <p>※画像は効果を説明するためのイメージです。</p> <ul style="list-style-type: none">画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。記録可能枚数については、184ページをお読みください。
■ クオリティ	<p>使えるモード: [A] [P] [A] [S] [M] CUST SCN </p> <p>[■](ファイン): 画質を優先するとき [●](スタンダード): 標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき [RAW■](RAW+ ファイン): ファイン相当のJPEG画像を同時に作りたいとき^{※1} [RAW●](RAW+ スタンダード): スタンダード相当のJPEG画像を同時に作りたいとき^{※1} RAW: パソコンで画像を高画質で加工したいとき^{※2}</p> <p>※ 1 本機でRAW画像を消去すると、JPEG画像も同時に消去されます。 ※ 2 各画像横縦比の最大記録画素数([L])に固定されます。</p> <ul style="list-style-type: none">記録可能枚数については、184ページをお読みください。RAWファイルを利用すると、より高度な画像の編集が可能です。編集した画像はパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。 RAWファイルの現像や編集には、CD-ROM(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。[RAW]は[RAW■]または[RAW●]よりも小さいデータ容量で記録できます。[RAW]で撮影された画像には、[プリント設定]および[お気に入り]は設定できません。
■個人認証	<p>使えるモード: [A] [P] [A] [S] [M] CUST SCN </p> <p>[OFF]、[ON]、[登録]、[設定]</p> <ul style="list-style-type: none">詳しくは、109ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法はP31へ

項目	設定・お知らせ
<p>[■]測光モード</p> <p>明るさを測る測光方式を切り換えることができます。</p>	<p>使えるモード: P A S M CUST </p> <p>[■] (マルチ測光): 画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをおすすめします。</p> <p>[□] (中央重点測光): 画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。</p> <p>[●] (スポット測光): スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。</p>  <p>スポット測光ターゲット</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [■]選択時、オートフォーカスモードを[●]に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整し、[Fn]に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。
<p>(手)手ブレ補正</p> <p>撮影時の手ブレを感じて、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。</p> <p>レンズのOISスイッチが[ON]になっていることを確認してください。</p>	<p>使えるモード: IN P A S M CUST SCN </p> <p>[MODE1]: 撮影モード時、常に手ブレを補正します。</p> <p>[MODE2]: シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。</p> <p>[MODE3]: 上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき デジタルズーム使用時 動きのある被写体を追いながら撮影するとき 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。 ●以下の場合、[MODE3]での流し撮りの効果が出にくくなります。 <ul style="list-style-type: none"> 夏の日中など、明るいところ シャッタースピードが1/100より速い場合 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合(背景が流れません) 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合 ● [MODE3]での流し撮りは、ファインダー撮影をおすすめします。 ●手ブレ補正機能のないレンズを使用した場合、[手ブレ補正]は選択できません。 ●動画撮影時は、[MODE1]に固定されます。



撮影メニューを使う (つづき)

項目	設定・お知らせ
■フラッシュ	<p>使えるモード: P A S M CUST SCN </p> <p>[]、[]、[]、[]、[]、[]</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、61ページをお読みください。
○デジタル赤目補正	<p>使えるモード: P A S M CUST SCN </p> <p>[OFF]、[ON]</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤目の状態によっては補正できない場合があります。また、目以外の物が補正される場合があります。
■フラッシュシンクロ	<p>使えるモード: P A S M CUST [<small>さきまく</small>][<small>あとまく</small>] [先幕]、[後幕]</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、67ページをお読みください。
■フラッシュ光量調整	<p>使えるモード: P A S M CUST SCN </p> <p>[−2 EV]、[−1 2/3 EV]、[−1 1/3 EV]、[−1 EV]、 [−2/3 EV]、[−1/3 EV]、[0 EV]、[+1/3 EV]、[+2/3 EV]、 [+1 EV]、[+1 1/3 EV]、[+1 2/3 EV]、[+2 EV]</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、66ページをお読みください。
○暗部補正 (インテリジェント暗部補正)	<p>使えるモード: P A S M CUST </p> <p>[OFF]、[弱]、[中]、[強]</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO感度が[ISO100]/[ISO125]のときでも、[暗部補正]有効時に撮影すると、ISO感度は[ISO100]/[ISO125]より大きくなることがあります。 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 [暗部補正]有効時には、画面の [] が黄色になります。 [弱]、[中]、[強]は効果の最大範囲を表します。
□EX光学ズーム	<p>使えるモード: P A S M CUST SCN </p> <p>[OFF]、[ON]</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、53ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法はP31へ

項目	設定・お知らせ
□ デジタルズーム	<p>光学ズーム、またはEX光学ズームよりも、さらに拡大することができます。</p> <p>使えるモード: P A S M CUST SCN </p> <p>[OFF]、[2x]、[4x]</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、53ページをお読みください。 ズーム時に手ブレが気になるときは[手ブレ補正]を[MODE1]に設定することをおすすめします。
HL 連写速度	<p>連写時の速度を設定します。</p> <p>使えるモード: P A S M CUST SCN </p> <p>[H]、[L]</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、69ページをお読みください。
■ オートブラケット	<p>オートブラケット撮影時の露出の補正幅、撮影順序を設定します。</p> <p>使えるモード: P A S M CUST SCN </p> <p>[補正幅]: [3・1/3]、[3・2/3]、[5・1/3]、[5・2/3]、 [7・1/3]、[7・2/3] [ブラケット順序]: [0/-/+]、[-/0/+]</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、71ページをお読みください。
⌚ セルフタイマー	<p>セルフタイマーの時間を設定します。</p> <p>使えるモード: P A S M CUST SCN </p> <p>[]、[]、[]</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、73ページをお読みください。
▷ 色空間	<p>撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。</p> <p>使えるモード: P A S M CUST SCN </p> <p>[sRGB]: sRGB色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。 [AdobeRGB]: AdobeRGB色空間に設定します。AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 色空間の設定によって、撮影した画像のファイル名は以下のように変わります。 P1000001.JPG └─P : sRGB └─ : AdobeRGB AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。 動画撮影時は、[sRGB]に固定されます。



撮影メニューを使う(つづき)

撮影メニューの設定方法はP31へ

項目	設定・お知らせ
NR長秒ノイズ除去 夜景撮影など、シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを、カメラが自動的に取り除き、きれいな画像を撮影することができます。	使えるモード: P A S M CUST SCN [OFF]、[ON] <ul style="list-style-type: none">ノイズ除去中は、信号処理のために選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。シャッタースピードを遅くして撮影する場合は、三脚の使用をおすすめします。動画撮影時は働きません。
ISO感度上限設定 被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。	使えるモード: P A S CUST [OFF]、[200]、[400]、[800]、[1600] <ul style="list-style-type: none">ISO感度の上限を設定できます。ISO感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレをおさえる効果が得られますが、ノイズは増加します。ISO感度が[AUTO]または[ISO]時に働きます。
ISO感度ステップ [ISO100]～[ISO3200]までのISO感度の設定を、1/3 EVごとの設定値に変更します。	使えるモード: P A S M CUST SCN [1/3 EV]: [100], [125], [160], [200], [250], [320], [400], [500], [640], [800], [1000], [1250], [1600], [2000], [2500], [3200] [1 EV]: [100], [200], [400], [800], [1600], [3200] <ul style="list-style-type: none">[1/3 EV]から[1 EV]に設定を変更すると、ISO感度は[1/3 EV]時に選んでいた設定値に最も近い値になります。 (もう一度[1/3 EV]に変更した場合、設定値は戻りません。[1 EV]時に選んでいた設定値のままになります)
音声記録 撮影と同時に音声を記録することができます。撮影時の会話やメモ代わりに状況の説明などを記録しておくことができます。	使えるモード: P A S M CUST SCN [OFF]: 録音されません。 [ON]: 画面に[]が表示されます。 撮影と同時に録音を開始します。(約5秒後に終了します) <ul style="list-style-type: none">録音中に[MENU/SET]を押すと中止されます。音声は本機の内蔵マイクより録音されます。本機で記録した音声は他機で再生できない場合があります。本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため、本機で記録した音声付き静止画を、当社製デジタルカメラ(LUMIX)※で再生することができない場合があります。 ※ 2008年12月以前発売分、および2009年発売分の一部(FS、LSシリーズ) 以下の場合には、[音声記録]の設定はできません。<ul style="list-style-type: none">オートブラケット撮影時連写時ホワイトバランスブラケット撮影時マルチフィルムブラケット撮影時[クオリティ]の[RAW⁺]、[RAW⁻]、[RAW]設定時

動画撮影メニューを使う

- ・[測光モード]、[暗部補正]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
- ・詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

動画撮影メニューの設定方法はP31へ

項目	設定・お知らせ
撮影モード 動画のデータ形式を設定します。	使えるモード: [AVCHD]、[MOTION JPEG] ●詳しくは、104ページをお読みください。
画質設定 記録する動画の画質を設定します。	使えるモード: 撮影モード:[AVCHD]のとき [FHD]、[SH]、[H]、[L] 撮影モード:[MOTION JPEG]のとき [HD]、[WVGA]、[VGA]、[QVGA] ●詳しくは、104ページをお読みください。
動画露出設定 クリエイティブ動画モード時の設定を切り換えます。	使えるモード: [P]、[A]、[S]、[M] ●詳しくは、107ページをお読みください。
風音低減 音声記録時の風雑音を記録にくくします。	使えるモード: [OFF]、[弱]、[中]、[強] ●詳しくは、106ページをお読みください。



カスタムメニューを使う

- インテリジェントオートモード時は、[カスタムセット登録]、[LCD撮影情報画面]、[ガイドライン表示]、[残枚数/残時間切替]のみ設定できます。

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
カスタムセット登録 現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして3つまで登録しておくことができます。	▶ [C1 SET1] [C2 SET2] [C3 SET3] ●詳しくは、100ページをお読みください。
LVF表示スタイル ファインダーの表示方法を設定します。	▶ []: ファインダースタイル []: 液晶モニタースタイル ●詳しくは、58ページをお読みください。
LCD表示スタイル 液晶モニターの表示方法を設定します。	▶ []: ファインダースタイル ▶ []: 液晶モニタースタイル ●詳しくは、58ページをお読みください。
LCD撮影情報画面 液晶モニターの撮影情報画面の色を設定します。(P58)	[OFF] ▶ [1]: 茶系色 [2]: 赤系色 [3]: 黒系色
LVF/LCD自動切替 ファインダーに目や物を近づけるとアイセンサーが働き、自動的にファインダー表示に切り換わります。離すと、液晶モニター表示に戻ります。	[OFF] ▶ [ON] ● [LVF/LCD]を押すと液晶モニター表示とファインダー表示を手動で切り換えることができます。(P41)
ヒストグラム ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。(P60)	▶ [OFF] [ON]: ヒストグラムの位置を設定できます。 設定方法は、60ページをお読みください。
ガイドライン表示 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。(P59)	▶ [OFF] [] [] []: ガイドラインの位置を設定できます。 設定方法は、59ページをお読みください。

カスタムメニューの設定方法はP31へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
AF/AEロック切替 ピントや露出を固定して撮影する際の[AF/AE LOCK]ボタンでの固定内容を設定します。	▶ [AE]: 露出だけを固定します。 [AF]: ピントだけを固定します。 [AF/AE]: ピントと露出を固定します。 ----- ●詳しくは、79ページをお読みください。
AF/AEロック維持 ピントや露出を固定して撮影する際の[AF/AE LOCK]のボタン動作を設定します。	▶ [OFF]: [AF/AE LOCK]を押している間だけピントや露出が固定されます。(P79) [AF/AE LOCK]を離すと、ロックが解除されます。 [ON]: [AF/AE LOCK]を押したあと、離してもピントや露出が固定されます。 もう一度[AF/AE LOCK]を押すと、ロックが解除されます。
プレビュー維持 プレビュー画面を表示する際の[⑩]のボタン動作を設定します。	[OFF]: [⑩]を押している間だけプレビュー画面が表示されます。 [⑩]を離すと、元の画面に戻ります。 ▶ [ON]: [⑩]を押したあと、離してもプレビュー画面が表示されます。(P92) もう一度[⑩]を押すと、元の画面に戻ります。
ブリAF 設定に応じて、シャッターボタン半押し前にカメラがピント合わせを自動的に行います。	▶ [OFF] [Q _{AF}] (クイックAF) [C _{AF}] (コンティニュアスAF) ----- Q _{AF} /C _{AF} について [Q _{AF}]はカメラのフレが小さくなると、カメラが自動的にピントを合わせます。[C _{AF}]は常時ピント合わせを行います(AF連続動作)。カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。 ----- ●バッテリーの消耗は早くなる場合があります。 ●撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ●[C _{AF}]に設定しているとき、ズームをW端からT端に回したり、急に被写体を遠くから近くに変えたあとは、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。 ●プレビューモード時は、[ブリAF]は働きません。 ●[ブリAF]は、オートフォーカスのできないレンズでは働きません。また、[C _{AF}]は、対応したレンズ(P17)を使用しているときのみ使えます。



カスタムメニューを使う(つづき)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
ダイレクト1点AF移動 撮影時に簡単にAFエリアの移動や枠の大きさを変更します。	▶ [OFF] [ON]: オートフォーカスモードの[□]選択時に▲/▼/◀/▶でAFエリアを自由に移動することができます。 ●詳しくは、76ページをお読みください。
フォーカス優先 ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。	[OFF]: シャッターチャンスを優先させるため、シャッターボタンを全押しすると、撮影されます。 ▶ [ON]: ピントが合うまで撮影できません。 ● [OFF]に設定すると、フォーカスマードを[AFS]または[AFC]に設定していても、ピントが合っていない場合がありますのでお気をつけください。 ● 動画撮影時は働きません。
AF補助光 撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。	[OFF]: 点灯しません。 ▶ [ON]: 暗い場所での撮影時、シャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。 (大きなAFエリアが表示されます) ● 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。 ・ DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14-140 mm/F4.0-5.8装着、W端時:約1.0 m～約3.0 m ● 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。 ● レンズフードは外してください。 ● AF補助光ランプを隠す大口径レンズをお使いの場合は、補助光がケラレるため、十分な性能を発揮できないことがあります。 ● 風景モード、夜景＆人物モードの[夜景]、[クリエイティブ夜景]、シーンモードの[夕焼け]では、[OFF]に固定されます。
AF+MF 自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。	▶ [OFF] [ON]: AFロックしている間(フォーカスマードが[AFS]時のシャッターボタン半押し、または[AF/AE LOCK]でのAFロック)にフォーカスリングを回して手動でピントを微調整することができます。 ● 動画撮影時は働きません。

カスタムメニューの設定方法はP31へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ															
MFアシスト マニュアルフォーカス時に、ピントが合わせやすくなります。	<p>[OFF] ▶[ON]: フォーカスリングを回すと自動で画面中央部が拡大表示されます。 •詳しくは、77ページをお読みください。</p>															
露出設定切替 モードダイヤルを P/A/S/M などに切り換えたときの露出補正設定切り換えの方法を変更します。	<p>▶[前ダイヤル押し]: 露出補正、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード設定を、前ダイヤルを押して切り替えます。 [LVF/LCDボタン押し]: 露出補正、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード設定を、[LVF/LCD]を押して切り替えます。 •切り替えられる設定項目は、撮影モードによって異なります。 •[LVF/LCDボタン押し]に設定したときは、[LVF/LCD]を押して液晶モニターとファインダーを切り換えることはできません。 •[LVF/LCD自動切替]を[OFF]に設定しているときは、[露出設定切替]は無効になります。</p> <p>撮影モードごとの設定項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th> または </th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P</td> <td>プログラムシフト</td> <td>露出補正</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>絞り値</td> <td>露出補正</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>シャッタースピード</td> <td>露出補正</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>シャッタースピード</td> <td>絞り値</td> </tr> </tbody> </table>			または	P	プログラムシフト	露出補正	A	絞り値	露出補正	S	シャッタースピード	露出補正	M	シャッタースピード	絞り値
		または														
P	プログラムシフト	露出補正														
A	絞り値	露出補正														
S	シャッタースピード	露出補正														
M	シャッタースピード	絞り値														
記録枠表示 動画撮影時の画角と、静止画撮影時の画角を切り替えます。	<p>▶[]: 静止画 []: 動画 •記録枠表示は目安です。</p>															
残枚数/残時間切替 記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り替えます。	<p>▶[(残枚数)]: 静止画の記録可能枚数を表示します。 [(残時間)]: 動画の記録可能時間を表示します。</p>															



カスタムメニューを使う (つづき)

カスタムメニューの設定方法はP31へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
動画ボタン	[OFF] ▶ [ON] 動画ボタン動作の有効、無効を設定します。
ダイヤル操作ガイド	[OFF] ▶ [ON] モードダイヤルを P/A/S/M などに切り換えたときの操作切り替えガイドを表示するかしないかを設定します。 ● [ON]に設定すると、露出補正、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード設定の切り替えが可能な画面にダイヤル操作ガイドが表示されます。 
メニュー位置メモリー	[OFF] ▶ [ON] 最後に操作したメニューの位置を記憶します。
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化については、お買い上げ時は最適な状態に設定されていますので、お買い上げ後、1年に一度を目安に行ってください。 ● 終了後は、電源を入れ直してください。
センサークリーニング	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。
レンズ無しリリーズ	▶ [OFF]: 本体にレンズを取り付けていないときやレンズが正しく取り付けられていないときには、シャッターが切れません。 [ON]: レンズの装着にかかわらず、シャッターが切れます。

動画/音声付き静止画を見る

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

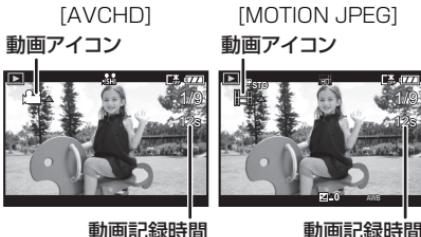
- 本機で再生できる動画/音声付き静止画のファイル形式はQuickTime Motion JPEGまたはAVCHDです。
- 本機で再生できるAVCHD形式の動画は、本機で撮影した[AVCHD]動画および、当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影したAVCHD形式([AVCHD Lite]を含む)の動画のみです。

[□]を押す

動画

◀/▶で動画アイコン([]など)
が付いた画像を選び、▲を押して
再生する

- 再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
例)1時間3分30秒のとき:1h3m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。



■動画再生中の操作

再生中に表示される
カーソルは、▲/▼/◀/▶に
対応しています。



*一時停止中のみ操作できます。

音量下げる 音量上げる



お知らせ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM(付属)のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」をご使用ください。
- パソコンや他機で記録されたQuickTime Motion JPEG動画は、画質が粗くなったり、本機で再生できない場合があります。

音声付き静止画

◀/▶で音声アイコン([])が付いた静止画を選
び、▲を押して再生する

- 音声付き静止画の作成方法は、[音声記録](P120)、[アフレコ](P141)をお読みください。

お知らせ

- スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの[スピーカー音量](P36)をお読みください。
- 他機で撮影された音声付き静止画は本機で再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。



再生メニューを使う

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ]、[トリミング]または[横縦比変換]は、編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

■スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、静止画のみ、動画のみ、お気に入りに設定した画像のみ、個人認証で登録された画像のみをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

1 再生メニューから[スライドショー]を選ぶ

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

- [お気に入り]は再生メニューの[お気に入り](P130)が[ON]で設定済みの画像があるときのみ、選択できます。



3 ▲で[開始]を選び、[MENU/SET]を押す



4 ▼を押してスライドショーを終了する

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

■スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶に対応しています。

再生/一時停止

音量下げる 音量上げる



※一時停止中および動画再生中のみ操作できます。

- [▲]を押すとメニュー画面に戻ります。



再生メニューの設定方法はP31へ

■スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

[効果]

画像切り換え時の画面効果を選ぶことができます。

[ナチュラル]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]

●[アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。

●動画のみのスライドショー時、[効果]は[OFF]固定されます。

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1秒、2秒、3秒、5秒
[リピート]	ON、OFF
[音楽]	ON、OFF
[音声]	ON、OFF

●[再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。

●[音声]は、[音楽]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。[音声]を[ON]に設定すると、音声付き静止画または動画の音声が再生されます。

お知らせ

- 音楽効果と、動画または音声付き静止画の音声は同時に再生できません。
- 音楽効果を追加することはできません。

再生モード

[通常再生]、[静止画]、[AVCHD]、[MOTION JPEG]、[個人認証再生]または[お気に入り再生]を選び、再生することができます。



1 再生メニューから[再生モード]を選ぶ

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

- [お気に入り再生]は再生メニューの[お気に入り](P130)が[ON]で設定済みの画像があるときのみ、選択できます。
- 画像を再生する方法については、54ページをお読みください。

お知らせ

- 本機で登録されている人物以外は、[個人認証再生]で再生できません。

再生モード
通常再生
静止画
AVCHD
MOTION JPEG
個人認証再生

再生メニューを使う (つづき)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

★お気に入り

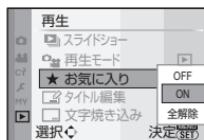
画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。

- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([★以外全消去])

1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2 ▼で[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

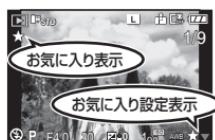
- [OFF]に設定するとお気に入り設定できません。設定済み画像の表示[★]も表示されません。



3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

4 再生中に◀/▶で画像を選び、▼で設定する

- この手順を繰り返します。
- もう一度▼を押すと解除されます。



■ [お気に入り]設定を全解除する

1 手順2で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- 設定済みの画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

お知らせ

- 999枚まで設定できます。
- お店にプリントを依頼するときに、[★以外全消去](P57)の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。
- [AVCHD]で撮影された動画、[クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。

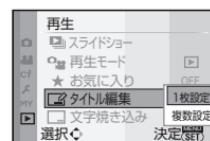
再生メニューの設定方法はP31へ

□ タイトル編集

撮影画像に文字(コメント)を登録しておくことができます。登録後、[文字焼き込み](P133)で撮影画像に焼き込むことができます。(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)シーンモードの[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]、[ペット]で設定した名前や[トラベル日付]の旅行先もタイトルとして登録されています。

1 再生メニューから[タイトル編集]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す



3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでにタイトルが登録されている画像には[☑]が表示されます。

[複数設定]選択時

[DISPLAY]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。



[1枚設定]

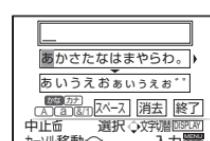
[複数設定]

◀/▶で選びます。

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼/◀/▶で文字を選び、[MENU/SET]で入力する

- 文字入力例は、次のページをお読みください。
- [DISPLAY]を押すと、[かな](ひらがな)、[カナ](カタカナ)、[A]/[a](アルファベット)、[&1](記号/数字)に文字を切り替えることができます。
- 入力位置のカーソルは、前ダイヤルで左右に移動できます。
- 空白を入れたいときは[スペース]、入力した文字を消したいときは[消去]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押してください。
- 文字入力の途中で編集を中止したい場合、[■]を押してください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
 - [かな]/[カナ]： 最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字)
 - [A]/[a]/[&1]*： 最大30文字([個人認証]の名前設定時は最大9文字)



応
用
生

再生メニューを使う（つづき）

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

- 5 ▲/▼/◀/▶で[終了]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押して入力を終了する
- 6 [■]を押してメニュー画面に戻る※
※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。
•[MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ タイトルを消去する

[1枚設定]選択時

- 1 手順4すべての文字を消去して[終了]を選び、[MENU/SET]を押す
- 2 [■]を押す
- 3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

[複数設定]選択時

- 1 手順4で文字を入力せずに[終了]を選び、[MENU/SET]を押す
- 2 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

文字入力例

「パリ」と入力する場合：

- ① [DISPLAY]を押し、カナに切り替える
- ② ◀/▶で「ハ」にカーソルを合わせる
- ③ ▼で下の段に移動し、◀/▶で「ハ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す
- ④ ◀/▶で「°」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押し、「パ」にする
- ⑤ ▲を押して上の段に戻り、◀/▶で「ラ」にカーソルを合わせる
- ⑥ ▼で下の段に移動し、◀/▶で「リ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す

お知らせ

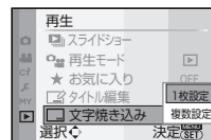
- 登録した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- [個人認証]またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前や[トラベル日付]の旅行先も、手順4以降の操作で登録できます。
- シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前や[トラベル日付]の旅行先と[タイトル編集]を同時に登録することはできません。
- CD-ROM(附属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 動画、プロテクトされた画像、クオリティを[RAW^{Hi}]、[RAW^{Lo}]または[RAW]にして撮影された画像、他機で撮影された画像はタイトル編集できません。

□文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、月齢/年齢、トラベル日付、タイトルを焼き込むことができます。Lサイズでプリントする場合に適しています。(記録画素数が[S]より大きい画像はリサイズされます)

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す



3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に[☒]が表示されます。

[複数設定]選択時

[DISPLAY]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。



[1枚設定]



[複数設定]

◀/▶で選びます。

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼/◀/▶で[撮影日時]、[月齢/年齢]、[トラベル日付]または[タイトル]を選び、[MENU/SET]を押してそれぞれの項目を設定する

[撮影日時]

日付:年月日を焼き込みます。

日時:年月日時分を焼き込みます。

[トラベル日付]

[ON]に設定すると、トラベル日付を焼き込みます。

[月齢/年齢](P98)

[ON]に設定すると、月齢/年齢を焼き込みます。

[タイトル]

[個人認証]またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定や[トラベル日付]の旅行先設定、[タイトル編集]で文字が登録された画像に文字を焼き込みます。

応用
再生

再生メニューを使う（つづき）

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

5 [MENU/SET] を押す

- 記録画素数が[S]より大きい画像に文字焼き込みを行う場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。

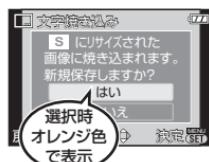
- [L]/[M] → [S] (4:3)
- [L]/[M] → [S] (3:2)
- [L]/[M] → [S] (16:9)
- [L]/[M] → [S] (1:1)

- 画像は少し粗くなります。

6 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 記録画素数が[S]で撮影された画像の場合はリサイズされませんので、「新規保存しますか？」のメッセージだけが表示されます。

(例)



7 [▲]を押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
 - 動画
 - 音声付き静止画
 - 時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
 - 文字焼き込みされた画像
 - クオリティを[RAW⁺]、[RAW₊₊]または[RAW]にして撮影された画像
 - 他機で撮影された画像

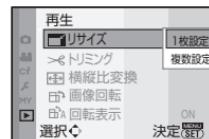
再生メニューの設定方法はP31へ

■リサイズ 画像サイズ(画素数)を小さくする

画像をEメールに添付したりホームページに使用したりする場合は、[S]にリサイズすることをおすすめします。(各画像横縦比の[S]に設定している画像は、それ以上小さくできません)

1 再生メニューから[リサイズ]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す



3 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定]選択時

1◀/▶で画像を選び、
[MENU/SET]を押す

2◀/▶でサイズ*を選び、
[MENU/SET]を押す

*リサイズできるサイズのみ表示されます。

[1枚設定]



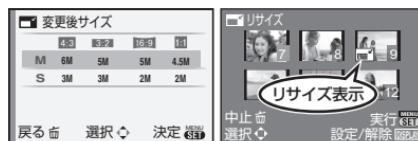
[複数設定]選択時

1▲/▼でサイズを選び、
[MENU/SET]を押す

2▲/▼/◀/▶で画像を選び、
[DISPLAY]を押す

- この手順を繰り返し、[MENU/SET]を押して決定します。

[複数設定]

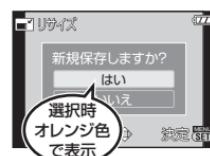


4 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

5 [廻]を押してメニュー画面に戻る*

*[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。



お知らせ

- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。
- 動画、音声付き静止画、文字焼き込みされた画像、クオリティを[RAW+], [RAW-]または[RAW]にして撮影された画像はリサイズできません。

応用・
再生

再生メニューを使う (つづき)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

>トリミング

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから[トリミング]を選ぶ

2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す



3 前ダイヤルと▲/▼/◀/▶で 切り抜く部分を選ぶ



前ダイヤル(右回し): 拡大

前ダイヤル(左回し): 縮小



▲/▼/◀/▶: 移動

位置を移動

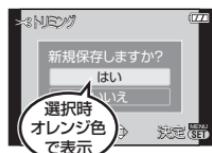


4 [MENU/SET]を押す

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

6 [廻]を押してメニュー画面に戻る

• [MENU/SET]を押してメニューを終了します。



お知らせ

- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。
- 動画、音声付き静止画、文字焼き込みされた画像、クオリティを[RAW^{Hi}]、[RAW^{Lo}]または[RAW]にして撮影された画像はトリミングできません。
- トリミングを行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

再生メニューの設定方法はP31へ

➡ 横縦比変換

[16:9]で撮影した画像を、プリント用に[3:2]、[4:3]または[1:1]に変換することができます。

1 再生メニューから[横縦比変換]を選ぶ

2 ▲/▼で[3:2]、[4:3]または[1:1]を選び、[MENU/SET]を押す



3 ◀/▶で[16:9]の画像を選び、[MENU/SET]を押す

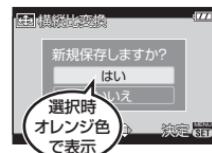


4 ◀/▶で左右の位置を決定し、[MENU/SET]を押して決定する

- ・縦に回転されている画像は▲/▼で枠を移動できます。



5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す



6 [廻]を押してメニュー画面に戻る

- ・[MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- ・横縦比変換を行うと、変換後の画素数が元の画像より大きくなる場合があります。
- ・他機で撮影された画像は横縦比変換できない場合があります。
- ・動画、音声付き静止画、文字焼き込みされた画像、クオリティを[RAW⁺]、[RAW₋]または[RAW]にして撮影された画像は横縦比変換できません。
- ・横縦比変換した画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

応用
再生

再生メニューを使う (つづき)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

田 画像回転/田 回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90°ごとに回転させることができます。

画像回転(画像を手動で回転する)

1 再生メニューから[画像回転]を選ぶ

- [回転表示]を[OFF]に設定すると、[画像回転]は選択できません。

2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

- 動画、プロテクトされた画像は回転できません。



3 ▲/▼で回転方向を選び、[MENU/SET]を押す

- : 時計回りに90°回転します。
- ←: 反時計回りに90°回転します。

4 [田]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

回転表示(画像を自動で回転して表示する)

1 再生メニューから[回転表示]を選ぶ

2 ▼で[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

- [OFF]に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については、54ページをお読みください。



3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

お知らせ

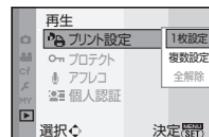
- [回転表示]は、縦位置検出機能(P40)に対応したレンズ(P17)を使用しているときのみ使えます。
- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。
- マルチ再生(P55)またはカレンダー再生(P55)時は、回転表示されません。
- 本機の上下を逆にして撮影した画像は回転表示されません。

⑥ プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す



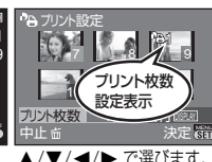
3 画像を選び、
[MENU/SET]を押す

[1枚設定]

[複数設定]



◀/▶で選びます。



▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼でプリント枚数を設定し、[MENU/SET]で決定する
•[複数設定]選択時は、手順3、4を繰り返してください。(一括設定することはできません)

5 [▲]を押してメニュー画面に戻る

•[MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ [プリント設定]を全解除する

1 手順2で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

2 ▲で[いい]を選び、[MENU/SET]を押す

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

•[プリント設定]で設定された画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY]を押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

お知らせ

- プリント枚数は0~999枚まで設定できます。
- PictBridge対応のプリンターでは、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。
- [AVCHD]で撮影された動画、[クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、プリント設定できません。

応用
再生

再生メニューを使う (つづき)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

○『プロテクト』

画像を誤って消去することができないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

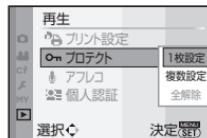
1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

[複数設定]選択時

- この手順を繰り返します。
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。



[1枚設定]

[複数設定]



◀/▶で選びます。



▲/▼/◀/▶で選びます。

4 [■]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■[プロテクト]設定を全解除する

1 手順2で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- 全解除中に[MENU/SET]を押すと、途中で全解除が中止されます。

お知らせ

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

■アフレコ

撮影した画像に、あとから音声を入れることができます。

1 再生メニューから[アフレコ]を選ぶ

2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押して 録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、「音声データを上書きしますか？」と表示されます。▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押して録音を開始してください。(元の音声はなくなります)
- 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。
- [■]を押すと中止されます。



3 [MENU/SET]を押して録音を終了する

- [MENU/SET]を押さなくても、約10秒間録音すると、自動的に終了します。



4 [■]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 他機で撮影された画像にはアフレコはできない場合があります。
- 動画またはプロテクトされた画像、クオリティを[RAW[■]]、[RAW[▲]]または[RAW]にして撮影された画像にはアフレコはできません。
- 本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため、本機で記録した音声付き静止画を、当社製デジタルカメラ(LUMIX)^{*}で再生することができない場合があります。
※ 2008年12月以前発売分、および2009年発売分の一部(FS、LSシリーズ)



再生メニューを使う (つづき)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

再生メニューの設定方法はP31へ

個人認証

選択した画像の個人認証に関するすべての情報が解除されます。

- 1 再生メニューから [個人認証] を選ぶ**
- 2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET] を押す**
- 3 ▲で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す**
- 4 [戻] を押してメニュー画面に戻る**
 - [MENU/SET] を押してメニューを終了します。



お知らせ

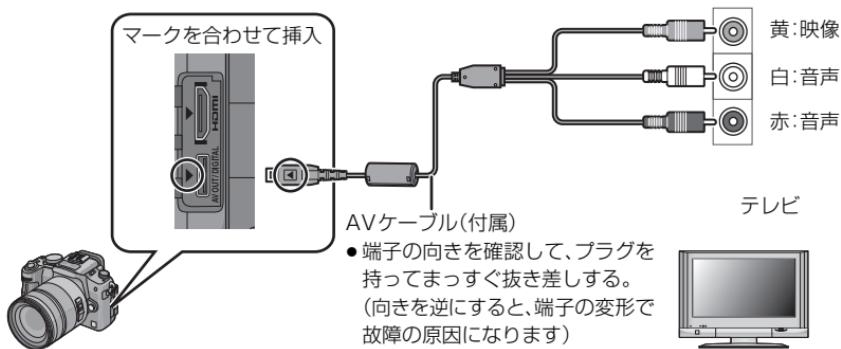
- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 解除した画像は [スライドショー] および [再生モード] の個人認証に分類されません。
- プロテクトされた画像は解除できません。

テレビで見る

AVケーブル(付属)を使って見る

準備: [TV画面タイプ] (P37) を設定する。

本機の電源を[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。



- 1 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する
- 2 本機の[AV OUT]端子にAVケーブルを確実に接続する
- 3 テレビの電源を入れ、外部入力にする
- 4 本機の電源を[ON]にし、[▶]を押す

お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 音声はステレオ(2ch)で再生されます。
- AVケーブル接続時はファインダー表示はできません。



応用
再生



他の
機器
との
接続

SDカードスロット付きテレビで見る

SDカードスロット付きテレビに撮影したSDメモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。

お知らせ

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- [AVCHD]で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークが付いている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。その他の場合、動画を再生するときは、AVケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHCカードはSDHCカードに対応しているテレビでなければ再生できません。

テレビで見る (つづき)

HDMI端子付きテレビで見る

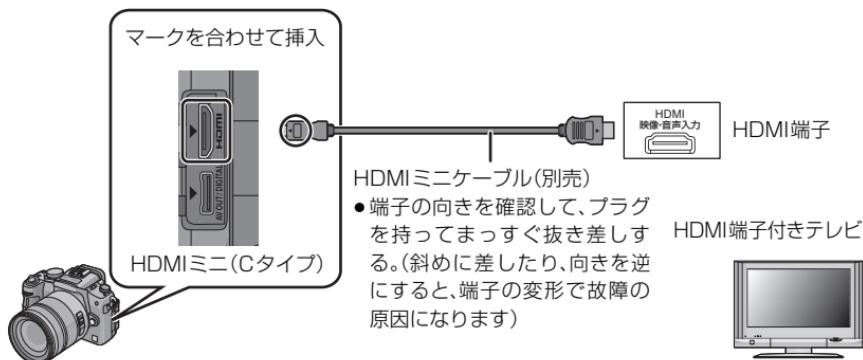
HDMIミニケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続すると、高画質な画像や動画をテレビで楽しむことができます。

HDMIとは

HDMIはデジタル機器向けのインターフェースです。HDMI対応機器と接続すると、デジタル信号で映像や音声を出力することができます。本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影したハイビジョン映像を高画質・高音質で楽しむことができます。また、ビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)と接続すると連動操作(ビエラリンク)ができます。(P145)

準備: [HDMI出力解像度](P38)を確認する。

本機の電源を[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。



- 1** テレビのHDMI端子にHDMIミニケーブルを接続する
- 2** 本機の[HDMI]端子にHDMIミニケーブルを確実に接続する
- 3** テレビの電源を入れ、HDMI入力に切り換える
- 4** 本機の電源を[ON]にし、[▶]を押す

• [ビエラリンク](P38)を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り替わり、再生画面が表示されます。(P145)

お知らせ

- ・[画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- ・当社製HDMIミニケーブル(別売)をお使いください。
 - ・品番: RP-CDHM15(1.5 m)、RP-CDHM30(3.0 m)
- ・AVケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、HDMIミニケーブルからの出力が優先されます。
- ・パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIミニケーブルを接続してもHDMI出力できません。
- ・HDMIミニケーブル接続時にUSB接続ケーブルを挿入すると、HDMI出力は解除され、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。
- ・HDMIミニケーブル接続時、液晶モニター/ファインダーに画像は表示されません。
- ・HDMIミニケーブル接続時は、[アフレコ]は働きません。
- ・画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- ・テレビの説明書もお読みください。
- ・音声はステレオ(2ch)で再生されます。

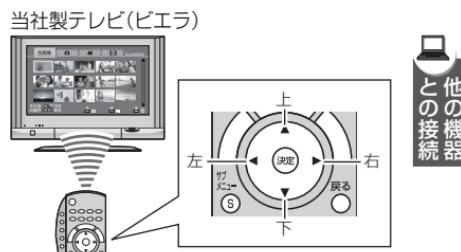
ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)を使う

ビエラリンク(HDMI)とは

- ・本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ・ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したもので、他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- ・本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.4に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.4とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2008年12月現在)

準備: [ビエラリンク](P38)を[ON]に設定する。

- 1 HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(P144)



- 2 本機の電源を[ON]にし、[▶]を押す

- 3 テレビのリモコンで操作する

テレビで見る (つづき)

■ 使用できる機能

テレビのリモコンで操作します。

① マルチ再生

テレビのリモコンの[赤]を押して、再生するデータの種類を切り換える

- 再生するデータの種類は、[全画像] → [] → [] → [] → [全画像]の順に切り换わります。



▲/▼/◀/▶で画像を選び、[決定]を押して1画面表示にする

- [サブメニュー]を押すとスライドショーの設定などを行うことができます。

② 1画面表示

◀/▶で画像を送る

▲で撮影情報を表示する

▼で①のマルチ再生に戻る

- [全画像]または[]から1画面表示を行ったときに[決定]を押すと、③のスライドショーを開始します。

- []または[]から1画面表示を行ったときに[決定]を押すと、動画を再生します。
◀/▶で早戻し/早送り、▼で再生を終了します。



③ スライドショー

[決定]を押してスライドショー開始/一時停止操作をする

一時停止中に◀/▶で画像を送る

▼でスライドショーを終了し、②の1画面表示に戻る



• スライドショーで動画の音声を再生するときは

[全画像]を選んでいるときにスライドショーで動画の音声を再生するには、[サブメニュー]を押し、スライドショーで[効果]を[OFF]に、[音声]を[ON]に設定してください。

• 操作アイコンの表示/非表示について

[戻る]を押すと、操作アイコンを非表示にすることができます。また操作アイコン非表示中に[サブメニュー]を押すと、操作アイコンを表示します。

お知らせ

- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをおおすすめします。
- 本機の[ビエラリンク](P38)を[ON]に設定している場合は、本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- 接続したテレビ側のビエラリンク(HDMI)が働くように設定しておいてください。(設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク](P38)を[OFF]に設定してください。

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。(USB接続ケーブルでパソコンと接続時などは電源は切れません)

自動入力切換

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[□]を押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り替えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入りります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り替わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)が正しく働かない場合は、174ページをご確認ください。

お知らせ

- お使いのテレビがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク(HDMI)のロゴマークが付いているかご確認いただき、それぞれの取扱説明書をお読みください。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル(別売)をお使いください。
 - ・品番: RP-CDHM15(1.5 m)、RP-CDHM30(3.0 m)
- パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIミニケーブルを接続してもビエラリンクが働きません。
- 本機のHDMI出力解像度(P38)の[1080i]は、以下の場合のみ有効です。

HDMI出力時:

- ・[]で撮影した動画の再生中
- ・[再生モード]の[静止画]選択時
- ・[スライドショー]の[静止画のみ]選択時

[ビエラリンク]を[ON]に設定時:

- ・テレビの画面上で表示される[]を選択し、静止画を1画面表示で再生中
- ・テレビの画面上で表示される[]を選択し、[]で撮影した動画を再生中
- ・[スライドショー]の[静止画のみ]選択時

・上記以外の場合は[720p]で出力されます。

• 本機の[HDMI出力解像度](P38)を[AUTO]または[1080i]に設定し、テレビの画面上で表示される[]を選択すると、1画面表示の際にしばらくの間画面が黒くなりますが、故障ではありません。

• 本機の[HDMI出力解像度](P38)を[AUTO]または[1080i]に設定していて画面が乱れるときは、[720p]に設定を切り換えてください。

VIERA Link



記録した静止画や動画を残す

本機で記録した静止画や動画は、そのファイル形式(JPEG、RAW、AVCHD、Motion JPEG)によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SDカードをレコーダーに入れてダビングする

取り込み可能なファイル形式: 静止画 (JPEG)/ 動画 (AVCHD)

当社製ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーに本機で撮影したSDカードを入れると、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスクにダビングすることができます。

- [AVCHD]で撮影された動画は、AVCHDに対応していない機器(従来のDVDレコーダーなど)では再生できません。また、再生可能なAVCHD対応機器でも、ダビングができない機器もあります。
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。



AVケーブルを使って再生映像をダビングする

取り込み可能なファイル形式: 動画 (AVCHD、Motion JPEG)

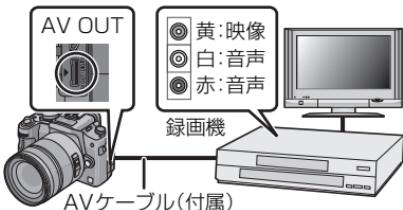
本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオなどにダビングします。ハイビジョン(AVCHD)対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

1 本機と録画機をAVケーブル(付属)で接続する

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。



お知らせ

- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P37)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビング時は本機の[DISPLAY]を押し、画面表示を消しておくことをおすすめします。(P54)
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

パソコンにコピーする(P149)

取り込み可能なファイル形式: 静止画 (JPEG、RAW)/ 動画 (AVCHD、Motion JPEG)

CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使ってパソコンに静止画や[AVCHD]、[MOTION JPEG]で撮影した動画を取り込んだり、[AVCHD]で撮影した動画から、ハイビジョンではない標準の画質でDVDビデオを作成することができます。

- [AVCHD]動画に関するファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去、変更、移動をすると再生、編集などができなくなりますので、[AVCHD]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使って取り込んでください。



パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使うと便利です。
- CD-ROM(付属)のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」および「付属ソフトについてのお知らせ」をお読みください。

■ 使用できるパソコン

	Windows			Macintosh
	98/98SE	Me	2000/XP/Vista	OS 9/OS X
PHOTOfunSTUDIO は使える？	使えません		使えます※1	使えません
[AVCHD]動画をパソ コンに取り込める？	取り込めません		取り込めます※2	取り込めません
USB接続ケーブルを使っ てデジタルカメラの静止 画、[MOTION JPEG]動画 をパソコンに取り込める？		取り込めます		取り込めます (OS 9.2.2/OS X [10.1～10.5])
USBドライバーのイン ストールは必要？	必要です		不要です	—

- Windows 95以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー/ライターが利用できれば取り込めます。

※1 Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。

お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

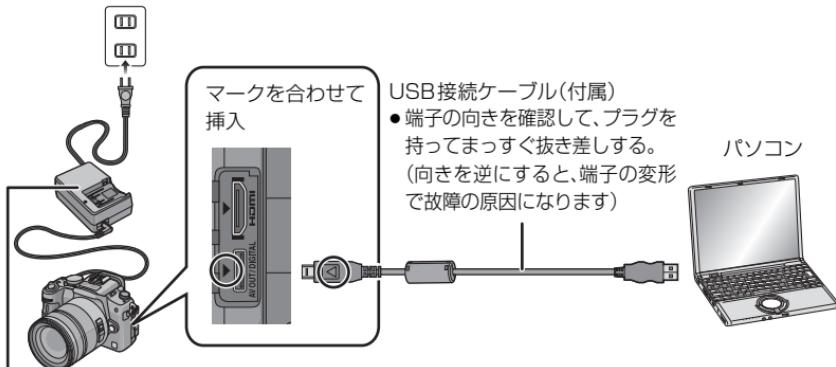
※2 [AVCHD]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使って取り込んでください。

パソコンと接続する(つづき)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

静止画、[MOTION JPEG]動画を取り込む([AVCHD]動画以外)

準備：本機の液晶モニターの液晶面を表にする。
本機とパソコンの電源を入れる。



ACアダプター(付属)

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(P26)を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」(P151)をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊される恐れがあります。

1 USB接続ケーブル(付属)を本機とパソコンに挿入する

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

2 ▲/▼で[PC]を選び、[MENU/SET]を押す

- セットアップメニューで[USBモード](P37)を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPCと接続します。接続のたびに設定する必要がないので、便利です。
- [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。
[キャンセル](中止)を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。[USBモード]を[PC]に設定し直してください。



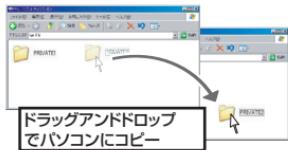
3 「マイコンピュータ」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

- Macintoshの場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。(「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます)



4 「DCIM」フォルダーをダブルクリックする

- 5** 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップする



■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

- パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

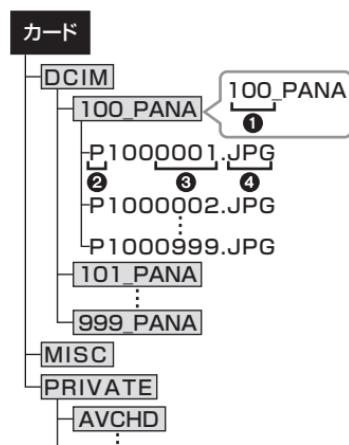


お知らせ

- 本機の電源を切ってからACアダプター(P26)を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。
- HDMIミニケーブル接続時(P144)にUSB接続ケーブルを挿入すると、HDMI出力は解除され、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。

■ カードの中をパソコンで見る(フォルダ構造)

- パソコンで加工したフォルダーや画像はカメラ本体で再生できません。
パソコンからカードに画像を書き込む際には、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使うことをおすすめします。



- | | |
|---|---|
| ❶ | フォルダ番号 |
| ❷ | 色空間
P: sRGB
L: AdobeRGB |
| ❸ | ファイル番号 |
| ❹ | JPG: 画像
MOV: 動画
RW2: RAW ファイルの画像
MISC: DPOFプリント
お気に入り
AVCHD: AVCHD動画 |

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。

- セットアップメニューの[番号リセット](P37)実行後。
- 同じフォルダ番号のあるカードを挿入した場合。(他社のカメラで撮影した場合など)
- フォルダ内にファイル番号999の画像がある場合。

■ PTPモードで接続する(Windows® XP/Windows Vista®/Mac OS Xのみ)

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。

カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。

- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードでは[AVCHD]で撮影した動画は再生できません。



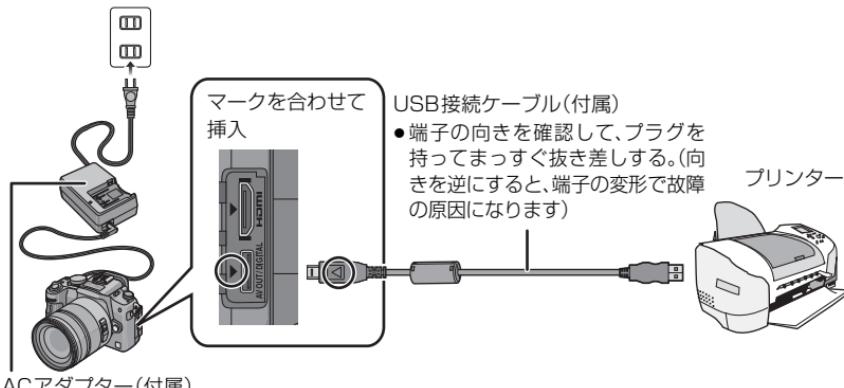
プリントする

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

準備：本機とプリンターの電源を入れる。

あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。



ACアダプター(付属)

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(P26)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

1 USB接続ケーブル(付属)を本機とプリンターに挿入する

- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[☒]が表示されます。[☒]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

2 ▲/▼で[PictBridge(PTP)]を選び、 [MENU/SET]を押す



お知らせ

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 本機の電源を切ってからACアダプター(P26)を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- HDMIミニケーブル接続時(P144)にUSB接続ケーブルを挿入すると、HDMI出力は解除され、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。
- [AVCHD]で撮影した動画はプリントできません。

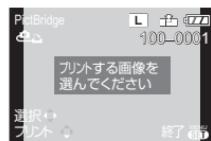
選択画像

- 1 ▲で[選択画像]を選び、[MENU/SET]を押す



- 2 ◀/▶で画像を選び、▼を押す

・メッセージは約2秒後に消えます。



- 3 ▲/▼で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- 途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。



プリントの各種設定

上記手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[]にして、プリンター側で設定してください。(詳しくはプリンターの説明書をお読みください)



日付プリント

項目	設定内容
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。
- 使用するプリンターによっては、画像横縦比を[]に設定して撮影した画像の日付が、縦方向にプリントされる場合があります。

プリント枚数

プリントする枚数(最大999枚まで)を設定できます。

- 前ダイヤルでも設定できます。

プリントする (つづき)

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

用紙サイズ

項目	設定内容
■	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5"×5"	89 mmx127 mm
2L/5"×7"	127 mmx178 mm
はがき	100 mmx148 mm
16:9	101.6 mmx180.6 mm
A4	210 mmx297 mm

項目	設定内容
A3	297 mmx420 mm
10×15cm	100 mmx150 mm
4"×6"	101.6 mmx152.4 mm
8"×10"	203.2 mmx254 mm
レター	216 mmx279.4 mm
カード	54 mmx85.6 mm

- ・プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
■	プリンターの設定が優先されます。
□	1面ふちなし印刷
■	1面ふちあり印刷

項目	設定内容
■■	2面印刷
■■	4面印刷

- ・プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

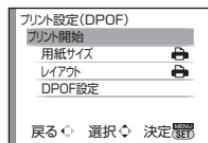
プリント設定(DPOF)

- ・あらかじめ本機で[プリント設定]をしておく。(P139)

- 1 ▼で[プリント設定(DPOF)]を選び、
[MENU/SET]を押す



- 2 ▲/▼で[プリント開始]を選び、
[MENU/SET]を押す



- ・[プリント設定]をしていない場合は、[プリント開始]を選択できません。[DPOF設定]を選び、[プリント設定]をしてください。(P139)

- ・途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
- ・プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4枚]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合(プリント設定のみ)

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4枚]に設定し、[プリント設定](P139)で4つの画像の[プリント枚数]を1枚に設定してそれぞれ選択してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント設定では、プリント枚数の合計やプリント設定された画像が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なりますが、故障ではありません。
- RAWファイルをプリントする場合、本機で同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像がない場合はプリントできません。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

●お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[DISPLAY]を押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。[個人認証]またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル編集]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

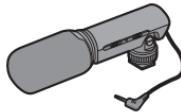
日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 3.1 HD Edition」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。



別売品のご紹介

品名: バッテリーパック 品番: DMW-BLB13		品名: シャッターリモコン 品番: DMW-RSL1	
品名: フラッシュライト 品番: DMW-FL220 DMW-FL360 DMW-FL500		品名: ステレオ マイクロホン 品番: DMW-MS1	
品名: 交換レンズ 品番: H-FS045200 H-FS014045 H-F007014		品名: ソフトバッグ 品番: DMW-BAG1	
品名: MCプロテクター※ 品番: DMW-LMCH62		品名: ソフトケース 品番: DMW-CG2	
品名: NDフィルター※ 品番: DMW-LND62		※ DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ 14-140 mm/F4.0-5.8では、これらの フィルターをお使いいただくことを おすすめします。 その他のレンズをお使いの場合は、お使 いのレンズに対応したフィルターをお 使いください。	
品名: PLフィルター※ (サーキュラータイプ) 品番: DMW-LPL62			

<p>品名: ショルダーストラップ</p> <p>品番: DMW-SSTG1 DMW-SSTG2 DMW-SSTG3</p>	
<p>品名: HDMIミニケーブル</p> <p>品番: RP-CDHM15 RP-CDHM30</p>	
<p>品名: SDメモリーカード SDHCメモリーカード</p>	
<p>品名: マウントアダプター</p> <p>品番: DMW-MA1</p>	

マウントアダプターを使うと、以下のレンズが使えます。(一部の機能に制限があります)

L-ES014050
L-X025
L-RS014050
L-RS014150

- 対応レンズの最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覗ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

外部フラッシュ（別売）を使う

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

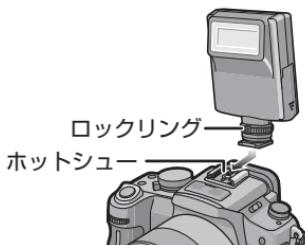
外部フラッシュを使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

準備：本機の電源を[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じる。

■ 専用フラッシュライト（別売：DMW-FL220）を使う場合

- 1** ホットシューに専用フラッシュライトを取り付け、本機と専用フラッシュライトの電源を入れる

- 専用フラッシュライトのロックリングは、確実に締め込んでください。



- 2** 撮影メニューから[フラッシュ]を選ぶ（P31）



- 3** ▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す

- 外部フラッシュ接続中は以下のアイコンが表示されます。
◆：外部フラッシュ強制発光
◆S：外部フラッシュスローシンクロ

- 4** [MENU/SET]を押して、メニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ 本体(DMC-GH1)との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることのできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。（シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。）



お知らせ

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 専用フラッシュライト以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源が[OFF]でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュは使えません。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をおすすめします。
- 取り外しの際は、本機の電源を[OFF]にしてから行ってください。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落の恐れがあるので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを[]に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。(P83)
- 広角時に近くで撮影すると、画面の下部がケラレる場合があります。
- 外部フラッシュはステレオマイクロホン(別売:DMW-MS1)との併用はできません。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。



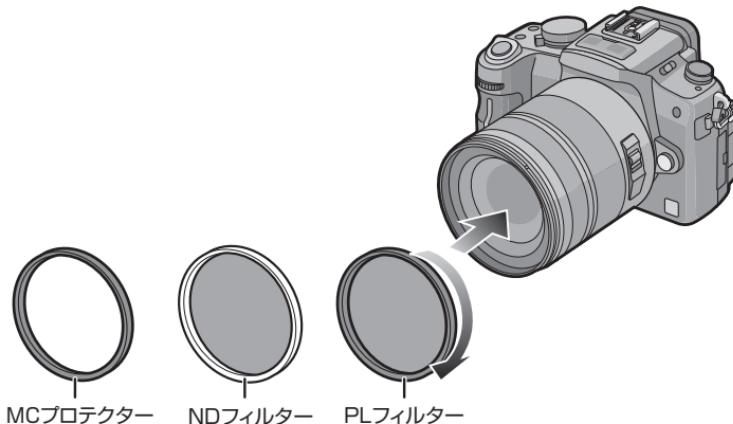
フィルター（別売）を使う

MCプロテクター（別売:DMW-LMCH62）は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。

NDフィルター（別売:DMW-LND62）は、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8(3枚り分)に減少させることができます。

PLフィルター（別売:DMW-LPL62）は、金属や球面以外(平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など)からの反射光をおさえ、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

フィルターを取り付ける



お知らせ

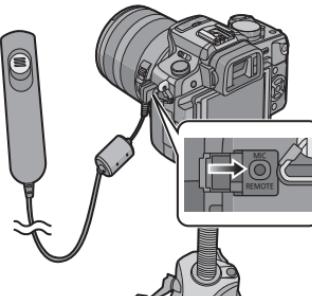
- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを強く締めすぎると、外れなくなる恐れがありますので、強く締めないようにしてください。
- フィルターが落下すると、壊れる恐れがあります。取り付けるときは、落とさないようにお気をつけください。
- フィルターに指紋やほこりなどの汚れがついていると、フィルター面にピントが合ってしまい被写体にピントが合わないことがありますので、お気をつけください。
- フィルターを付けたまま、レンズキャップやレンズフードを取り付けることができます。
- 詳しくは、各種フィルターの説明書をお読みください。
- DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ14-140 mm/F4.0-5.8では、MCプロテクター（別売: DMW-LMCH62）、NDフィルター（別売: DMW-LND62）、PLフィルター（別売: DMW-LPL62）をお使いいただくことをおすすめします。

シャッターリモコン（別売）を使う

シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）を使用すると、三脚使用時に手ブレを防いだり、B（バルブ）撮影時や連写時にシャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。

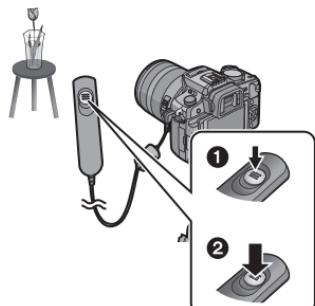
1 本機の[REMOTE]端子に

シャッターリモコンを奥まで確実に接続する



2 撮影する

- ①軽く押して半押しする
- ②全押しで撮影する
(奥まで押し込む)



■ シャッターボタンの[LOCK]について

- シャッターボタンを全押しした状態で、固定することができます。
連写時(P69)やB(バルブ)撮影時(P91)に有効です。
- シャッターボタンを全押ししたまま、[LOCK]側にスライドさせてください。
- [LOCK]を解除するときは[LOCK]と反対側にスライドさせてください。



お知らせ

- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
 - ・パワーケーブルを解除するとき
 - ・動画撮影に使用する場合は、クリエイティブ動画モードで撮影してください。
 - ・シャッターリモコンはステレオマイクロфон(別売：DMW-MS1)との併用はできません。

外部マイク（別売）を使う

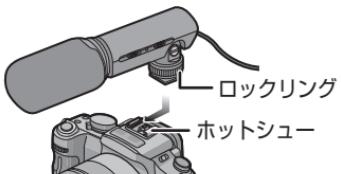
ステレオマイクロホン(別売:DMW-MS1)を使用すると、ステレオ集音とモノラル集音を切り換えて集音することができます。

また、風音低減スイッチを[ON]に切り換えると、風雑音を効果的に低減することができます。

準備：本機の電源を[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じる。

1 ホットシューにステレオマイクロホンを取り付ける

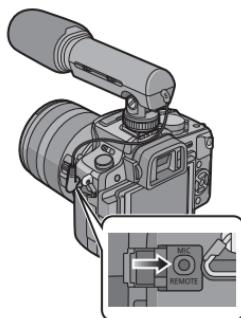
- ステレオマイクロホンのロックリングは、確実に締め込んでください。



2 本機の[MIC]端子にステレオミニプラグコードを奥まで確実に接続する

3 本機とステレオマイクロホンの電源を入れる

- 外部マイク接続中は、画面に[]が表示されます。



■ 電源/マイク設定スイッチについて

OFF: ステレオマイクロホンの電源を切れます。

MONO: カメラの正面方向の音をモノラルで集音します。

STEREO: 広い範囲の音をステレオで集音します。

バッテリーチェックランプについて

- 電源/マイク設定スイッチを[OFF]から[MONO]または[STEREO]に切り換えたとき、電池が十分あると、バッテリーチェックランプが一瞬点灯します。バッテリーチェックランプが点灯しなくなったら、新しい電池と交換してください。

お知らせ

- ステレオマイクロホン装着時は、脱落の恐れがありますので、ステレオマイクロホンのみを持たないようにしてください。
- 風音低減はステレオマイクロホン側のみで設定してください。
- ステレオマイクロホン装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- ステレオマイクロホンは外部フラッシュ(別売)との併用はできません。
- ステレオマイクロホンはシャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)との併用はできません。
- 詳しくは、ステレオマイクロホンの説明書をお読みください。

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

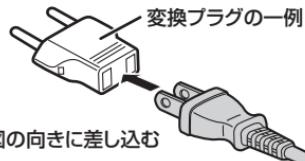
●電源電圧(100 V~240 V)、電源周波数(50 Hz, 60 Hz)でご使用いただけます。

●市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付けかた

●ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。



■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米								
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A			
ヨーロッパ								
イギリス	BF. B3.	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ A.B. B3.C. SE
スウェーデン	B.C. SE	スペイン	A.C. SE	デンマーク	C	ドイツ	A.C. SE	ノルウェー C ハンガリー C
フィンランド	B.C	フランス	A.C. SE	ベルギー	B.C. SE	ロシア	A.C. SE	
アジア								
インド	B,BF. B3,C	インドネシア	B,B3. C,SE	シンガポール	B,BF. B3	タイ	A,BF. C	大韓民国 A.C. SE 台湾 A.C. O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF. C,SE	香港特別行政区	B,BF. B3,C	マカオ特別行政区 B,BF. B3,C マレーシア B,BF. B3,C
オセアニア								
オーストラリア O	グラム島 A	サイパン島 A	トンガ O	ニュージーランド O	フィジー A,B. C,O			
中南米								
アルゼンチン	BF,C. SE	ペルトリコ C	A,BF. C	ブラジル A.C. SE	メキシコ A.C. SE			
中東・アフリカ								
アラブ首長国連邦	B,BF. B3	エジプト	B,F,B3. C,SE	クウェート	B,B3. C	トルコ A,B. C,SE	南アフリカ共和国 B,BF. B3,C	モロッコ A,C. SE
タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O	
アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ			オーストラリアンタイプ	
コンセント形状	(○)	(○○)	(□)	(○○)	(○○)	(○○)	(○○)	
プラグ形状	不要です							

■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

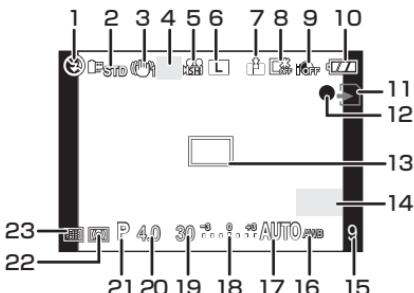
セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニター/ファインダーの表示

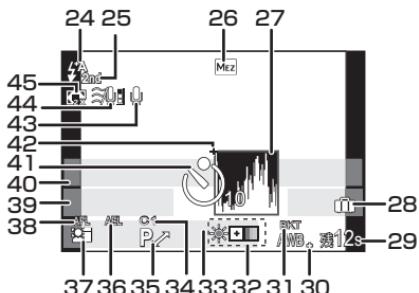
液晶モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- ・画面は液晶モニターで表示画面を[]（液晶モニタースタイル）に設定時の例です。

プログラムAEモード[P]時（お買い上げ時）

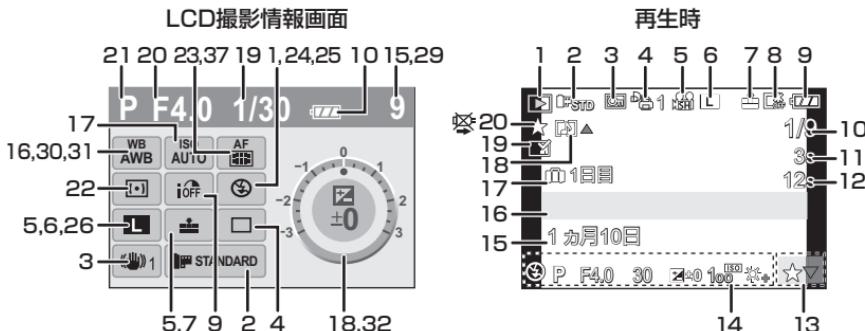


撮影時（各種設定後）



■ 撮影時

- 1 フラッシュモード(P61)
- 2 フィルムモード(P86)
- 3 手ブレ補正(P117)
手ブレ警告(P51):
- 4 単写(P49)*1:
- 5 単写(P49)*1:
- 6 連写(P69):
- 7 オートブラケット(P71):
- 8 セルフタイマー(P73):
- 9 撮影モード(動画撮影時)(P104)
画質設定(P104)
- 10 記録画素数(P115)
- 11 クオリティ(P116)
- 12 LCDモード(P36)*2
- 13 EX光学ズーム(P53, 118)
- 14 フラッシュ光量調整(P66)
- 15 後幕(P67)
- 16 AF操作(P46, 75)
- 17 ISO感度(P84)
- 18 面出補正值(P68)/
マニュアル露出アシスト(P90)
- 19 シャッタースピード(P51)
- 20 絞り値(P51)
- 21 撮影モード
- 22 測光モード(P117)
- 23 オートフォーカスモード(P74)
- 24 ホワイトバランス微調整(P83)
- 25 ヒストグラム(P60)
- 26 トライバル日付(P112)
- 27 追尾AF操作(P46, 75)
- 28 記録可能時間(P103)*3: 残XXhXXm
- 29 ホワイトバランス微調整(P83)
- 30 マイカラーモード調整表示(P99)
- 31 現在日時/旅行先設定(P114)*2, 4:
- 32 カスタムセット(P101)
- 33 プログラムシフト(P52)
- 34 AEロック(P79)
- 35 個人認証(P109)
- 36 AFロック(P79)



39月齢/年齢(P98)※2.5

旅行先(P112)※2.4

40名前(P98)※2.5

トラベル経過日数(P112)※2.4

41セルフタイマー(P73)※6

42スポット測光ターゲット(P117)

43音声記録(P120)

44風音低減(P106)

45デジタルズーム(P53, 119)

※1 LCD撮影情報画面にのみ表示されます。

※2 液晶モニターにのみ表示されます。

※3 カスタムメニューの[残枚数/残時間切替]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。LCD撮影情報画面以外では、残り枚数が10000枚を超える場合は、[9999+]と表示されます。

※4 起動時/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

※5 シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]で起動した場合に約5秒間表示されます。

※6 カウントダウン中に表示されます。

■ 再生時

1再生モード(P54)

2フィルムモード(P86)

3プロテクト(P140)

4プリント枚数(P139)

5撮影モード(動画撮影時)(P104)

画質設定(P104)

6記録画素数(P115)

7クリアティ(P116)

8LCDモード(P36)

9バッテリー残量(P23)

10画像番号/トータル枚数

11再生経過時間(P127): XXhXXmXXs

12動画記録時間(P127): XXhXXmXXs

13お気に入り設定(P130)

14撮影情報※7

15月齢/年齢(P98)

16名前(P98)

旅行先(P112)

タイトル(P131)

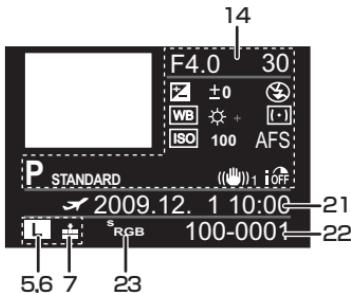
17トラベル経過日数(P112)

18音声再生(P127)

動画再生(P127):

液晶モニター/ファインダーの表示 (つづき)

詳細情報表示



19文字焼き込み済み表示(P133)

20お気に入り表示(P130)

ケーブル切断禁止アイコン(P152)

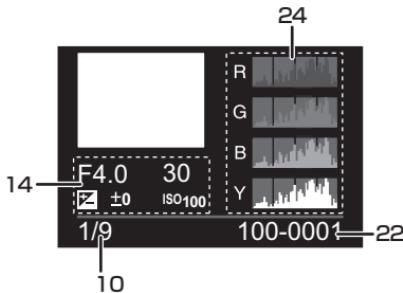
21撮影日時/旅行先設定(P112)

22フォルダー・ファイル番号

(P151)^{※7}

23色空間(P119)^{※7}

ヒストグラム表示



24ヒストグラム(P60)

※7 [AVCHD]で撮影した動画には表示されません。

メッセージ表示

確認／エラー内容を液晶モニター／ファインダーに文章で表示します。

ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードはロックされています	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P28)
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P140)消去をしてください。
消去できない画像があります／この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P38)してください。
設定枚数をこえました	[複数消去](P57)、[お気に入り](P130)、[タイトル編集](P131)、[文字焼き込み](P133)、[リサイズ](P135)の複数設定時に一度に設定できる枚数を超えてます。 設定枚数を減らしてから、もう一度操作を行ってください。 お気に入り設定が999枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル編集]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では認識できないカードです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P38)し直してください。
レンズの装着をご確認ください／システムエラー	•レンズ取り外しボタンを押さないでください。 •レンズが正しく装着されているか確認し、再度電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
レンズが正しく装着されていません	レンズを一度外し、再度付け直してください。(P19)
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です／このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。(P28) 4 GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。
メモリーカードエラー カードを確認してください	•カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 •miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 •別のカードを入れてお試しください。
リードエラー／ライトエラー カードを確認してください	•データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を[ON]にして記録または読み込みしてください。 •カードが破壊されている可能性があります。 •別のカードを入れてお試しください。



メッセージ表示 (つづき)

メッセージ	実行していただきたいこと
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません。	<ul style="list-style-type: none">パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P38)してください。別のカードを入れてお試しください。
カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました	<p>動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。 ※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。</p> <p>[画質設定]を[]、[]または[]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。</p> <p>「10MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P38)することをおすすめします。</p> <p>カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。</p>
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダ番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。(P151) パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P38)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダ番号が100にリセットされます。(P37)
4:3TV用で出力します/ 16:9TV用で出力します	<ul style="list-style-type: none">本機にAVケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET]を押してください。[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P37)USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 <p>USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P150、152)</p>
プリンタービジー プリンターを確認してください	プリンター側が印刷できない状態です。 プリンターを確認してください。
バッテリー残量が不足しています	バッテリー残量が少なくなっています。充電してください。
このバッテリーは使えません	<ul style="list-style-type: none">本機では認識できないバッテリーです。パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。バッテリーの端子が汚れているため、認識できません。端子部のごみなどを取り除いてください。
外部マイクは電源オンでご使用ください	<ul style="list-style-type: none">ステレオマイクロホン(別売:DMW-MS1)装着時は、電池の状態および電源が入っていることをご確認のうえご使用ください。(P162)

Q & A 故障かな?と思ったら

まず、以下の方法(P169~175)をお試しください。

それでも解決できない場合は、セットアップメニューの[設定リセット](P37)を行うと症状が改善する場合があります。

これらの処置をしても直らないときは、191、193ページをお読みください。

■ バッテリー、電源について

Q(質問)	A(回答)
電源を[ON]にしても動作しない。	<ul style="list-style-type: none">•バッテリーが正しい向きに入っていますか?(P25)•バッテリーが消耗しています。充電してください。•ACアダプターが正しく接続されていません。(P26)
電源を[ON]にしているのに、液晶モニターが消灯している。	<ul style="list-style-type: none">•ファインダー表示になっていますか? → [LVF/LCD]を押して、液晶モニター表示に切り換えてください。(P41)•[エコモード]の[自動液晶OFF](P34)が働いていませんか? → シャッターボタンを半押しして、解除してください。•液晶モニターが消灯になっていますか? → [DISPLAY]を押して表示情報を切り換えてください。(P58)•バッテリーが消耗しています。充電してください。
電源を[ON]にしてもすぐに切れる。	<ul style="list-style-type: none">•バッテリーが消耗しています。充電してください。•電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 → [エコモード](P34)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
電源が勝手に切れる。	<ul style="list-style-type: none">•ビエラリンク(HDMI)対応のテレビとHDMIミニケーブル(別売)で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 → ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク]を[OFF]に設定してください。(P38)
充電[CHARGE]ランプが点滅する。	<ul style="list-style-type: none">•バッテリーが高温、あるいは低温になりすぎていませんか?その場合、充電時間が通常よりも長くなるか、充電が完了しない場合もあります。•チャージャーやバッテリーの端子部が汚れていませんか? → 乾いた布でふき取ってください。

■撮影について

Q(質問)	A(回答)
画像が撮れない。 シャッターが切れない。	<ul style="list-style-type: none">•モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか?•カードは入っていますか?•カードのメモリー残量はありますか? → 不要な画像を消去して容量を増やしてください。(P57)•ピントは合っていますか? → お買い上げ時は、ピントが合うまで撮影されない設定になっています。ピントが合っていない場合でもシャッターボタンの全押しで撮影されるようにしたいときは、[フォーカス優先]を[OFF]に設定してください。(P124)



Q
&
A
そ
の
他

Q & A 故障かな?と思ったら(つづき)

■撮影について(つづき)

Q(質問)	A(回答)
撮影した画像が白っぽい。	<ul style="list-style-type: none">レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 →汚れたときは、電源を[OFF]にし、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。撮像素子が汚れたときは、177ページをお読みください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	<ul style="list-style-type: none">露出が正しく補正されているか確認してください。(P68)不適切な状態でAEロック(P79)がかかっていないませんか?
1回の撮影で、2~3枚の画像が撮れるときがある。	<ul style="list-style-type: none">ホワイトバランスブラケット(P83)の設定を解除してください。
ピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none">ピントが合う範囲から外れています。(P49)手ブレや被写体ブレしています。(P51)[フォーカス優先]が[OFF]になっていませんか?(P124) この場合、フォーカスマードを[AFS]または[AFC]に設定していくも、ピントが合っていないことがあります。不適切な状態でAFロック(P79)がかかっていないませんか?
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	<ul style="list-style-type: none">特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。 →本機を両手でしっかりと持て撮影してください。(P39) →遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー(P73)を使って撮影してください。
ホワイトバランスブラケット撮影ができない。	<ul style="list-style-type: none">記録可能枚数が2枚以下ではありませんか?
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none">ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか? (お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、室内などの撮影ではノイズが出ます) →ISO感度を低くしてください。(P84) →フィルムモードの[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P87) →明るい場所で撮影してください。 →[長秒ノイズ除去]を[ON]に設定してください。(P120)
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	<ul style="list-style-type: none">蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
撮影時に、液晶モニターに赤っぽい横すじが出る。	<ul style="list-style-type: none">これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。

■撮影について(つづき)

Q(質問)	A(回答)
動画撮影が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none">動画撮影の際は、SDスピードクラス*が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。 ※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 → [画質設定]を[], []または[]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。「10MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P38)することをおすすめします。
露出補正ができない。	<ul style="list-style-type: none">露出補正操作になっていますか? → 前ダイヤルを押して露出補正操作に切り換えてください。(P68)
被写体をロックできない。 (動体追尾できない)	<ul style="list-style-type: none">周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AF枠に合わせて設定してください。(P75)
被写体がゆがんで見える。	<ul style="list-style-type: none">本機の撮像素子にMOSを使用しているため、被写体がすばやく横切った場合、少しうがんで見えることがあります、故障ではありません。

■レンズについて

Q(質問)	A(回答)
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	<ul style="list-style-type: none">使用するレンズによっては、ズームの倍率によりレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。

■フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	<ul style="list-style-type: none">フラッシュを閉じていませんか? → [OPEN]レバーをスライドさせて、フラッシュを開いてください。(P61)
フラッシュが2回発光する。	<ul style="list-style-type: none">フラッシュは2回発光します。特に赤目軽減(P61)に設定している場合は、間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

Q & A 故障かな?と思ったら(つづき)

■液晶モニター/ファインダーについて

Q(質問)	A(回答)
電源[ON]中に、液晶モニターが消える。	<ul style="list-style-type: none">[エコモード]の[自動液晶OFF](P34)では、液晶モニターが消灯します。[ただし、ACアダプター(P26)使用時を除く]バッテリーの残量が少ないと、フラッシュの充電に時間がかかり、液晶モニターの消灯時間が長くなる場合があります。アイセンサーの近くに手や物があると、ファインダー表示に切り換わります。(P41)
液晶モニター/ファインダーが明るすぎたり、暗すぎる。	<ul style="list-style-type: none">→液晶モニター/ファインダーの明るさなどを正しく調整してください。(P36)→[POWER LCD]になっていませんか?(P36)
液晶モニターに画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none">ファインダー表示になっていませんか? →[LVF/LCD]を押して、液晶モニター表示に切り換えてください。(P41)液晶モニターが消灯になっていませんか? →[DISPLAY]を押して表示情報を切り換えてください。(P58)
[LVF/LCD]を押しても液晶モニターとファインダーが切り換わらない。	<ul style="list-style-type: none">[露出設定切替]が[LVF/LCDボタン押し]に設定されていませんか?(P125)パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面は液晶モニター表示のみになります。
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	<ul style="list-style-type: none">これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none">暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。
蛍光灯下でちらつきや横しまが出る。	<ul style="list-style-type: none">これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合は、クリエイティブ動画モードでシャッタースピードを関東地方など50 Hzの地域では1/100秒、関西地方など60 Hzの地域では1/60秒に設定してください。
ファインダー撮影で目を動かしたり、カメラを速く動かしたときに赤や緑、青のちらつきが見える。	<ul style="list-style-type: none">これは本機ファインダーの駆動方式の特徴であり異常ではありません。記録される画像には問題ありません。

■再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が回転しない/意図しない方向に回転して表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • [回転表示](P138)を[OFF]にすると画像は回転せずに表示されます。 • [画像回転](P138)で画像を回転することができます。 • 縦位置検出機能(P40)に対応したレンズ(P17)のみ[回転表示]を[ON]にすると画像が回転されて表示できます。
再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • [REC]を押しましたか？ • カードは入っていますか？ • カードに再生できる画像はありますか？ • パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
撮影した画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • [再生モード]を設定していませんか？ → [通常再生]に設定してください。(P129)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	<ul style="list-style-type: none"> • 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ • 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ → このような画像を消去するには、フォーマット(P38)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください)
カレンダー再生で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P29) • パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> • 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。 
画面に「サムネイル表示」と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • 他機で撮影された静止画ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュが赤目軽減([], [], [])のとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 → [デジタル赤目補正]を[OFF]に設定して撮影することをおすすめします。(P118)
動画に「カチッ」という音が録音される。	<ul style="list-style-type: none"> • 動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときにレンズによっては「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。 • 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。



Q & A
その他

Q & A 故障かな?と思ったら(つづき)

■テレビ、パソコン、プリンターについて

Q(質問)	A(回答)
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	<ul style="list-style-type: none"> 正しく接続されていますか? →テレビの入力切換を外部入力にしてください。 パソコンやプリンターと接続しているとき、[HDMI]端子からの出力はできません。 →本機をテレビにのみ接続してください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	<ul style="list-style-type: none"> テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"> カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか? →AVケーブル(付属)またはHDMIミニケーブル(別売)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P143、144) →[AVCHD]で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークが付いている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P37)
ビエラリンク(HDMI)が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> HDMIミニケーブル(別売)で正しく接続されていますか?(P144) →HDMIミニケーブル(別売)が奥まで確実に入っていることを確認してください。 →本機の[□]を押してください。 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか?(P38) →テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) →接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 →本機の電源を入れ直してください。 →テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)
パソコンに接続して画像を転送できない。	<ul style="list-style-type: none"> 正しく接続されていますか? パソコンが本機を正常に認識していますか? →本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P37、150)
パソコンにカードが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	<ul style="list-style-type: none"> PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 →本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P37、152)

■ テレビ、パソコン、プリンターについて(つづき)

Q(質問)	A(回答)
プリントすると、画像の端が切れる。	→ トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください) → お店によっては、横縦比を【16:9】に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

■ その他

Q(質問)	A(回答)
レンズ部から音がする。	• 電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。 • ズーム操作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニター内の画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
画像の一部が白と黒に点滅する。	• 白とびが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。(P35) • [ハイライト表示]が[ON]になっていませんか？
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	• 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P124)が赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	• カスタムメニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？(P124) • 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	• ご使用中、本機表面や液晶の裏側が多少熱くなることがあります、性能・品質には問題ありません。
時計が合っていない。	• 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 → 「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P29)時計設定をしない状態で撮影すると、[0.0.0 0:00]の日付が記録されます。
ファイル番号が連続して記録されない。	• 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。(P151)
ファイル番号がさかのぼって記録される。	• 電源を[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源を[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
月齢/年齢が正しく表示されない。	• 時計設定(P29)または誕生日設定(P98)を確認してください。



Q & A
その他の

使用上のお願い

本機について

**本機を落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力をかけない**

- 強い衝撃が加わると、レンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気を付けてください。

**磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)
からはできるだけ離れて使う**

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター(P26)を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーを取り出してください、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚がひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあります。撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、レンズを外して本体を保管するときは、必ずボディキャップを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

ダストリダクション機能について

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源を[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になる場合はカスタムメニューの[センサークリーニング](P126)を行ってください。

撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむを得ず自身でクリーニングされる場合は、以下のことを必ずお守りください。

- プロワー(市販)で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- プロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- プロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、プロワーが撮像素子に触ると傷が付きます。
- プロワー以外のものは使用しないでください。
- プロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口(P194～196)にお問い合わせください。

■ ファインダーのアイカップのお手入れについて

- アイカップは取り外できませんので、汚れた場合などお手入れの際は、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

使用上のお願い (つづき)

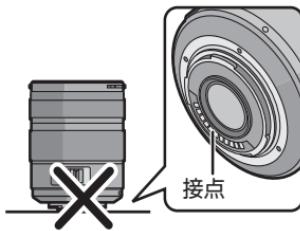
液晶モニター/ファインダーについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニター/ファインダーの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズ取付部を下にして置かないでください。また、レンズの接点を汚さないようにお気をつけください。



バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)および電源コード(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P163)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20



Q & A
その他

使用上のお願い（つづき）

チャージャーについて

- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約0.1Wの電力を消費しています)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

●カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。

●使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。

●カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。

メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

赤ちゃんモード/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。

個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P37)
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、180ページの「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
(推奨温度:15 ℃~25 ℃、推奨湿度:40%~60%です)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源が[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。
これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなつてから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをおすすめします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

使用上のお願い (つづき)

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、バッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気を付けてください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがれたりすることができますので、お気を付けてください。
- 三脚の説明書もよくお読みください。

ショルダーストラップについて

- 本体に重いレンズ(約1kg以上)を付けた場合、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。本体とレンズを持って持ち運びしてください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかる個人使用を除いてはライセンスされません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
(<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。



記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数・時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

■ 記録可能枚数(静止画:枚)

画像横縦比		4:3											
記録画素数		L : 4000×3000 画素 (1200万画素相当)				M : 2816×2112 画素 (590万画素相当)				S : 2048×1536 画素 (310万画素相当)			
クオリティ		RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW
カード	32 MB	3	7	0	1	6	14	1	1	17	35	1	1
	64 MB	7	16	2	3	15	31	3	3	37	74	3	3
	128 MB	17	35	5	6	32	64	6	7	77	152	7	8
	256 MB	34	71	11	13	63	127	13	14	152	297	15	15
	512 MB	70	142	22	26	128	254	26	29	303	591	30	31
	1 GB	143	286	45	54	257	510	52	59	609	1183	60	63
	2 GB	291	578	92	110	523	1023	107	120	1228	2362	122	128
	4 GB	573	1137	182	216	1030	2010	212	235	2412	4640	240	252
	6 GB	872	1729	277	329	1566	3056	322	358	3668	7056	366	384
	8 GB	1168	2315	371	440	2097	4092	432	480	4911	9445	490	514
	12 GB	1762	3493	559	664	3165	6173	651	724	7408	14248	739	776
	16 GB	2351	4660	747	886	4222	8235	869	966	9882	19006	986	1035
	32 GB	4719	9350	1499	1779	8471	16520	1744	1939	19825	38127	1978	2078

画像横縦比		3:2											
記録画素数		L : 4128×2752 画素 (1140万画素相当)				M : 2928×1952 画素 (570万画素相当)				S : 2064×1376 画素 (280万画素相当)			
クオリティ		RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW
カード	32 MB	3	7	0	1	6	14	1	1	19	38	1	1
	64 MB	8	17	2	3	15	31	3	3	41	80	3	4
	128 MB	17	36	5	7	32	64	6	7	85	165	8	8
	256 MB	36	73	11	14	64	127	13	15	168	323	16	16
	512 MB	73	146	23	28	128	254	27	31	334	641	32	33
	1 GB	148	294	47	57	259	510	55	62	670	1284	64	67
	2 GB	301	595	97	116	523	1023	113	126	1334	2560	130	137
	4 GB	593	1170	191	228	1030	2010	222	249	2622	5027	256	269
	6 GB	902	1780	292	347	1566	3056	338	378	3987	7644	390	409
	8 GB	1208	2383	391	465	2097	4092	453	507	5338	10233	522	548
	12 GB	1823	3595	590	702	3165	6173	684	765	8052	15435	788	826
	16 GB	2433	4796	787	937	4222	8235	913	1020	10742	20590	1051	1102
	32 GB	4881	9623	1580	1880	8471	16520	1832	2047	21549	41304	2109	2212

画像横縦比		16:9											
記録画素数		L: 4352×2448画素 (1070万画素相当)				M: 3072×1728画素 (530万画素相当)				S: 1920×1080画素 (210万画素相当)			
クオリティ		RAW	RAW+	RAW	RAW+	RAW	RAW+	RAW	RAW+	RAW	RAW+	RAW	RAW+
カード	32 MB	3	8	1	1	6	14	1	1	26	52	2	2
	64 MB	8	18	2	3	15	31	3	4	56	108	4	4
	128 MB	18	38	6	7	32	66	7	8	115	222	8	9
	256 MB	37	75	12	15	65	130	14	16	226	434	17	18
	512 MB	75	151	25	30	130	259	29	33	449	862	35	36
	1 GB	152	303	50	60	262	519	58	66	900	1725	70	73
	2 GB	310	613	103	123	533	1040	119	134	1806	3413	142	148
	4 GB	611	1205	203	242	1048	2044	235	265	3548	6704	280	291
	6 GB	930	1833	308	369	1594	3108	358	403	5395	10193	426	443
	8 GB	1245	2454	413	494	2134	4161	480	539	7222	13644	571	593
	12 GB	1879	3703	624	746	3220	6278	724	814	10895	20581	861	894
	16 GB	2507	4940	832	996	4295	8374	966	1085	14534	27454	1149	1193
	32 GB	5030	9911	1671	1998	8618	16800	1939	2178	29155	55073	2305	2394

画像横縦比		1:1											
記録画素数		L: 2992×2992画素 (900万画素相当)				M: 2112×2112画素 (450万画素相当)				S: 1504×1504画素 (230万画素相当)			
クオリティ		RAW	RAW+	RAW	RAW+	RAW	RAW+	RAW	RAW+	RAW	RAW+	RAW	RAW+
カード	32 MB	4	10	1	1	12	25	1	2	24	48	2	2
	64 MB	10	22	3	4	26	52	4	4	52	100	4	5
	128 MB	23	48	7	8	54	108	8	9	107	204	9	10
	256 MB	47	95	14	17	108	213	17	19	210	399	19	20
	512 MB	95	189	29	34	215	424	35	38	418	793	38	40
	1 GB	191	381	59	70	433	850	71	78	838	1589	77	81
	2 GB	390	766	120	141	876	1706	145	158	1660	3072	157	165
	4 GB	767	1507	236	279	1722	3351	285	310	3260	6033	310	324
	6 GB	1167	2292	359	424	2620	5095	434	472	4958	9173	471	493
	8 GB	1563	3068	482	568	3507	6821	581	632	6637	12280	631	660
	12 GB	2358	4629	727	857	5291	10290	877	954	10011	18523	952	995
	16 GB	3146	6176	970	1143	7058	13726	1170	1273	13355	24708	1270	1328
	32 GB	6312	12390	1947	2294	14160	27535	2348	2554	26791	49565	2548	2664



記録可能枚数・記録可能時間 (つづき)

画像横縦比		4:3	3:2	16:9	1:1
クオリティ		RAW			
カード	32 MB	2	2	2	2
	64 MB	4	4	4	5
	128 MB	8	9	9	11
	256 MB	16	17	19	21
	512 MB	33	35	38	42
	1 GB	67	71	76	86
	2 GB	136	144	155	174
	4 GB	267	284	304	342
	6 GB	406	432	463	521
	8 GB	544	579	620	697
	12 GB	821	873	935	1052
	16 GB	1095	1165	1247	1403
	32 GB	2198	2338	2503	2816

■ 記録可能時間(動画撮影時)

ファイル形式		AVCHD			
画質設定		HD	MHS	MH	ML
カード	32 MB				
	64 MB				
	128 MB				
	256 MB				
	512 MB	3分00秒	3分00秒	4分00秒	7分00秒
	1 GB	7分00秒	7分00秒	9分00秒	14分00秒
	2 GB	15分00秒	15分00秒	20分00秒	29分00秒
	4 GB	30分00秒	30分00秒	40分00秒	1時間00分
	6 GB	46分00秒	46分00秒	1時間00分	1時間28分
	8 GB	1時間00分	1時間00分	1時間20分	1時間54分
	12 GB	1時間34分	1時間34分	2時間00分	2時間54分
	16 GB	2時間00分	2時間00分	2時間40分	4時間00分
	32 GB	4時間00分	4時間00分	5時間20分	8時間00分

ファイル形式		MOTION JPEG			
画質設定		HD	WVGA	HQ	QVGA
カード	32 MB	4秒	16秒	17秒	52秒
	64 MB	12秒	36秒	38秒	1分50秒
	128 MB	29秒	1分17秒	1分20秒	3分45秒
	256 MB	59秒	2分30秒	2分35秒	7分20秒
	512 MB	2分00秒	5分00秒	5分10秒	14分40秒
	1 GB	4分00秒	10分10秒	10分40秒	29分30秒
	2 GB	8分20秒	20分50秒	21分40秒	1時間00分
	4 GB*	16分20秒	41分00秒	42分40秒	1時間58分
	6 GB*	25分00秒	1時間2分	1時間5分	3時間00分
	8 GB*	33分30秒	1時間23分	1時間27分	4時間1分
	12 GB*	50分30秒	2時間6分	2時間11分	6時間4分
	16 GB*	1時間7分	2時間48分	2時間55分	8時間5分
	32 GB*	2時間15分	5時間38分	5時間51分	16時間14分

* [MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

●[AVCHD]はカードの容量いっぱいまで記録できます。ただし、電池寿命によって、カードの容量が残っていても撮影が終了する場合があります。(P24)

お知らせ

- 液晶モニター/ファインダーに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- [EX光学ズーム](P118)を[ON]に設定している場合は、各画像横縦比の[L]以外の記録画素数に[EZ]が表示されます。

仕様

電源	DC 9.3 V
消費電力	2.9 W (液晶モニター撮影時) 2.7 W (ファインダー撮影時) 2.0 W (液晶モニター再生時) 1.8 W (ファインダー再生時)

カメラ有効画素数	1210万画素
撮像素子	4/3型 Live MOS センサー 総画素数 1398万画素、 原色カラーフィルター
デジタルズーム	最大4倍
EX光学ズーム (各画像横縦比設定の最大記録画素数以外)	ON/OFF単純拡大 (他社レンズにも対応)
フォーカス	オートフォーカス / マニュアルフォーカス 顔認識/追尾AF/23点/1点
シャッターシステム	フォーカルプレーンシャッター
連写撮影 :連写速度 連写枚数	3コマ/秒 (高速)、2コマ/秒 (低速) 最大7コマ (RAWファイルあり) カードの空き容量に依存 (RAWファイルなし)
ISO感度 (標準出力感度)	オート/インテリジェントISO/100/200/400/800/1600/ 3200
シャッタースピード	B (バルブ) (最大約4分間)、60 ~ 1/4000秒
測光範囲	EV 0 ~ EV 18
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/フラッシュ/ ホワイトセット1/ホワイトセット2/色温度設定
露出	プログラムAE (P)、絞り優先AE (A)、シャッター優先AE (S)、 マニュアル露出 (M)、オート 露出補正 (1/3 EVステップ、-3 EV ~ +3 EV)
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光
液晶モニター	3.0型 TFT 液晶 (約46万ドット) (視野率約100%)
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー (約144万ドット相当) (視野率約100%) (視度調整付き -4 ~ +4 diopter)
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 GN11相当 (ISO100 · m) 撮影可能範囲: 約1.0 m ~ 約4.8 m [DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ 14-140 mm/F4.0-5.8装着、 焦点距離 22 mm、[ISO AUTO]、画像横縦比[4:3]設定時] オート/赤目軽減オート/強制発光/赤目軽減強制発光/ スローシングクロ/赤目軽減スローシングクロ/発光禁止
フラッシュ同調速度	1/160秒以下
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル

記録メディア	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード
記録画素数 静止画	画像横縦比[4:3]設定時 4000×3000画素/2816×2112画素/2048×1536画素 画像横縦比[3:2]設定時 4128×2752画素/2928×1952画素/2064×1376画素 画像横縦比[16:9]設定時 4352×2448画素/3072×1728画素/1920×1080画素 画像横縦比[1:1]設定時 2992×2992画素/2112×2112画素/1504×1504画素
画質設定 動画	AVCHD (ステレオ音声付き) [FHD]設定時 1920×1080画素(60i記録/17 Mbps) (センサーからの出力は24コマ/秒です) [SH]設定時 1280×720画素(60p記録/17 Mbps) [H]設定時 1280×720画素(60p記録/13 Mbps) [L]設定時 1280×720画素(60p記録/9 Mbps) MOTION JPEG (ステレオ音声付き) [HD]設定時 1280×720画素(30コマ/秒) [WVGA]設定時 848×480画素(30コマ/秒) [VGA]設定時 640×480画素(30コマ/秒) [QVGA]設定時 320×240画素(30コマ/秒)
クオリティ(圧縮率)	RAW/Raw+ フайн/RAW+スタンダード/フайн/ スタンダード
記録画像ファイル形式 静止画 音声付き静止画 音声付き動画	JPEG (DCF準拠、Exif2.21準拠) /DPOF対応 JPEG (DCF準拠、Exif2.21準拠) +QuickTime (音声付き静止画) AVCHD/QuickTime Motion JPEG
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	USB 2.0 (High Speed) NTSC コンポジット オーディオオンライン出力 (ステレオ)
端子 MIC/REMOTE AV OUT/DIGITAL HDMI DC IN	Ø2.5 mm ジャック 専用ジャック (14pin) miniHDMI Cタイプ (1.3a対応) なし (ACアダプター使用時は同梱DCケーブル使用)
寸法	約 幅124 mm×高さ89.6 mm×奥行き45.2 mm (突起部除く)
質量	約385 g (本体) 約903 g [カード、DMC-GH1Kに同梱の交換レンズ 14-140 mm/F4.0-5.8、バッテリー含む]
推奨使用温度	0 ℃~40 ℃
許容相対湿度	10%~80%
言語切換	なし (日本語のみ)

仕様 (つづき)

専用バッテリーチャージャー/ACアダプター: DE-A49A

定格出力	DC 9.3 V 1.2 A (デジタルカメラ時) DC 8.4 V 0.65 A (充電時)
定格入力 入力容量	AC100 V–240 V 50/60 Hz 25 VA (100 V)、34 VA (240 V)

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLB13

電圧/容量(最小)	7.2 V/1250 mAh
-----------	----------------

交換レンズ H-VS014140

(LUMIX G VARIO HD 14–140 mm/F4.0–5.8 ASPH./MEGA O.I.S.)

焦点距離	f=14 mm ~ 140 mm (35 mm フィルムカメラ換算: 28 mm ~ 280 mm)
絞り形式	7枚羽根 虹彩絞り/円形絞り
開放絞り	F4.0 (W 端時) ~ F5.8 (T 端時)
最小絞り値	F22
レンズ構成	13群 17枚 (非球面レンズ4枚/EDレンズ 2枚)
撮影範囲	0.5 m ~∞ (撮像面から)
最大撮影倍率	0.2× (35 mm フィルムカメラ換算: 0.4×)
手ブレ補正	あり
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	75° (W端時) ~ 8.8° (T端時)
フィルター径	62 mm
最大径	約70 mm
全長	約84 mm (レンズ先端からレンズマウント基準面まで)
質量	約460 g

修理を依頼されるときは

まず「Q & A 故障かな?と思ったら」をお読みください。それでも解決しない場合は故障の可能性があります。

お買い上げの販売店または修理ご相談窓口(P194~196)にお問い合わせください。

万一、故障が発生し、修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

- 修理の際に、セットアップメニュー、撮影メニュー、再生メニューなどの設定を出荷状態に戻さなければならぬ場合があります。あらかじめご了承ください。
- 画質・ピント・手ブレ関連の故障の場合、支障のない範囲でできるだけご指摘の画像を製品に添付していただきますようお願いいたします。

ご記入日: 年 月 日

■商品について

き
り
と
り

機種名	DMC-GH1K	
お買い上げ日	年 月 日	
製造番号 (保証書または 本体底面に記載)		
保証書添付	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し

線

■確認事項

修理代金の見積もり (有償修理時のみ)	<input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> _____万円以上必要	<input type="checkbox"/> 必要
修理ご依頼時の添付品 (本体以外の添付品を ご記入ください)			

裏面につづく

Q&A
その他

修理を依頼されるときは (つづき)

■ 故障の症状について

発生時期	ご購入後	<input type="checkbox"/> 直後	<input type="checkbox"/> 1ヵ月以内	<input type="checkbox"/> 1ヵ月以上
発生頻度	<input type="checkbox"/> 常時	<input type="checkbox"/> 時々	<input type="checkbox"/> 1回のみ	
故障 発生 時の 使 用 状 況	使用していた電源	<input type="checkbox"/> バッテリー (品番:)	<input type="checkbox"/> ACアダプター ()	
	使用していたレンズ	<input type="checkbox"/> 同梱品	<input type="checkbox"/> その他 (焦点距離 / 絞り値:) (メーカー:)	
	外部フラッシュ	<input type="checkbox"/> 装着していた (品番:) (メーカー:)	<input type="checkbox"/> 装着していない	
	パソコンとの接続	<input type="checkbox"/> 接続していた (OS:) (メーカー:) (機種:)	<input type="checkbox"/> 接続していない	
故障の症状 (できるだけ具体的に ご記入ください)				

故障の症状
(できるだけ具体的に
ご記入ください)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

■ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このデジタルカメラ/レンズキットの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときは

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ/レンズキット
品 番	DMC-GH1K
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。

また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。

なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。



保証とアフターサービス (よくお読みください) (つづき)

修理に関するご相談

パナソニック 修理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリー ダイヤル  **0120-878-365**

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリー ダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区

札幌 札幌市厚別区厚別
南2丁目17-7
 (011)894-1251
旭川 旭川市2条通16丁目
1166
 (0166)22-3011

帯広 帯広市西20条北
2丁目23-3
 (0155)33-8477

函館 函館市西桔梗
589番地241
(函館流通卸
センター内)
 (0138)48-6631

※電話番号をよくお確かめの上、おかげください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区

青森	青森市大字浜田 字豊田364 ☎ (017)775-0326	岩手	盛岡市厨川5丁目 1-43 ☎ (019)645-6130	山形	山形市平清水1丁目 1-75 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市外旭川 字小谷地3-1 ☎ (018)868-7008	宮城	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117	福島	郡山市龜田1丁目 51-15 ☎ (024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭 3丁目3-19 ☎ (028)689-2555	埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5822
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075	千葉	千葉市中央区末広 5丁目9-5 ☎ (043)208-6034	神奈川	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
茨城	つくば市筑穂3丁目 15-3 ☎ (029)864-8756	東京	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9700	新潟	新潟市東区東明 1丁目8-14 ☎ (025)286-0180

中部地区

石川	金沢市玉鉾2丁目 266番地 ☎ (076)280-6608	長野	松本市寿北7丁目3-11 ☎ (0263)86-9209	岐阜	岐阜市中鶴4丁目42 ☎ (058)278-6720
富山	富山市根塚町1丁目 1-4 ☎ (076)424-2549	静岡	静岡市葵区千代田 7丁目7-5 ☎ (054)287-9000	高山	高山市花岡町3丁目 82 ☎ (0577)33-0613
福井	福井市問屋町2丁目 14 ☎ (0776)21-0622	愛知	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	三重	津市久居野村町 字山神421 ☎ (059)254-5520

近畿地区

滋賀	栗東市靈仙寺1丁目 1-48 ☎ (077)582-5021	大阪	大阪市城東区関目 2丁目15-5 ☎ (06)6359-6225	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都	京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	奈良	大和郡山市筒井町 800番地 ☎ (0743)59-2770	兵庫	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4 ☎ (078)796-3140

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

※電話番号をよくお確かめの上、おかげください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中 国 地 区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	出雲	出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	広島	広島市西区南観音 1丁目13-5 ☎ (082)295-5011
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	浜田	浜田市下府町 327-93 ☎ (0855)22-6629	山口	山口市小郡下郷 220-1 ☎ (083)973-2720
松江	松江市平成町 182番地14 ☎ (0852)23-1128	岡山	岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236		

四 国 地 区

香川	高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	高知	高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	愛媛	愛媛県伊予郡砥部町 八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253				

九 州 地 区

福岡	春日市春日公園 3丁目48 ☎ (092)593-9036	大分	大分市萩原4丁目 8-35 ☎ (097)556-3815	天草	天草市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀	佐賀市鍋島町大字 八戸宇上深町3044 ☎ (0952)26-9151	宮崎	宮崎市本郷北方 字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	鹿児島	鹿児島市与次郎 1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎	長崎市東町1919-1 ☎ (095)830-1658	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	大島	奄美市名瀬朝仁町 11-2 ☎ (0997)53-5101

沖 縄 地 区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207
----	----------------------------------

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

さくいん

あ	
アイカップ	177
アイセンサー	41
赤ちゃん	98
アクセス表示	28
アドバンスシーンモード	93
アフレコ	141
暗部補正	118
い	
色温度設定	82
色空間	119, 151
インテリジェントオートモード	44
インテリジェントISO	84
インテリジェントISO感度コントロール	85
え	
液晶調整	36
液晶モニター	39, 58, 164
エコモード	34
お	
オートパワーLCD	36
オートフォーカスマード	74
オートブラケット	71, 119
オートホワイトバランス	81
オートレビュー	35
お気に入り	130
お手入れ	177
音声記録	120
音声付き静止画	127
か	
カード	27, 28
回転表示	138
ガイドライン表示	59, 122
外部フラッシュ	158
外部マイク	162
顔認識	45, 47, 74
画質設定（動画撮影時）	104, 121, 187
カスタムセット登録	100, 122
カスタムモード	101
画像回転	138
画像横縦比	115, 184
カレンダー再生	55
き	
逆光補正	45, 47
記録画素数	115, 184
記録可能時間（動画撮影時）	24, 187
記録可能枚数	24, 184
記録枠表示	125
く	
クイックメニュー	33
クイックAF	123
クオリティ	116, 184
クリエイティブ動画モード	107
クローズアップモード	95
こ	
光学ズーム	53
個人認証	45, 109, 116, 142
コンティニュアスAF	123
さ	
再生ズーム	56
再生モード	129
撮影距離基準	78
撮影モード	104, 121
サムネイル表示	173
三脚	182
し	
シーンメニュー	36
シーンモード	97
自動液晶OFF	34
自動シーン判別	45, 47
視度調整	41
絞り優先AE	89
シャッター優先AE	89
シャッターリモコン	161
充電	22, 23
消去	57
ショルダーストラップ	20
人物モード	94
す	
ズーム	53
スタンダード	116
ステレオマイクロホン	162
スピーカー音量	36
スポーツモード	95
スポット測光	117
スライドショー	128
せ	
設定リセット	37
セルフタイマー	73, 119
センサークリーニング	126
そ	
測光モード	117

さくいん(つづき)

た

- タイトル編集 131
ダイヤル操作ガイド 126
ダイレクト1点AF移動 124
ダストリダクション機能 177
縦位置検出機能 40

ち

- 中央重点測光 117
長秒ノイズ除去 120

つ

- 追尾AF 46, 75
つゆつき 10

て

- デジタル赤目補正 62, 118
デジタルズーム 53, 119
手ブレ 51
手ブレ補正 19, 117
テレビ再生 143
電源表示ランプ 42
電子音 36

と

- 動画再生 127
動画撮影 47, 102
動画ボタン 126
動画露出設定 107, 121
時計設定 29, 34
トラベル日付 34, 112
トリミング 136

の

- 残り枚数/残り時間表示切り換え 125

は

- バージョン表示 38
パーティー 97
ハイライト表示 35
バッテリー 22, 23, 25
パワーセーブ 34
パワーLCD 36
番号リセット 37

ひ

- ヒエラリンク 38, 145
ピクセルリフレッシュ 126
ヒストグラム 60, 122
日付プリント 139, 153
ピント 51, 79

ふ

- ファイル番号 37, 151, 166
ファイン 116
ファインダー 41, 58, 164
フィルムモード 86
風音低減 106, 121
風景モード 94
フォーカス優先 124
フォーマット 38
フォルダー構造 151
フォルダー番号 37, 151, 166
フラッシュ 61, 118
フラッシュ光量調整 66, 118
フラッシュシンクロ 67, 118
プリント設定 139
プリント枚数 139
プリAF 123
プレビュー 92
プレビュー維持 123
プログラムシフト 52
プログラムAE 49
プロジェクト 140

へ

- ペット 98

ほ

- ホットキー 158, 162
ボディキャップ 18
ホワイトバランス 81
ホワイトバランス微調整 83
ホワイトバランスプラケット 83

ま

- マイカラーモード 99
マイメニュー 30
マニュアルフォーカス 77
マニュアル露出 90
マニュアル露出アシスト 90
マルチ再生 55
マルチ測光 117
マルチフィルムプラケット 88

め

- メニュー位置メモリー 126

も

- 文字入力 131
文字焼き込み 133

や

- 夜景&人物モード 96

ゆ

- 夕焼け 97

よ	
用紙サイズ	154
横縦比変換	137
り	
リサイズ	135
れ	
レイアウト	154
連写	69
連写速度	69, 119
レンズ	17, 18
レンズキャップ	18
レンズ無しレリーズ	126
レンズフード	21
レンズリアキャップ	18
ろ	
露出	79
露出設定切替	125
露出補正	46, 68
わ	
ワールドタイム	34, 114

英字	
ACアダプター	26, 150, 152
AF補助光	124
AF補助光ランプ	124
AF連続動作	123
AFC	43, 44, 49, 50, 74, 102
AFS	43, 44, 49, 50, 74, 102
AF/AEロック	79
AF/AEロック維持	123
AF/AEロック切替	123
AF+MF	124
AVCHD	104
B (バルブ)	91
DCF規格	54
EX光学ズーム	53, 118
EZ	53, 115, 187
ファンクション	
Fn ボタン設定	34
HDAVI Control™	145
HDMI出力解像度	38
HDMIミニケーブル	144
ISO感度	84
ISO感度上限設定	120
ISO感度ステップ	120
LCD撮影情報画面	122
LCD表示スタイル	122
LCDモード	36
LVF調整	36
LVF表示スタイル	122
LVF/LCD自動切替	122
MCプロテクター	160
MF	50, 77
MFアシスト	77, 125
MOTION JPEG	104
NDフィルター	160
ピクトブリッジ	152
PictBridge	152
PLフィルター	160
RAW	116
RAW+スタンダード	116
RAW+ファイン	116
TV画面タイプ	37
USB接続ケーブル	150, 152
USBモード	37



Q & A

お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで！

- 摂りかたのコツや新製品情報 <http://panasonic.jp/>
- サポート情報 <http://panasonic.jp/support/>
- 便利なLUMIX修理サービス <http://lumix.jp/repair/>



“AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラ/レンズキットの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常ににおいや音がする
- ・映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体やチャージャーが破損した
- ・その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品 番	DMC-GH1K
販 売 店 名		☎ () -	

パナソニック株式会社

AVCネットワークス社 ネットワーク事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2009



F0409HN1049 (5000 ⓐ)